

取扱注意

平成 23 年度 「取引実態調査」(第 6 回) 結果

平成 24 年 4 月

全国米穀販売事業共済協同組合

はじめに

米穀販売業界を取り巻く厳しい市場環境のなかで、取引先との公正性・透明性・合理性ある取引の実現を図る必要があることから、全米販では平成18年度より、毎年度、組合員卸の取引先との取引実態調査を実施し、その調査結果を以って、監督官庁である農林水産省をはじめ、公正取引委員会、経済産業省、中小企業庁のほか、量販店、ホームセンター、ドラッグストア等の全国団体に対して、不公正と思われる取引の是正方を求めてきたところです。

同様の活動は他業界でも行なわれており、その甲斐あってか、独禁法の改正が実現し、平成22年1月を以って施行され、優越的地位の濫用が課徴金の対象となりました。また、併せて同年11月、公正取引委員会は同法の考え方を明確化するため、「優越的地位の濫用に関する独占禁止法上の考え方」を示し、同委員会審査局内に優越的地位濫用事件タスクフォースを設置する等、是正に向けた取り組みをこれまでになく強化しています。

さて、昨年は、一昨年に比べ不公正と思われる取引が大部分の項目で減少したと御報告しましたが、今回の調査結果では、さらに、全ての項目において昨年に比べ減少しております。これは、公正取引委員会の是正に向けた取り組みの強化もありますが、組合員個々の日頃の営業活動における粘り強い交渉による改善によるものと思います。

年々、不公正と思われる取引は減少していますが、最も是正要望の高い「不当な返品」等、項目によっては、まだまだ改善しなければならないものもあり、引き続き取引先関係団体はじめ関係機関に対して、更なる是正を求めていく必要があると考えております。

以下は、その調査結果の概要をまとめたものです。

目 次

調査方法	P. 1
調査結果概要	P. 3
調査結果	
<取引のある販売先区分>	問 1 P. 13
<告示第 1 項「不当な返品」について>	問 2 ~ 問 6 P. 15
<告示第 2 項「不当な値引」について>	問 7 ~ 問11 P. 25
<告示第 3 項「不当な委託販売取引」について>	問12 ~ 問15 P. 35
<告示第 4 項「特売商品等の買ったたき」について>	問16 ~ 問20 P. 41
<告示第 5 項「特別注文品の受領拒否」について>	問21 ~ 問25 P. 51
<告示第 6 項「押し付け販売等」について>	問26 ~ 問30 P. 61
<告示第 7 項「納入業者の従業員等の不当使用等」について>	問31 ~ 問35 P. 71
<告示第 8 項「不当な経済上の利益の收受等」について>	問36 ~ 問41 P. 81
<告示第 9 項「要求拒否の場合の不利益な取扱い」について>	問42 ~ 問46 P. 97
<告示第10 項「公正取引委員会への報告に対する 不利益な取扱い」について>	問47 ~ 問 49 P.106
<その他> 上記 10 項目以外の不当と思われる行為	問50 ~ 問 51 P.107
東日本大震災・福島第一原発事故の影響	問52 ~ 問53 P.108
ご意見	問 54 P.109
【ブロック別比較表】	P.112

調査方法

1. 調査実施時期

平成24年1月～2月

2. 調査方法

組合員卸への郵送によるアンケート調査

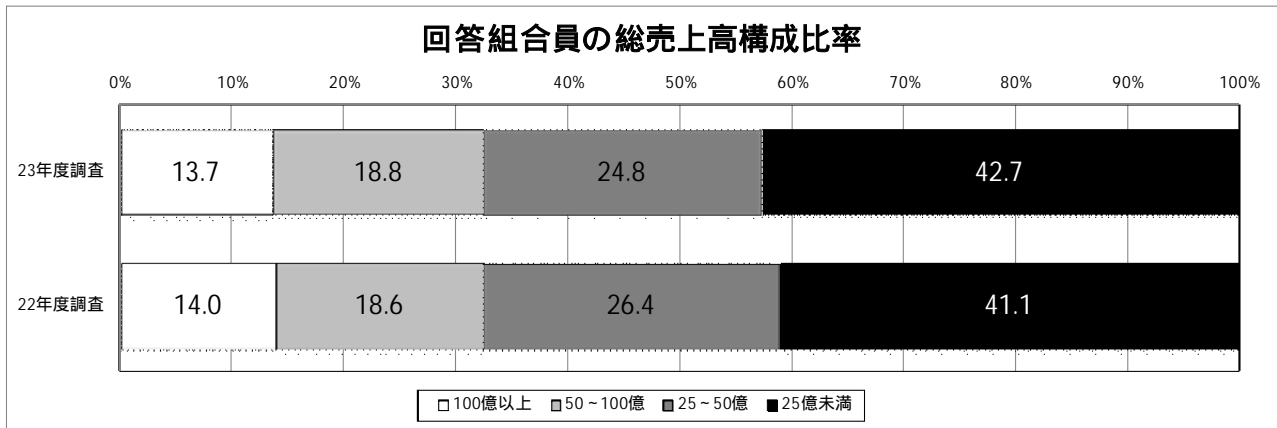
3. 回収結果

(1) 送付組合員卸数	182卸	22年度 187卸	21年度 197卸	20年度 197卸
(2) 回答組合員卸数	120卸	129卸	130卸	120卸
(3) 回収率	65.9%	69.0%	67.4%	60.9%

留意点

1. 当てはまるもの1つを選ぶ設問の回答は、帯グラフで表示。
2. 複数回答の設問は、棒グラフで表示。
3. <販売先区分名>の後ろの()は、回答卸数。
4. <販売先小売>は、大手スーパー、中小スーパー、百貨店、生協、ホームセンター、ドラッグストアの延回答卸数。
5. <販売先実需>は、大手外食事業者、中小外食事業者、ベンダーの延回答卸数。
6. 全販売先は、大手スーパー、中小スーパー、百貨店、生協、ホームセンター、ドラッグストア、大手外食事業者、中小外食事業者、ベンダーの延回答卸数。
7. 問4・9・18・23・28・33・38・44の〔具体的内容別に名前の記載があった取引先〕の取引先名は、ランダムなアルファベットであり、実社名の頭文字ではない。
8. 合計、昨年は、ラウンドの関係で合わない場合がある。

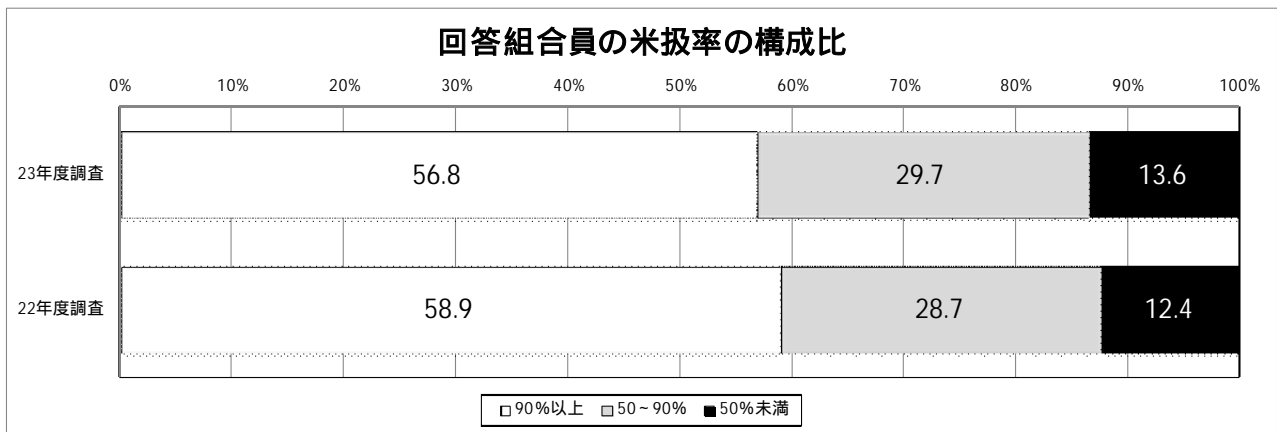
4. 回答組合員の総売上高構成比



売上高構成比 データテーブル

	100億以上	50~100億	25~50億	25億未満	合計
23年度調査	16 卸 13.7 %	22 卸 18.8 %	29 卸 24.8 %	50 卸 42.7 %	117 卸
22年度調査	18 卸 14.0 %	24 卸 18.6 %	34 卸 26.4 %	53 卸 41.1 %	129 卸
増減	2 卸 0.3 ㊦	2 卸 + 0.2 ㊦	5 卸 1.6 ㊦	3 卸 + 1.6 ㊦	12 卸 ± 0 ㊦

5. 回答組合員の米扱率（総売上高に占める米穀売上高の割合）構成比



米扱率 データテーブル

	90%以上	50~90%	50%未満	合計
23年度調査	67 卸 56.8 %	35 卸 29.7 %	16 卸 13.6 %	118 卸
22年度調査	76 卸 58.9 %	37 卸 28.7 %	16 卸 12.4 %	129 卸
増減	9 卸 2.1 ㊦	2 卸 + 1.0 ㊦	± 0 卸 + 1.2 ㊦	11 卸 ± 0 ㊦

調査結果概要

<取引のある販売先区分>

- 回答組合員 120 卸（昨年比 9 卸）のうち販売先区分〔1〕大手スーパー〔2〕中小スーパー〔3〕百貨店〔4〕生協〔5〕ホームセンター〔6〕ドラッグストア〔7〕大手外食事業者〔8〕中小外食事業者〔9〕ベンダーのいずれかと取引のある回答組合員は 108 卸（同 8）卸であった。
- 最も取引のある販売先区分は、中小スーパー（100 卸 92.6%（取引のある組合員に対する割合。以下同じ））であった。
- 以下、中小外食（89 卸 82.4%）、大手スーパー（70 卸 64.8%）、ベンダー（63 卸 58.3%）で、その順序は昨年と同様である。

以下については、販売先区分〔1〕～〔6〕を<販売先小売>、〔7〕～〔9〕を<販売先実需>、〔1〕～〔9〕全体を 全販売先 としている。

<告示第1項「不当な返品」について>

1. 不当な返品の有無

- 「不当な返品が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先 で昨年の 19.6%から 15.3%（昨年比 4.4 割）と前年に引き続き減少した。
- 減少が大きい販売先区分は、中小スーパー23.0%（同 10.0 割）、大手スーパー20.0%（同 9.7 割）、ドラッグストア 26.2%（同 5.7 割）であった。
- 割合が多い販売先区分は、ドラッグストア 26.2%（同 5.7 割）、中小スーパー23.0%（同 10.0 割）、ホームセンター22.2%（同 0.9 割）、大手スーパー20.0%（同 9.7 割）であった。これら 4 販売先区分は、全て昨年と比べ減少したものの、未だ 20%以上である。
- 増加した販売先区分は、昨年比 + 2 卸の生協のみであった。
- 「不当な返品が存在し、昨年比増加した」と回答した件数は、ドラッグストアで 1 卸（昨年は 4 販売先区分、延 5 卸）のみであり、全体的に「不当な返品」は減少している。

2. 「不当な返品」と思われる取引の具体的内容

- 最も多く選択されたのは、昨年と同様「4. 販売先の責任による破損品の返品」であった。
全販売先 で 7.8%であり、昨年比 + 0.4 割のほぼ横ばいであった。
大手スーパーのみが 7.2%（昨年比 5.8 割）と大きく昨年比減少したが、他の販売先区分は横ばいないしは若干増加であった。
- 最も大きく減少したのは、「5. 顧客のクレーム、またはキャンセルによる返品」であった。
全販売先 で 2.4%（同 2.3 割）と昨年に比べ半減し、特に<販売先実需>は、昨年の 2.6%から今年は無くなった。
減少したのは、大手スーパー2.9%（同 4.3 割）、百貨店 5.4%（同 4.6 割）、生協 2.8%（同 2.4 割）、ドラッグストア 2.4%（同 1.9 割）、中小外食 0.0%（同 3.5 割）、ベンダー 0.0%（同 3.0 割）であった。
- 「1. 販売期限を経過したとする返品」は、全販売先 で 4.4%（同 0.8 割）と若干の

減少であった。

減少したのは、大手スーパー8.7%（同 2.9 割）、中小スーパー8.0%（同 2.6 割）、百貨店0.0%（同 2.5 割）、ドラッグストア7.3%（同 5.7 割）で、増加したのが、生協5.6%（同+5.6 割）、ベンダー1.6%（同+1.6 割）であった。

- 「2. 売れ残ったとする返品」は、全販売先で3.0%（同 0.3 割）とほぼ横ばいであった。
- 「3. 新米販売時の古米の返品」は、全販売先で4.8%（同 0.1 割）とほぼ横ばいであった。

中小スーパーが8.0%（同 4.8 割）と大きく減少し、百貨店は0.0%（同 2.5 割）となったが、他の販売先区分はほぼ横ばいであった。

- 「6. その他」では、
『返品時期を過ぎていないにもかかわらず返品された』
『特売価格で納入した商品であるにもかかわらず、定番価格で返品された』
との回答があった。

3. 昨年に比べて「不当な返品」と思われる取引が増加した理由

- 福島原発事故の影響で消費者が購入しないことを理由に売れ残った商品を返品。
- 福島原発事故により売れ残りが増えた。
- 販売担当あるいは責任者の返品に対する認識がなくなってきた。

4. 昨年に比べて「不当な返品」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）

- 小ロットで対応。
- 納入先ときめ細かい納入方法等を合意。
- 計画的な仕入。
- コンプライアンスの徹底。
- 商談時の確認事項の徹底。
- 不当な返品に対しての申し入れ。
- メーカーとしての毅然とした態度。
- 返品不可の依頼。
- 各店舗実務担当者に対する減量策の啓蒙活動。
- 返品しないルールを新たに設定。
- 返品不可を条件に一定のリベートの支払い。
- 返品無しの条件で価格の引下げ。
- 公取による排除命令の報道。
- 原発の影響により十分な供給ができなかったことによる。
- 販売数量の減少。

< 告示第2項「不当な値引」について >

1. 「不当な値引」の有無

- 「不当な値引が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先 で2.7%(昨年比 0.0 ㊦) と昨年とほとんど変わらなかった。
- 全販売先 の回答件数は延 14 卸と昨年比延 1 卸であった。
- 「不当な値引が存在する」との回答のうち、昨年比「増加した」との回答はなかった。

2. 「不当な値引」と思われる取引の具体的内容

- 「1. 販売先が値引き販売等を行ったことを理由に値引き要求」は、昨年は大手スーパーで2卸、中小スーパーで1卸であったが、今年は無かった。
- 「2. 業績目標達成のための値引き要求」は、昨年は大手スーパーの1卸のみであったが、今年は、大手スーパー、中小スーパー、生協、ドラッグストア、ベンダーで1卸ずつあった。
- 「3. 他店との価格を比較しての値引き要求」は、大手スーパー3卸(昨年比+3卸)、中小スーパー3卸(同+2卸)、生協1卸(同+1卸)、中小外食で1卸(同±0卸)であった。
- 「4. その他」では、
『他卸との比較で値引させられた』(中小スーパー、ドラッグストア、中小外食)
『請求額から一方的に値引きする』(中小外食)
との回答があった。

3. 昨年に比べて「不当な値引」と思われる取引が増加した理由

記載なし

4. 昨年に比べて「不当な値引」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由(改善策等)

- 付加価値の高い商品アイテムなど、他社と競合しない商品を扱ってもらっている。
- 納入数量を調整した。
- 震災後物量不足が発生し、価格決定において双方が対等になり、当方の主張が採り入れられるようになった。

< 告示第3項「不当な委託販売取引」について >

1. 「不当な委託販売取引」の有無

- 「不当な委託販売取引が存在する」と回答した卸は無くなった。(昨年は延7卸)

2. 「不当な委託販売取引」と思われる取引の具体的内容

記載なし

3. 昨年に比べて「不当な委託販売取引」と思われる取引が増加した理由

記載なし

4. 昨年に比べて「不当な委託販売取引」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由(改善策等)

- 震災後物量不足が発生し、価格決定において双方が対等になり、当方の主張が採り入れられるようになった。

< 告示第4項「特売商品等の買ったたき」について >

1. 「特売商品等の買ったたき」の有無

- 「特売商品等の買ったたきが存在する」と回答した卸の割合は、全販売先で昨年の13.1%から今年は6.7% (昨年比 6.4 割) と、ほぼ半減した。
- 大手スーパー14.3% (同 17.2 割)、中小スーパー11.0% (同 9.2 割)、ホームセンター2.8% (同 16.7 割)、ドラッグストア9.5% (同 10.5 割)の減少が大きかった。

2. 「特売商品等の買ったたき」と思われる取引の具体的内容

- 大手スーパーとの取引がある卸は、「1. 販売先が一方的に納入価格を決定」を10.1% (昨年比 11.0 割)、「2. 新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」も10.1% (同 3.9 割)が選択した。昨年より減少しているものの依然約1割の卸が選択した。「3. 納入数量限定商品の追加要求」は1.4% (同 1.4 割)であった。
- 中小スーパーとの取引がある卸は、「1. 販売先が一方的に納入価格を決定」を6.0% (同 9.5 割)、「2. 新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」を8.0% (同 3.3 割)「3. 納入数量限定商品の追加要求」を1.0% (同 2.1 割)が選択した。
- ホームセンターとの取引がある卸は、「1. 販売先が一方的に納入価格を決定」を2.8% (同 8.3 割)、「2. 新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」を2.8% (同 8.3 割)が選択した。「3. 納入数量限定商品の追加要求」は、選択卸が無かった。(昨年5.6%)
- ドラッグストアとの取引がある卸は、「2. 新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」を7.1% (同 6.2 割)が選択したが、半減した。「1. 販売先が一方的に納入価格を決定」と「3. 納入数量限定商品の追加要求」は、選択卸が無かった。(昨年其々13.3%、2.2%)
- 「4. その他」では、
『通常価格を他業者と比較して低い価格にさせられた』(ドラッグストア、大手外食、中小外食、ベンダー)との回答があった。

3. 昨年に比べて「特売商品等の買ったたき」と思われる取引が増加した理由

- 他店との価格競争の激化。

4. 昨年に比べて「特売商品等の買ったたき」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由(改善策等)

- 原料不足のため。
- バイヤーが交代した。

< 告示第5項「特別注文品の受領拒否」について >

1. 「特別注文品の受領拒否」の有無

- 「特別注文品の受領拒否が存在する」と回答した件数は、全販売先 で延 9 卸で、昨年と同数であった。
- 大手スーパーが 1 卸（前年比 1 卸）、中小スーパーが 2 卸（同 +1 卸）、百貨店が 1 卸（同 +1 卸）、大手外食が 1 卸（同 +1 卸）、中小外食が 2 卸（同 ±0 卸）、ベンダーが 2 卸（同 +2 卸）であった。なお、前年 3 卸のドラッグストアと 1 卸の生協は、本年は無かった。

2. 「特別注文品の受領拒否」と思われる取引の具体的内容

- 「1. 特別注文品の受領拒否」は、大手スーパーは昨年と同様 1 卸であったが、昨年無かった中小スーパーが 2 卸、百貨店が 1 卸あった。
昨年 3 卸のドラッグストアと 1 卸の中小外食は無くなった。
- 「2. 特別の規格品(原料玄米等)の受領拒否」は、昨年無かった大手外食が 1 卸、中小外食が 1 卸、ベンダーが 2 卸あった。
昨年 1 卸の大手スーパーと生協は無くなった。

3. 昨年に比べて「特別注文品の受領拒否」と思われる取引が増加した理由

記載なし

4. 昨年に比べて「特別注文品の受領拒否」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）をご記入下さい。

記載なし

< 告示第6項「押し付け販売等」について >

1. 「押し付け販売等」の有無

- 「押し付け販売等が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先 で前年の 15.1% から今年 は 8.9%（前年比 6.2 割）に大きく減少した。
- 大手スーパー 15.9%（同 4.3 割）、中小スーパー 8.2%（同 14.6 割）、大手外食 11.8%（同 9.7 割）、中小外食 14.8%（同 6.1 割）、ベンダー 4.8%（同 8.2 割）の減少が大きかった。

2. 「押し付け販売等」と思われる取引の具体的内容

- 最も多く選択されたのは、昨年と同様「1. 仕入担当者等仕入取引に影響を及ぼす者が購入を要請」であったが、全販売先 で昨年の 9.3% から 6.2%（昨年比 3.2 割）に減少した。
選択の多かった販売先区分は、大手スーパー 14.5%（同 1.7 割）、中小スーパー 6.1%（同 9.0 割）、中小外食 8.0%（同 4.5 割）であった。
- 「2. 組織的又は計画的に購入を要請」は、全販売先 で昨年の 4.9 から 4.0%（同 0.9 割）に減少した。
選択の多かった販売先区分は、大手スーパー 7.2%（同 +1.8 割）、大手外食 8.8%（同 3.1 割）、中小外食 5.7%（同 +0.1 割）であった。

- 「3. 購入する意思がないと表明したにもかかわらず商品を一方的に送付する」は、昨年同様選択がなかった。

3. 昨年に比べて「押し付け販売等」と思われる取引が増加した理由
記載なし

4. 昨年に比べて「押し付け販売等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）

- 取引先の自主判断による。

< 告示第7項「納入業者の従業員等の不当使用等」について >

1. 「納入業者の従業員等の不当使用等」の有無

- 「納入業者の従業員等の不当使用等が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先で昨年の5.0%から3.4%（昨年比 1.6 ㊦）と減少した。
- 大手スーパーのみ昨年の10.8%から13.0%（同+2.2 ㊦）に若干増加した。
- その他の販売先区分は増加した区分は無く、中小スーパーが昨年の9.9%から4.0%（同 5.9 ㊦）に減少し、昨年6.8%の百貨店と5.3%のホームセンターは無くなった。

2. 「納入業者の従業員等の不当使用等」と思われる取引の具体的内容

- 「1. 新店オープン、特売や棚卸時の人的応援」は、最も多く選択され、全販売先で2.2%（昨年比+1.4 ㊦）であった。
選択された販売先区分は、大手スーパー7.2%（同+3.1 ㊦）、中小スーパー3.0%（同+2.0 ㊦）、ドラッグストア4.9%（同+4.9 ㊦）、中小外食1.1%（同+1.1 ㊦）であった。
- 「2. 店舗フォローの要請」が選択された販売先区分は、大手スーパー1.4%（同 1.3 ㊦）と中小スーパー2.0%（同+1.0 ㊦）のみであった。
- 「3. 納入商品以外の商品の販売の手伝い」が選択された販売先区分は、大手スーパー5.8%（同+3.1 ㊦）、中小スーパー1.0%（同 2.0 ㊦）のみであった。
- 「4. 従業員等の派遣のために通常必要な費用を負担しない」が選択された販売先区分は、大手スーパー4.3%（同+3.0 ㊦）、中小スーパー1.0%（同 4.0 ㊦）、生協2.8%（同+2.8 ㊦）、ドラッグストア2.4%（同+2.4 ㊦）であった。

3. 昨年に比べて「納入業者の従業員等の不当使用等」と思われる取引が増加した理由
記載なし

4. 昨年に比べて「納入業者の従業員等の不当使用等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）

- 担当者が代わった。

< 告示第 8 項「不当な経済上の利益の收受等」について >

1. 「不当な経済上の利益の收受等」の有無

- 「不当な経済上の利益の收受等が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先で昨年の 6.1% から 4.0% (前年比 2.1 割) に減少した。
- ベンダーのみ 昨年の 2.8% から 3.2% (同 +0.4 割) とわずかに増加した。
- その他の販売先区分 は増加した区分は無く、大手スーパーが 13.5% から 10.1% (同 3.4 割)、中小スーパーが 9.8% から 3.1% (同 6.7 割)、生協が 2.6% から 0.0% (同 2.6 割)、ドラッグストアが 12.5% から 7.3% (同 5.2 割) に減少した。

2. 「不当な経済上の利益の收受等」と思われる取引の具体的内容

- 最も多く選択されたのは昨年に続き「3. 決算対策協賛金の要求」で、全販売先で 1.4% (昨年比 0.6 割) と若干ではあるが減少した。選択件数は、延 7 卸であった。
選択された販売先区分は、大手スーパー 4.3% (同 2.5 割)、ドラッグストア 4.9% (同 +4.9 割)、ベンダー 3.3% (同 +1.9 割) であった。なお、前年 5.0% であった中小スーパーは無くなった。
- 次に多く選択されたのは「6. 算出根拠を示せない情報処理料の要求」で、全販売先 1.2% (同 +0.6 割) であった。
選択された販売先区分は、大手スーパー 2.9% (同 +0.2 割)、中小スーパー 1.0% (同 +0.1 割)、ドラッグストア 2.4% (同 +2.4 割)、大手外食 2.9% (同 +2.9 割)、中小外食 1.1% (同 +1.1 割) であった。
- 「1. 商品納入後にリポートを要求」と「4. 過度の協賛金の要求」は、大手スーパー 1.4% (同 +1.4 割) のみであった。
- 「5. 合理的な負担分を超える物流(配送)センターフィーの要求」は、大手スーパー 1.4% (同 +1.4 割) とドラッグストア 2.4% (同 +0.3 割)であった。
昨年 2.0% の中小スーパーと 1.1% の中小外食は無くなった。
- 昨年ドラッグストアが 2.2% であった「2. DNA 鑑定等の過度な試験検査の要求や一方的に行った検査費用の要求」は、今年は無くなった。
- 「7. 売場装飾費用の要求」は、昨年同様選択は無かった。
- 「8. その他」では、
『販売先の社内で使用する内部資料を作らされた』(大手スーパー)との回答があった。

3. 決算対策協賛金要求の具体的事例

- 全部で延 8 卸の回答があり、最も多いのは「1. 決算対策協賛金」としての要求で延 4 卸 (大手スーパー 2 卸、ドラッグストアとベンダーが 1 卸) があった。
- 「2. 対策金(協力金)」としての要求は、延 3 卸であった。具体的には、「12 月度協賛金」(大手スーパー)「創業祭協賛金」(大手スーパー)「決算セール協賛金」(ベンダー)として要求された。
- 「3. 協賛金としては問題があるとして上期・下期、あるいは年度末等、決算状況が見込める時期に協力の依頼があり、納入価格を下げさせられた」との回答は 1 卸であった。
- 決算対策金の要求を受けた卸が減少しているため、本問の回答も減少しているが、内容は

昨年と同様であった。

4．昨年に比べて「不当な経済上の利益の収受等」と思われる取引が増加した理由
記載なし

5．昨年に比べて、「不当な経済上の利益の収受等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）

- コンプライアンスの徹底。

< 告示第9項「要求拒否の場合の不利益な取扱い」について >

1．「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の有無

- 「要求拒否の場合の不利益な取扱いが存在する」と回答した卸の割合は、全販売先で昨年の3.6%から1.0%（昨年比 2.6割）に大きく減少した。
- 大手スーパーが12.3%から2.9%（同 9.5割）と大きく減少した。中小スーパーが4.0%から1.0%（同 3.0割）に減少し、ホームセンター（昨年5.4%）、ドラッグストア（昨年4.2%）、ベンダー（昨年1.4%）は無くなった。

2．「要求拒否の場合の不利益な取扱い」と思われる取引の具体的内容

- 「1．取引を停止された」は、昨年の大手スーパー、ベンダーは無くなったが、中小外食で1卸あった。
- 「2．発注数量を減らされた」は、大手スーパーが2卸（昨年比 1卸）、中小スーパーが1卸（同 1卸）、生協が1卸（同+1卸）の延4卸であった。
昨年1卸であったホームセンターとドラッグストアは、無くなった。
- 「3．アイテム・スペースを縮小された」は、大手スーパーが1卸（同±0卸）、中小スーパーが1卸（同 1卸）、生協が1卸（同+1卸）の延3卸であった。
「2．発注数量を減らされた」と同様に、昨年1卸であったホームセンターとドラッグストアは、無くなった。
- 「4．チラシから削除された」は、大手スーパーが1卸（同 2卸）、中小スーパーが1卸（同±0卸）、生協が1卸（同±0卸）の延3卸であった。

3．昨年に比べて「要求拒否の場合の不利益な取扱い」と思われる取引が増加した理由
記載なし

4．昨年に比べて「要求拒否の場合の不利益な取扱い」と思われる取引が減少した・存在しなくなった理由（改善策等）

記載なし

< 告示第 10 項「公正取引委員会への報告に対する不利益な取扱い」について >

1. 直近 1 年の間で、不正と思われる取引について、公正取引委員会に相談・報告をしたことの有無

- 「ある」との回答は無かった。

2. 公正取引委員会にした相談・報告の内容およびその結果 記載なし

3. 公正取引委員会に相談・報告したことを理由に、販売先から不利益な取扱いをされた内容 記載なし

< その他 >

1. 以上 10 項目に当てはまらないが、不当と思われる販売先の行為の有無

- 中小スーパーとドラッグストアそれぞれで 1 卸が、「ある」と回答した。

2. 不当と思われる行為の内容

- 販売エリア内に新規店が出店し、納品したところ、自社の不利益となる行為だとしてアイテム数のカット、チラシ掲載を断られた。(中小スーパー)
- 取引開始以来、納品数量ではなくレジ通し後での入金を行っているため、実納数と売上入金数量とに差異がでる。(ドラッグストア)

3. 昨年 3 月に発生した東日本大震災・福島第一原発事故以降、販売先との間で商品や取引条件等について、変更となった点の有無

- 「ある」と回答した卸の割合は、全販売先 で 18.5% であった。
- < 販売先実需 > で 17.4%、< 販売先実需 > で 20.5% と < 販売先実需 > の方が多かった。
- 全ての販売先区分が 10% 以上 であった。特に、大手外食 25.0%、中小外食 20.8%、大手スーパー 19.6%、中小スーパー 18.8% が多かった。

4. 昨年 3 月に発生した東日本大震災・福島第一原発事故以降、販売先との間で商品や取引条件等について、変更となった点

(1) 商品について

- 23 年産米で 17 都県の商品の取扱を中止。(大手スーパー、中小スーパー、大手外食、中小外食、ベンダー)
- 放射能のない (ND) 産地米の納品を要件とする。(大手スーパー、中小スーパー、大手外食、中小外食、ベンダー)
- 産地を指定・限定し、数量確保を要件とする。(大手スーパー、中小スーパー、百貨店、生協、大手外食、中小外食、ベンダー)
- 福島県産米の扱いを様子見とする。(大手スーパー、中小スーパー、ベンダー)
- 福島県産米の取扱を中止。(大手スーパー、中小スーパー、ホームセンター、ドラッグストア)

ア、中小外食、ベンダー)

- 福島産をはじめ一時は関東産米の取扱いも停止された。(大手スーパー)
- 宮城県産米の取扱を中止。(ドラッグストア、大手外食、中小外食)
- 茨城県産米の取扱を中止。(大手外食)
- 東北産米の取扱を中止。(中小スーパー、百貨店、ホームセンター、ドラッグストア、大手外食、中小外食)
- 東日本の商品の取扱を中止。(大手スーパー)
- 関東産の商品の取扱を中止。(中小外食)
- 福島県産米から他県産米へ変更。(中小スーパー、百貨店、生協、ホームセンター、大手外食、中小外食、ベンダー)
- 被災地の米から代替品へ変更。(大手スーパー)
- 宮城県産米の販売を縮小。(中小スーパー)
- 西日本・九州産の米を希望。(ドラッグストア)

(2) 取引条件について

- 放射能検査の要請。(生協、学校給食)
- 商品全てに明確な産地表示を要請。(ドラッグストア)

以上

調査結果

<取引のある販売先区分>

問1 現在、取引のある販売先区分を以下の中から選んで下さい。

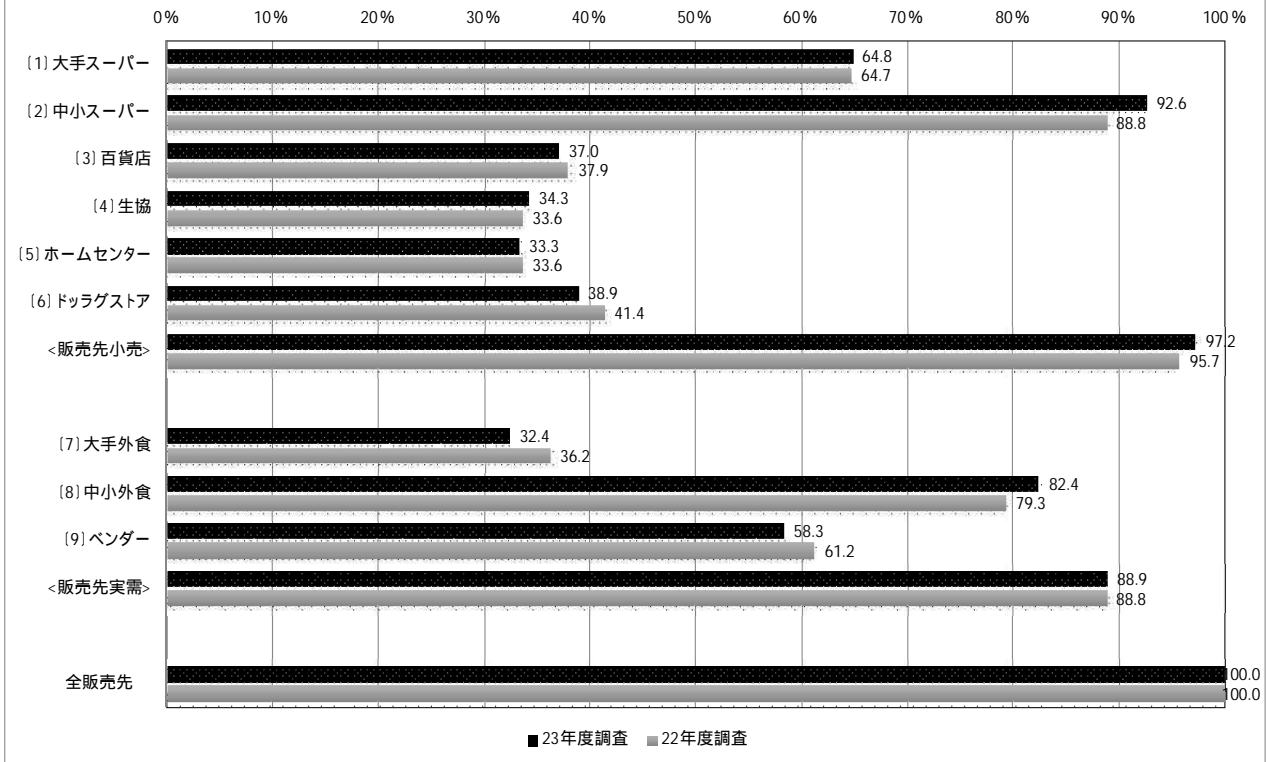
現在取引のある販売先を下記の販売先区分より選択。該当する区分のない場合は、「該当なし」を選択。							
〔1〕大手スーパー	〔2〕中小スーパー	〔3〕百貨店	〔4〕生協				
〔5〕ホームセンター	〔6〕ドラッグストア	〔7〕大手外食事業者	〔8〕中小外食事業者				
〔9〕ベンダー	〔10〕該当なし						

- 回答組合員 120 卸（昨年比 9 卸）のうち販売先区分〔1〕～〔9〕のいずれかと取引のある回答組合員は 108 卸（同 8）卸であった。
- 最も取引のある販売先区分は、中小スーパー（100 卸 92.6%（取引のある組合員に対する割合。以下同じ））であった。
- 以下、中小外食（89 卸 82.4%）、大手スーパー（70 卸 64.8%）、ベンダー（63 卸 58.3%）で、その順序は昨年と同様である。

問1 データテーブル

	(1)大手スーパー	(2)中小スーパー	(3)百貨店	(4)生協	(5)ホームセンター	(6)ドラッグストア	<販売先小売>
23年度調査	70 卸 64.8 %	100 卸 92.6 %	40 卸 37.0 %	37 卸 34.3 %	36 卸 33.3 %	42 卸 38.9 %	105 卸 97.2 %
22年度調査	75 卸 64.7 %	103 卸 88.8 %	44 卸 37.9 %	39 卸 33.6 %	39 卸 33.6 %	48 卸 41.4 %	111 卸 95.7 %
増減	5 卸 + 0.2 卸	3 卸 + 3.8 卸	4 卸 0.9 卸	2 卸 + 0.6 卸	3 卸 0.3 卸	6 卸 2.5 卸	6 卸 + 1.5 卸

問1 取引のある販売先



(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>
35 卸	89 卸	63 卸	96 卸
32.4 %	82.4 %	58.3 %	88.9 %
42 卸	92 卸	71 卸	103 卸
36.2 %	79.3 %	61.2 %	88.8 %
7 卸	3 卸	8 卸	7 卸
3.8 変	+ 3.1 変	2.9 変	+ 0.1 変

全販売先
108 卸
100.0 %
116 卸
100.0 %
8 卸
± 0 変

(10) 該当なし
12 卸
13 卸
延 1 卸

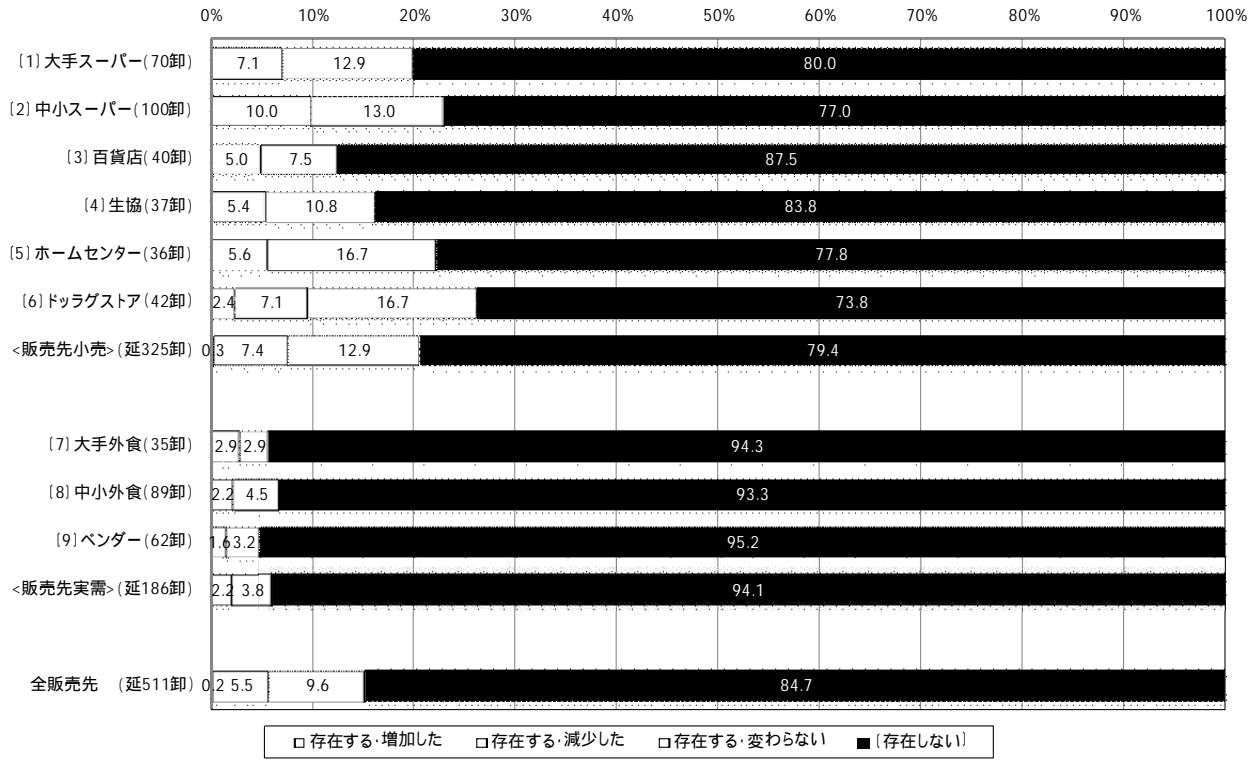
回答卸数
120 卸
129 卸
9 卸

< 告示第1項「不当な返品」について >

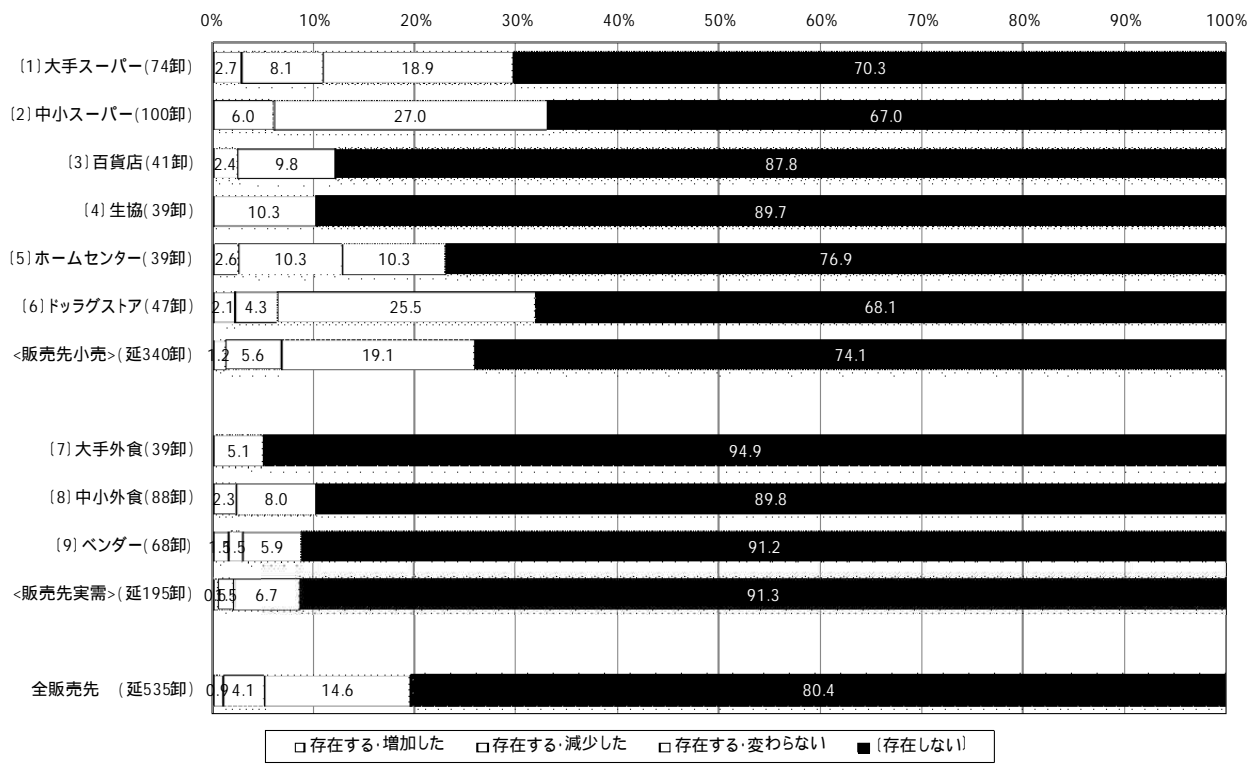
問 2 現在、販売先との取引において「不当な返品」（「貴卸に責任がある事由の場合」、「合意による返品条件に従って返品する場合」、「貴卸から申出て、貴卸の直接の利益となる場合」等は該当しない）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「不当な返品が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先 で今年の 19.6%から 15.3%（昨年比 4.4 割）と前年に引き続き減少した。
- 減少が大きい販売先区分は、中小スーパー23.0%（同 10.0 割）、大手スーパー20.0%（同 9.7 割）、ドラッグストア 26.2%（同 5.7 割）であった。
- 「不当な返品が存在する」と回答した卸の割合が多い販売先区分は、ドラッグストア 26.2%（同 5.7 割）、中小スーパー23.0%（同 10.0 割）、ホームセンター22.2%（同 0.9 割）、大手スーパー20.0%（同 9.7 割）であった。これら 4 販売先区分は、全て昨年と比べ減少したものの、未だ 20%以上である。
- 増加した販売先区分は、昨年比 + 2 卸の生協のみであった。
- 「不当な返品が存在し、昨年比増加した」と回答した件数は、ドラッグストアで 1 卸（昨年は 4 販売先区分、延 5 卸）のみであり、全体的に「不当な返品」は減少している。

問2 「不当な返品」の有無



旧問2 「不当な返品」の有無(22年度)



問2 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
存在する ・増加した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	2 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	増減	2 卸 2.7 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.6 卸	± 0 卸 + 0.3 卸
存在する ・減少した	23年度調査	5 卸 7.1 %	10 卸 10.0 %	2 卸 5.0 %	2 卸 5.4 %	2 卸 5.6 %	3 卸 7.1 %
	22年度調査	6 卸 8.1 %	6 卸 6.0 %	1 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	4 卸 10.3 %	2 卸 4.3 %
	増減	1 卸 1.0 卸	+ 4 卸 + 4.0 卸	+ 1 卸 + 2.6 卸	+ 2 卸 + 5.4 卸	2 卸 4.7 卸	+ 1 卸 + 2.9 卸
存在する ・変わらない	23年度調査	9 卸 12.9 %	13 卸 13.0 %	3 卸 7.5 %	4 卸 10.8 %	6 卸 16.7 %	7 卸 16.7 %
	22年度調査	14 卸 18.9 %	27 卸 27.0 %	4 卸 9.8 %	4 卸 10.3 %	4 卸 10.3 %	12 卸 25.5 %
	増減	5 卸 6.1 卸	14 卸 14.0 卸	1 卸 2.3 卸	± 0 卸 + 0.6 卸	+ 2 卸 + 6.4 卸	5 卸 8.9 卸
(存在する)	23年度調査	14 卸 20.0 %	23 卸 23.0 %	5 卸 12.5 %	6 卸 16.2 %	8 卸 22.2 %	11 卸 26.2 %
	22年度調査	22 卸 29.7 %	33 卸 33.0 %	5 卸 12.2 %	4 卸 10.3 %	9 卸 23.1 %	15 卸 31.9 %
	増減	8 卸 9.7 卸	10 卸 10.0 卸	± 0 卸 + 0.3 卸	+ 2 卸 + 6.0 卸	1 卸 0.9 卸	4 卸 5.7 卸
(存在しない)	23年度調査	56 卸 80.0 %	77 卸 77.0 %	35 卸 87.5 %	31 卸 83.8 %	28 卸 77.8 %	31 卸 73.8 %
	22年度調査	52 卸 70.3 %	67 卸 67.0 %	36 卸 87.8 %	35 卸 89.7 %	30 卸 76.9 %	32 卸 68.1 %
	増減	+ 4 卸 + 9.7 卸	+ 10 卸 + 10.0 卸	1 卸 0.3 卸	4 卸 6.0 卸	2 卸 + 0.9 卸	1 卸 + 5.7 卸
取引卸数	23年度調査	70 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	74 卸	100 卸	41 卸	39 卸	39 卸	47 卸
	増減	4 卸	± 0 卸	1 卸	2 卸	3 卸	5 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.5 %	延 1 卸 0.5 %	延 5 卸 0.9 %
延 3 卸 0.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	1 卸 1.5 ポイ	延 1 卸 0.5 ポイ	延 4 卸 0.7 ポイ
延 24 卸 7.4 %	1 卸 2.9 %	2 卸 2.2 %	1 卸 1.6 %	延 4 卸 2.2 %	延 28 卸 5.5 %
延 19 卸 5.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.3 %	1 卸 1.5 %	延 3 卸 1.5 %	延 22 卸 4.1 %
延 + 5 卸 + 1.8 ポイ	+ 1 卸 + 2.9 ポイ	± 0 卸 0.0 ポイ	± 0 卸 + 0.1 ポイ	延 + 1 卸 + 0.6 ポイ	延 + 6 卸 + 1.4 ポイ
延 42 卸 12.9 %	1 卸 2.9 %	4 卸 4.5 %	2 卸 3.2 %	延 7 卸 3.8 %	延 49 卸 9.6 %
延 65 卸 19.1 %	2 卸 5.1 %	7 卸 8.0 %	4 卸 5.9 %	延 13 卸 6.7 %	延 78 卸 14.6 %
延 23 卸 6.2 ポイ	1 卸 2.3 ポイ	3 卸 3.5 ポイ	2 卸 2.7 ポイ	延 6 卸 2.9 ポイ	延 29 卸 5.0 ポイ
延 67 卸 20.6 %	2 卸 5.7 %	6 卸 6.7 %	3 卸 4.8 %	延 11 卸 5.9 %	延 78 卸 15.3 %
延 88 卸 25.9 %	2 卸 5.1 %	9 卸 10.2 %	6 卸 8.8 %	延 17 卸 8.7 %	延 105 卸 19.6 %
延 21 卸 5.3 ポイ	± 0 卸 + 0.6 ポイ	3 卸 3.5 ポイ	3 卸 4.0 ポイ	延 6 卸 2.8 ポイ	延 27 卸 4.4 ポイ
延 258 卸 79.4 %	33 卸 94.3 %	83 卸 93.3 %	59 卸 95.2 %	延 175 卸 94.1 %	延 433 卸 84.7 %
延 252 卸 74.1 %	37 卸 94.9 %	79 卸 89.8 %	62 卸 91.2 %	延 178 卸 91.3 %	延 430 卸 80.4 %
延 + 6 卸 + 5.3 ポイ	4 卸 0.6 ポイ	+ 4 卸 + 3.5 ポイ	3 卸 + 4.0 ポイ	延 3 卸 + 2.8 ポイ	延 + 3 卸 + 4.4 ポイ
延 325 卸	35 卸	89 卸	62 卸	延 186 卸	延 511 卸
延 340 卸	39 卸	88 卸	68 卸	延 195 卸	延 535 卸
延 15 卸	4 卸	+ 1 卸	6 卸	延 9 卸	延 24 卸

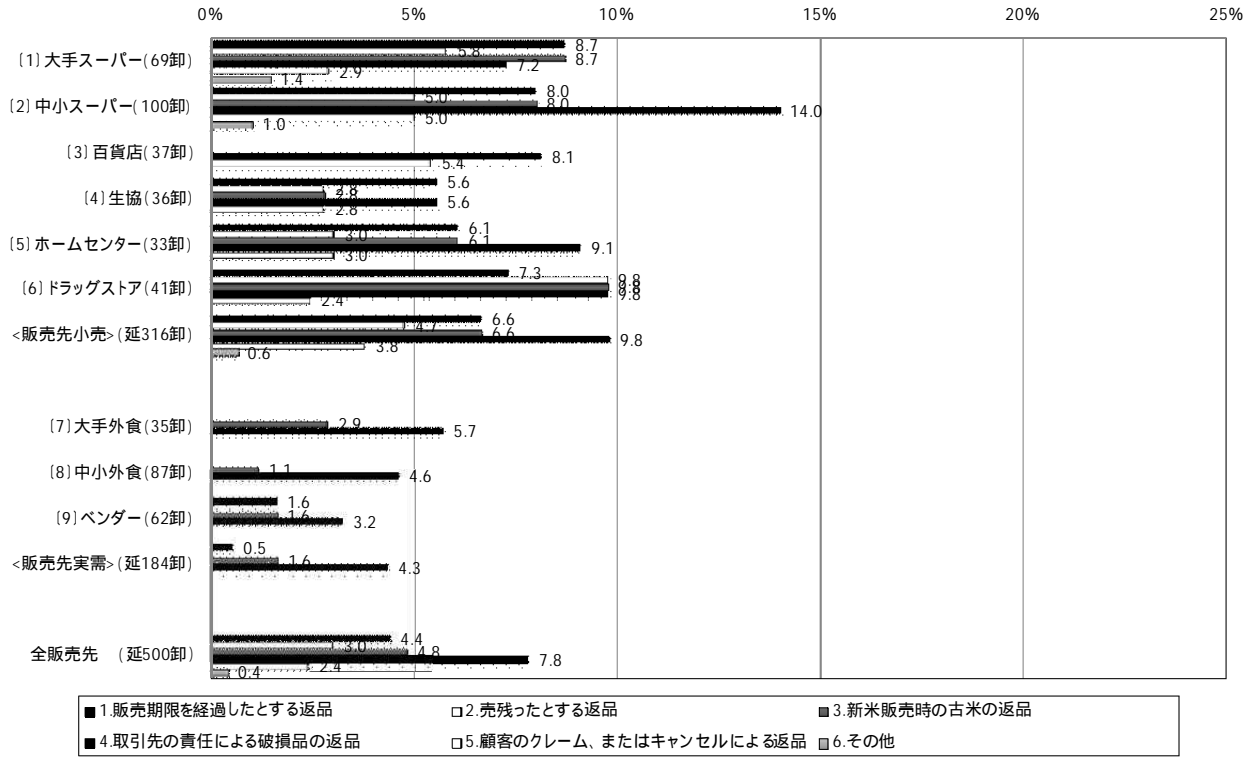
問 3 前問で「存在する」に を付した具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に を付して下さい(複数可)

選択肢

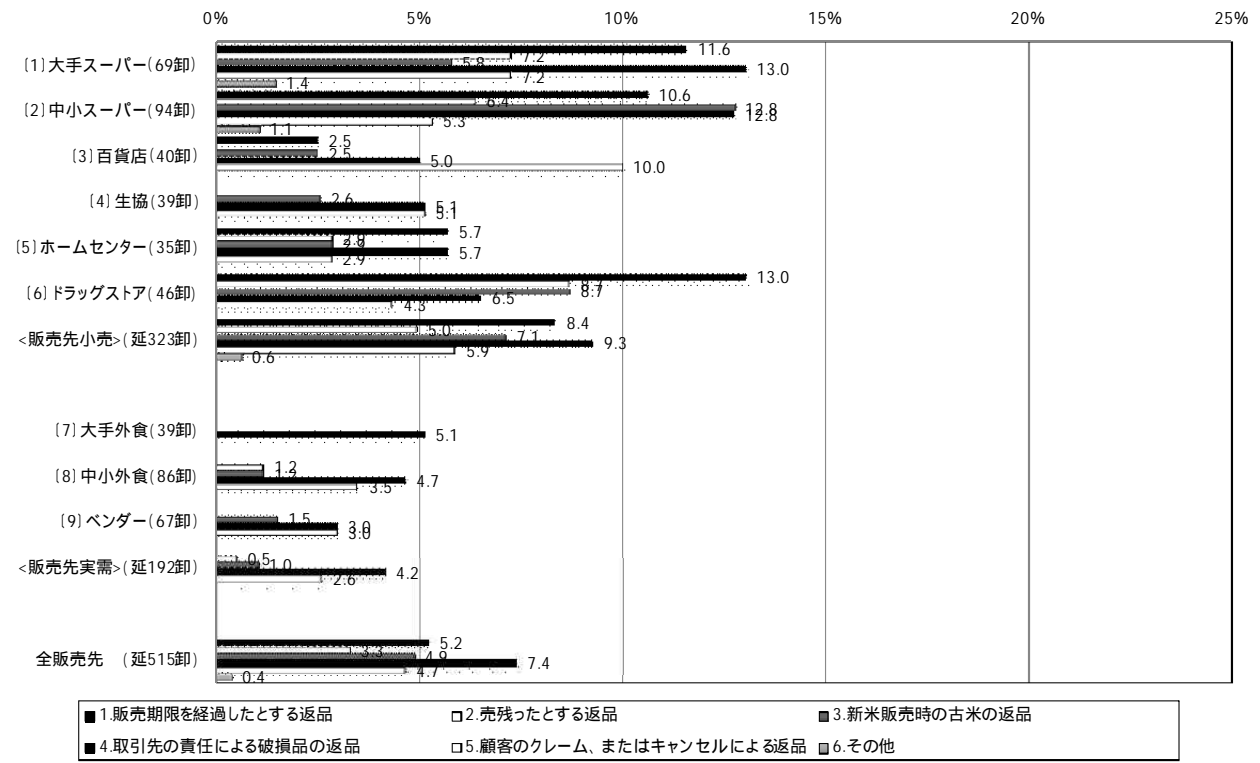
1. 購入前の合意もなく、販売先が一方的に定めた販売期限を超過したとして返品された(販売期限を超過したとする返品)
2. 購入前の合意もなく、売残った商品が返品された(売れ残ったとする返品)
3. 購入前の合意もなく、あるいは貴卸からの申し出もないのに、新米販売時に古米が返品された(新米販売時の古米の返品)
4. 購入前の合意もなく、販売先の責任による破損品が返品された(販売先の責任による破損品の返品)
5. 購入前の合意もなく、顧客からのクレーム、またはキャンセルがあったとして返品された(顧客のクレーム、またはキャンセルによる返品)
6. その他

- 最も多く選択されたのは、昨年と同様「4.販売先の責任による破損品の返品」であった。
選択した卸の割合は 全販売先 で7.8%であり、昨年比+0.4 ㊦のほぼ横ばいであった。
販売先区分では、大手スーパーのみが7.2%(昨年比 5.8 ㊦)と大きく昨年比減少したが、他の販売先区分は横ばいないしは若干増加であった。
- 最も大きく減少したのは、「5.顧客のクレーム、またはキャンセルによる返品」であった。
選択した卸の割合は、 全販売先 で2.4%(同 2.3 ㊦)と昨年に比べ半減し、特に<販売先実需>は、昨年の2.6%から今年は無くなった。
減少した販売先区分は、大手スーパー2.9%(同 4.3 ㊦)、百貨店5.4%(同 4.6 ㊦)、生協2.8%(同 2.4 ㊦)、ドラッグストア2.4%(同 1.9 ㊦)、中小外食0.0%(同 3.5 ㊦)、ベンダー0.0%(同 3.0 ㊦)であった。
- 「1.販売期限を超過したとする返品」は、 全販売先 で4.4%(同 0.8 ㊦)と若干の減少であった。
減少した販売先区分は、大手スーパー8.7%(同 2.9 ㊦)、中小スーパー8.0%(同 2.6 ㊦)、百貨店0.0%(同 2.5 ㊦)、ドラッグストア7.3%(同 5.7 ㊦)で、増加したのが、生協5.6%(同+5.6 ㊦)、ベンダー1.6%(同+1.6 ㊦)であった。
- 「2.売れ残ったとする返品」は、 全販売先 で3.0%(同 0.3 ㊦)とほぼ横ばいであった。
- 「3.新米販売時の古米の返品」は、 全販売先 で4.8%(同 0.1 ㊦)とほぼ横ばいであった。
販売先区分では、中小スーパーが8.0%(同 4.8 ㊦)と大きく減少し、百貨店は0.0%(同 2.5 ㊦)となったが、他の販売先区分はほぼ横ばいであった。
- 「6.その他」では、
『返品時期を過ぎていないにもかかわらず返品された』
『特売価格で納入した商品であるにもかかわらず、定番価格で返品された』
との回答があった。

問3 「不当な返品」の具体的内容



旧問3 「不当な返品」の具体的内容 (22年度)



問3 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
1.販売期限を 経過したとす る返品	23年度調査	6 卸 8.7 %	8 卸 8.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.6 %	2 卸 6.1 %	3 卸 7.3 %
	22年度調査	8 卸 11.6 %	10 卸 10.6 %	1 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.7 %	6 卸 13.0 %
	増減	2 卸 2.9 ㊦	2 卸 2.6 ㊦	1 卸 2.5 ㊦	+ 2 卸 + 5.6 ㊦	± 0 卸 + 0.3 ㊦	3 卸 5.7 ㊦
2.売残ったと する返品	23年度調査	4 卸 5.8 %	5 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	1 卸 3.0 %	4 卸 9.8 %
	22年度調査	5 卸 7.2 %	6 卸 6.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	4 卸 8.7 %
	増減	1 卸 1.4 ㊦	1 卸 1.4 ㊦	± 0 卸 ± 0 ㊦	+ 1 卸 + 2.8 ㊦	± 0 卸 + 0.2 ㊦	± 0 卸 + 1.1 ㊦
3.新米販売時 の古米の返品	23年度調査	6 卸 8.7 %	8 卸 8.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	2 卸 6.1 %	4 卸 9.8 %
	22年度調査	4 卸 5.8 %	12 卸 12.8 %	1 卸 2.5 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.9 %	4 卸 8.7 %
	増減	+ 2 卸 + 2.9 ㊦	4 卸 4.8 ㊦	1 卸 2.5 ㊦	± 0 卸 + 0.2 ㊦	+ 1 卸 + 3.2 ㊦	± 0 卸 + 1.1 ㊦
4.取引先の責 任による破損 品の返品	23年度調査	5 卸 7.2 %	14 卸 14.0 %	3 卸 8.1 %	2 卸 5.6 %	3 卸 9.1 %	4 卸 9.8 %
	22年度調査	9 卸 13.0 %	12 卸 12.8 %	2 卸 5.0 %	2 卸 5.1 %	2 卸 5.7 %	3 卸 6.5 %
	増減	4 卸 5.8 ㊦	+ 2 卸 + 1.2 ㊦	+ 1 卸 + 3.1 ㊦	± 0 卸 + 0.4 ㊦	+ 1 卸 + 3.4 ㊦	+ 1 卸 + 3.2 ㊦
5.顧客のク レーム、また はキャンセル による返品	23年度調査	2 卸 2.9 %	5 卸 5.0 %	2 卸 5.4 %	1 卸 2.8 %	1 卸 3.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	5 卸 7.2 %	5 卸 5.3 %	4 卸 10.0 %	2 卸 5.1 %	1 卸 2.9 %	2 卸 4.3 %
	増減	3 卸 4.3 ㊦	± 0 卸 0.3 ㊦	2 卸 4.6 ㊦	1 卸 2.4 ㊦	± 0 卸 + 0.2 ㊦	1 卸 1.9 ㊦
6.その他	23年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ㊦	± 0 卸 0.1 ㊦	± 0 卸 ± 0 ㊦	± 0 卸 ± 0 ㊦	± 0 卸 ± 0 ㊦	± 0 卸 ± 0 ㊦
取引卸数	23年度調査	69 卸	100 卸	37 卸	36 卸	33 卸	41 卸
	22年度調査	69 卸	94 卸	40 卸	39 卸	35 卸	46 卸
	増減	± 0 卸	+ 6 卸	3 卸	3 卸	2 卸	5 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 21 卸 6.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 22 卸 4.4 %
延 27 卸 8.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 27 卸 5.2 %
延 6 卸 1.7 %	± 0 卸 ± 0 %	± 0 卸 ± 0 %	+ 1 卸 + 1.6 %	延 + 1 卸 + 0.5 %	延 5 卸 0.8 %
延 15 卸 4.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 15 卸 3.0 %
延 16 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 17 卸 3.3 %
延 1 卸 0.2 %	± 0 卸 ± 0 %	1 卸 1.2 %	± 0 卸 ± 0 %	延 1 卸 0.5 %	延 2 卸 0.3 %
延 21 卸 6.6 %	1 卸 2.9 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.6 %	延 3 卸 1.6 %	延 24 卸 4.8 %
延 23 卸 7.1 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	1 卸 1.5 %	延 2 卸 1.0 %	延 25 卸 4.9 %
延 2 卸 0.5 %	+ 1 卸 + 2.9 %	± 0 卸 0.0 %	± 0 卸 + 0.1 %	延 + 1 卸 + 0.6 %	延 1 卸 0.1 %
延 31 卸 9.8 %	2 卸 5.7 %	4 卸 4.6 %	2 卸 3.2 %	延 8 卸 4.3 %	延 39 卸 7.8 %
延 30 卸 9.3 %	2 卸 5.1 %	4 卸 4.7 %	2 卸 3.0 %	延 8 卸 4.2 %	延 38 卸 7.4 %
延 + 1 卸 + 0.5 %	± 0 卸 + 0.6 %	± 0 卸 0.1 %	± 0 卸 + 0.2 %	延 ± 0 卸 + 0.2 %	延 + 1 卸 + 0.4 %
延 12 卸 3.8 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 12 卸 2.4 %
延 19 卸 5.9 %	0 卸 0.0 %	3 卸 3.5 %	2 卸 3.0 %	延 5 卸 2.6 %	延 24 卸 4.7 %
延 7 卸 2.1 %	± 0 卸 ± 0 %	3 卸 3.5 %	2 卸 3.0 %	延 5 卸 2.6 %	延 12 卸 2.3 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 ± 0 卸 + 0.0 %	± 0 卸 ± 0 %	± 0 卸 ± 0 %	± 0 卸 ± 0 %	延 ± 0 卸 ± 0 %	延 ± 0 卸 + 0.0 %
延 316 卸	35 卸	87 卸	62 卸	延 184 卸	延 500 卸
延 323 卸	39 卸	86 卸	67 卸	延 192 卸	延 515 卸
延 7 卸	4 卸	+ 1 卸	5 卸	延 8 卸	延 15 卸

問 4 前問で を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

(略)

問 5 昨年に比べて「不当な返品」と思われる取引が増加した事例がある場合は、その理由をご記入下さい。

- 福島原発事故の影響で消費者が購入しないことを理由に売れ残った商品を返品。
- 福島原発事故により売れ残りが増えた。
- 販売担当あるいは責任者の返品に対する認識がなくなってきた。

問 6 昨年に比べて「不当な返品」と思われる取引が減少した・存在しなくなった事例がある場合は、その理由（改善策等）をご記入下さい。

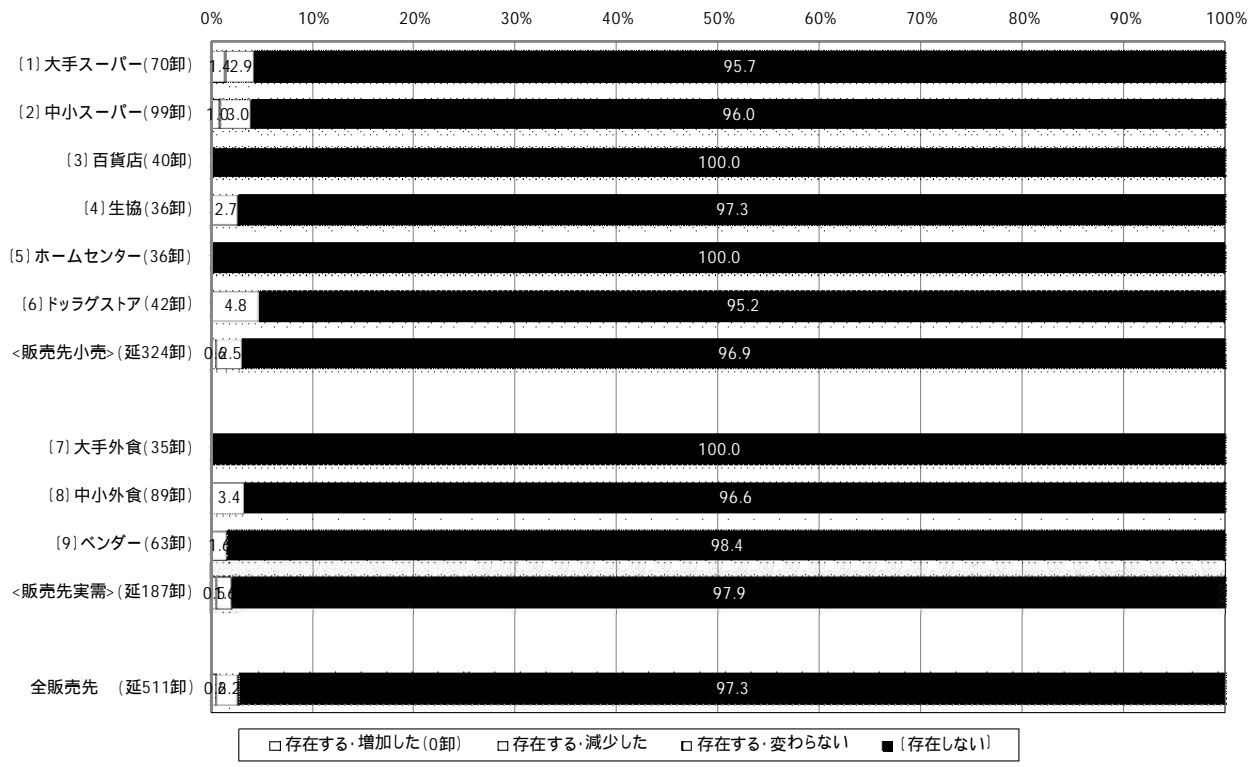
- 小ロットで対応。
- 納入先ときめ細かい納入方法等を合意。
- 計画的な仕入。
- コンプライアンスの徹底。
- 商談時の確認事項の徹底。
- 不当な返品に対しての申し入れ。
- メーカーとしての毅然とした態度。
- 返品不可の依頼。
- 各店舗実務担当者に対する減量策の啓蒙活動。
- 返品しないルールを新たに設定。
- 返品不可を条件に一定のリベートの支払い。
- 返品無しの条件で価格の引下げ。
- 公取による排除命令の報道。
- 原発の影響により十分な供給ができなかったことによる。
- 販売数量の減少。

< 告示第2項「不当な値引」について >

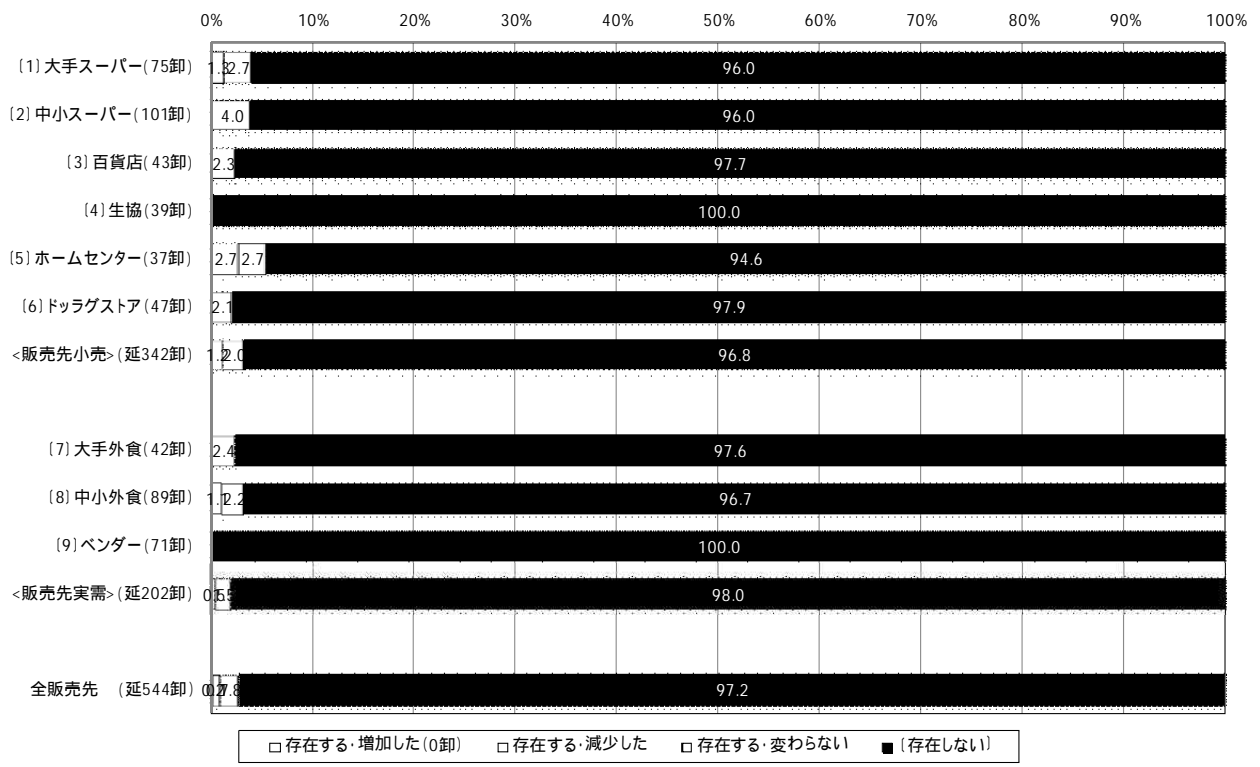
問 7 現在、販売先との取引において「不当な値引」（商品購入後の納入価格の一方向的な値引）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「不当な値引が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先 で2.7%(昨年比 0.0^{ポイント})と昨年とほとんど変わらなかった。
- 全販売先 の回答件数は延 14 卸と昨年比延 1 卸であった。
- 「不当な値引が存在する」との回答のうち、昨年比「増加した」との回答はなかった。

問7 「不当な値引」の有無



旧問6 「不当な値引」の有無(22年度)



問7 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
存在する ・増加した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
存在する ・減少した	23年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 卸	+ 1 卸 + 1.0 卸	1 卸 2.3 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.7 卸	1 卸 2.1 卸
存在する ・変わらない	23年度調査	2 卸 2.9 %	3 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.8 %
	22年度調査	2 卸 2.7 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.2 卸	1 卸 0.9 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 1 卸 + 2.7 卸	1 卸 2.7 卸	+ 2 卸 + 4.8 卸
〔存在する〕	23年度調査	3 卸 4.3 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.8 %
	22年度調査	3 卸 4.0 %	4 卸 4.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.4 %	1 卸 2.1 %
	増減	± 0 卸 + 0.3 卸	± 0 卸 + 0.1 卸	1 卸 2.3 卸	+ 1 卸 + 2.7 卸	2 卸 5.4 卸	+ 1 卸 + 2.6 卸
〔存在しない〕	23年度調査	67 卸 95.7 %	95 卸 96.0 %	40 卸 100.0 %	36 卸 97.3 %	36 卸 100.0 %	40 卸 95.2 %
	22年度調査	72 卸 96.0 %	97 卸 96.0 %	42 卸 97.7 %	39 卸 100.0 %	35 卸 94.6 %	46 卸 97.9 %
	増減	5 卸 0.3 卸	2 卸 0.1 卸	2 卸 + 2.3 卸	3 卸 2.7 卸	+ 1 卸 + 5.4 卸	6 卸 2.6 卸
取引卸数	23年度調査	70 卸	99 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	75 卸	101 卸	43 卸	39 卸	37 卸	47 卸
	増減	5 卸	2 卸	3 卸	2 卸	1 卸	5 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 1 卸 0.2 %
延 ± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 1.1 卸	± 0 卸 ± 0 卸	延 1 卸 0.5 卸	延 1 卸 0.2 卸
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 3 卸 0.6 %
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.7 %
延 2 卸 0.6 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 1 卸 + 1.6 卸	延 + 1 卸 + 0.5 卸	延 1 卸 0.1 卸
延 8 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	3 卸 3.4 %	0 卸 0.0 %	延 3 卸 1.6 %	延 11 卸 2.2 %
延 7 卸 2.0 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 3 卸 1.5 %	延 10 卸 1.8 %
延 + 1 卸 + 0.4 卸	1 卸 2.4 卸	+ 1 卸 + 1.1 卸	± 0 卸 ± 0 卸	延 ± 0 卸 + 0.1 卸	延 + 1 卸 + 0.3 卸
延 10 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	3 卸 3.4 %	1 卸 1.6 %	延 4 卸 2.1 %	延 14 卸 2.7 %
延 11 卸 3.2 %	1 卸 2.4 %	3 卸 3.3 %	0 卸 0.0 %	延 4 卸 2.0 %	延 15 卸 2.8 %
延 1 卸 0.1 卸	1 卸 2.4 卸	± 0 卸 + 0.0 卸	+ 1 卸 + 1.6 卸	延 ± 0 卸 + 0.2 卸	延 1 卸 0.0 卸
延 314 卸 96.9 %	35 卸 100.0 %	86 卸 96.6 %	62 卸 98.4 %	延 183 卸 97.9 %	延 497 卸 97.3 %
延 331 卸 96.8 %	41 卸 97.6 %	87 卸 96.7 %	71 卸 100.0 %	延 199 卸 98.0 %	延 530 卸 97.2 %
延 17 卸 + 0.1 卸	6 卸 + 2.4 卸	1 卸 0.0 卸	9 卸 1.6 卸	延 16 卸 0.2 卸	延 33 卸 + 0.0 卸
延 324 卸	35 卸	89 卸	63 卸	延 187 卸	延 511 卸
延 342 卸	42 卸	90 卸	71 卸	延 203 卸	延 545 卸
延 18 卸	7 卸	1 卸	8 卸	延 16 卸	延 34 卸

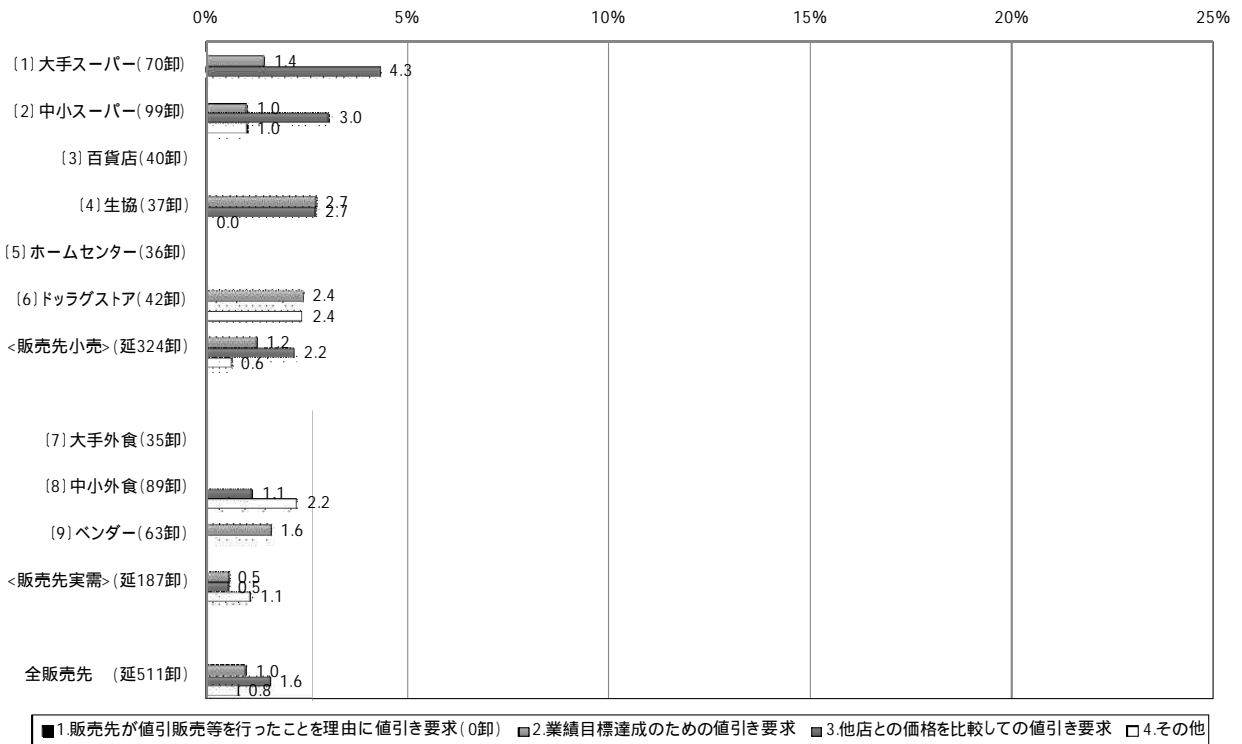
問 8 前問で「存在する」に を付した具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に を付して下さい(複数可)。

選択肢

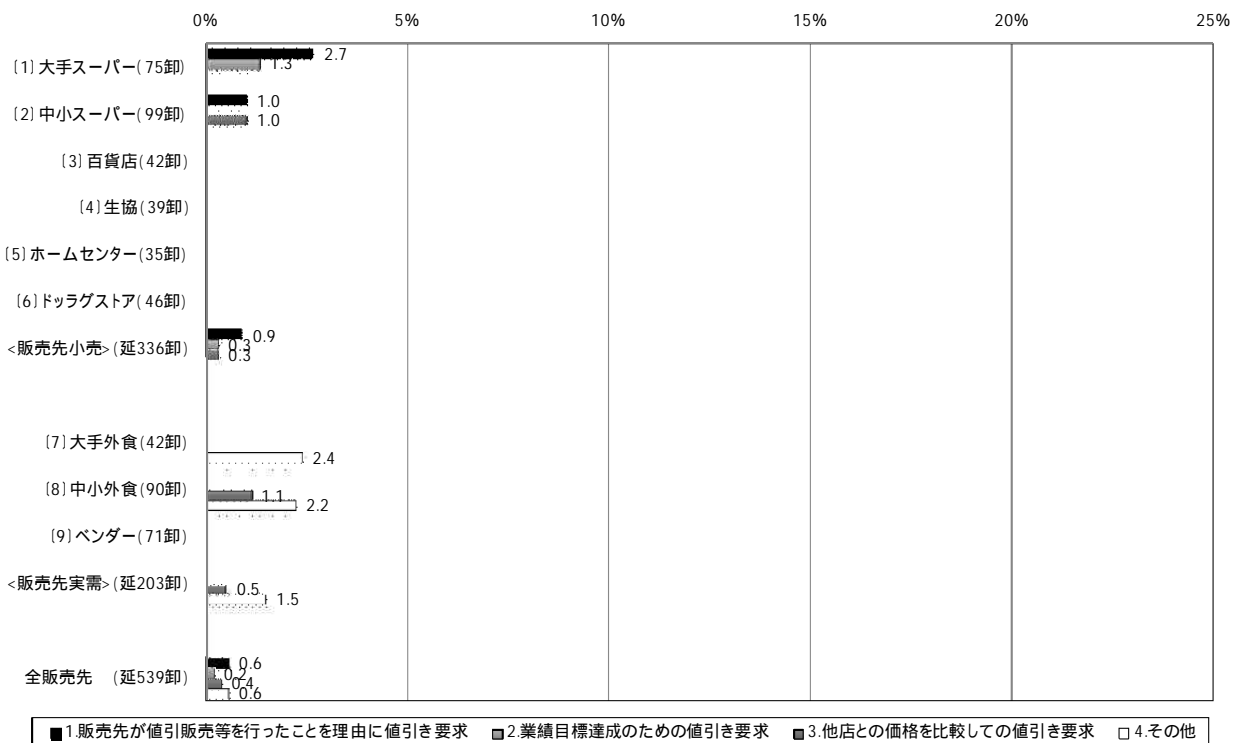
1. 商品購入後に、値引き販売等を行ったことを理由に納入価格を値引させられた
(販売先が値引き販売等を行ったことを理由に値引き要求)
2. 商品購入後に、当初の業績目標に達成しなかったことを理由に値引させられた
(業績目標達成のための値引き要求)
3. 商品購入後に、他店の販売価格が安いことを理由に値引させられた
(他店との価格を比較しての値引き要求)
4. その他

- 「1. 販売先が値引き販売等を行ったことを理由に値引き要求」は、昨年は大手スーパーで2卸、中小スーパーで1卸であったが、今年は無かった。
- 「2. 業績目標達成のための値引き要求」は、昨年は大手スーパーの1卸のみであったが、今年は、大手スーパー、中小スーパー、生協、ドラッグストア、ベンダーで1卸ずつあった。
- 「3. 他店との価格を比較しての値引き要求」は、大手スーパー3卸(昨年比+3卸)、中小スーパー3卸(同+2卸)、生協1卸(同+1卸)、中小外食で1卸(同±0卸)であった。
- 「4. その他」では、
『他卸との比較で値引させられた』(中小スーパー、ドラッグストア、中小外食)
『請求額から一方的に値引きする』(中小外食)
との回答があった。

問8 「不当な値引」の具体的内容



旧問7 「不当な値引」の具体的内容 (22年度)



問8 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
1.販売先が値引販売等を行ったことを理由に値引き要求	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	2 卸 2.7 ポイント	1 卸 1.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
2.業績目標達成のための値引き要求	23年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 ポイント	+ 1 卸 + 1.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	+ 1 卸 + 2.7 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	+ 1 卸 + 2.4 ポイント
3.他店との価格を比較しての値引き要求	23年度調査	3 卸 4.3 %	3 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 3 卸 + 4.3 ポイント	+ 2 卸 + 2.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	+ 1 卸 + 2.7 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント
4.その他	23年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイント	+ 1 卸 + 1.0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	+ 1 卸 + 2.4 ポイント
取引卸数	23年度調査	70 卸	99 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	75 卸	99 卸	42 卸	39 卸	35 卸	46 卸
	増減	5 卸	± 0 卸	2 卸	2 卸	+ 1 卸	4 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 3 卸 0.9 %	± 0 卸 ± 0 %	± 0 卸 ± 0 %	± 0 卸 ± 0 %	延 ± 0 卸 ± 0 %	延 3 卸 0.6 %
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 5 卸 1.0 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 + 3 卸 + 0.9 %	± 0 卸 ± 0 %	± 0 卸 ± 0 %	+ 1 卸 + 1.6 %	延 + 1 卸 + 0.5 %	延 + 4 卸 + 0.8 %
延 7 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 8 卸 1.6 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 2 卸 0.4 %
延 + 6 卸 + 1.9 %	± 0 卸 ± 0 %	± 0 卸 + 0.0 %	± 0 卸 ± 0 %	延 ± 0 卸 + 0.0 %	延 + 6 卸 + 1.2 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.1 %	延 4 卸 0.8 %
延 0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 3 卸 1.5 %	延 3 卸 0.6 %
延 + 2 卸 + 0.6 %	1 卸 2.4 %	± 0 卸 + 0.0 %	± 0 卸 ± 0 %	延 1 卸 0.4 %	延 + 1 卸 + 0.2 %
延 324 卸	35 卸	89 卸	63 卸	延 187 卸	延 511 卸
延 336 卸	42 卸	90 卸	71 卸	延 203 卸	延 539 卸
延 12 卸	7 卸	1 卸	8 卸	延 16 卸	延 28 卸

問9 前問で を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

(略)

問11 昨年に比べて「不当な値引」と思われる取引が減少した・存在しなくなった事例がある場合は、その理由(改善策等)をご記入下さい。

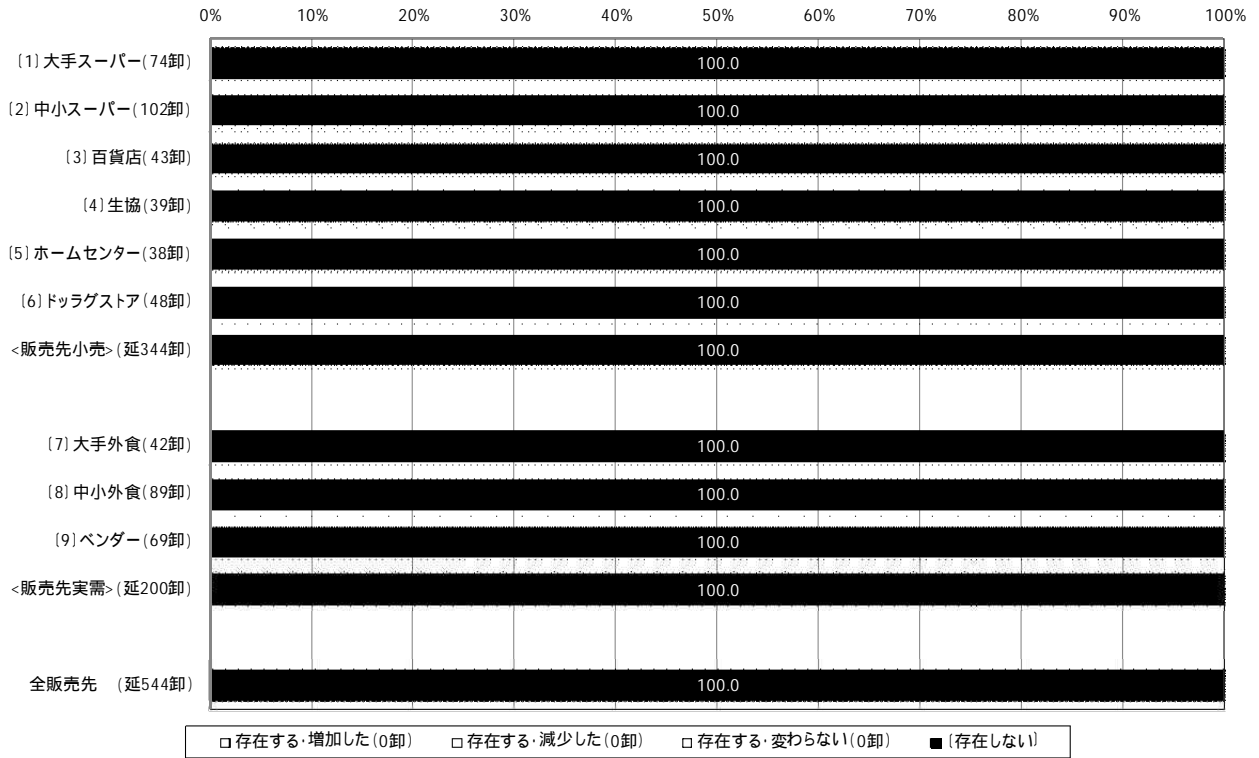
- 付加価値の高い商品アイテムなど、他社と競合しない商品を扱ってもらっている。
- 納入数量を調整した。
- 震災後物量不足が発生し、価格決定において双方が対等になり、当方の主張が採り入れられるようになった。

< 告示第3項「不当な委託販売取引」について >

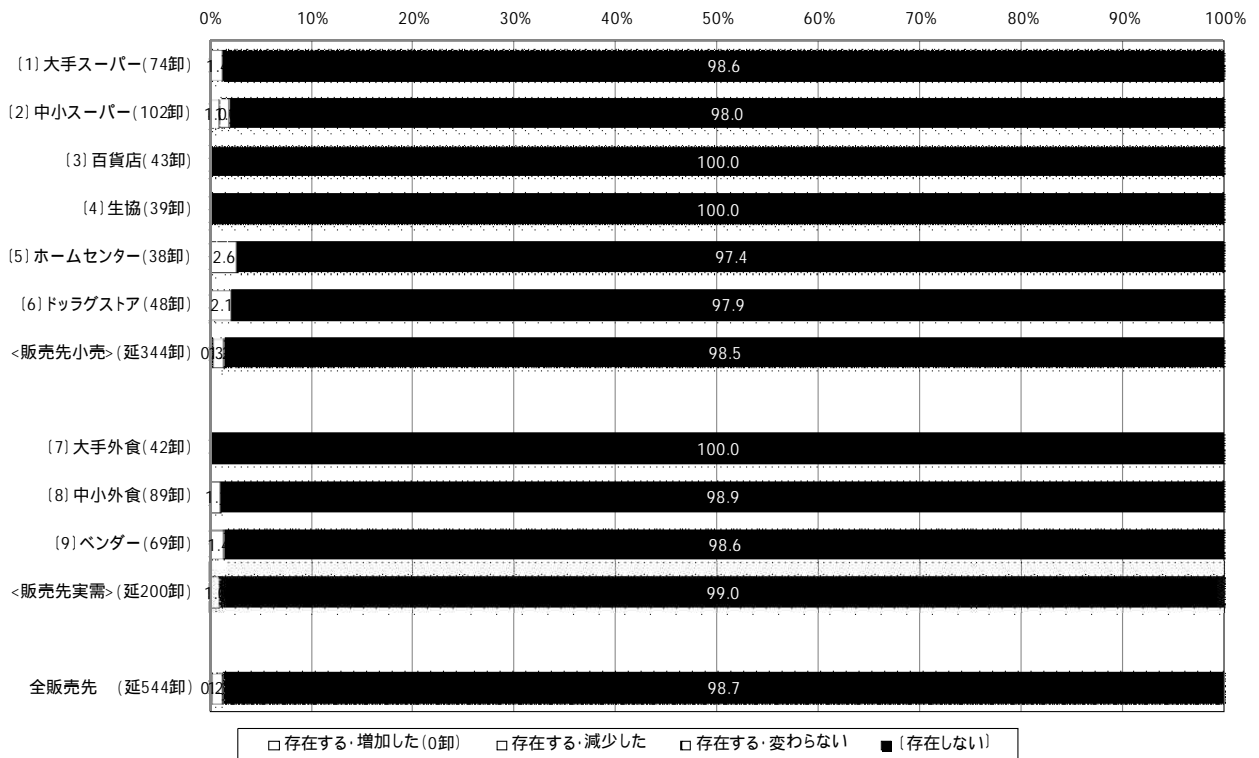
問 12 現在、販売先との取引において「不当な委託販売取引」（正常な商慣習に照らして著しく不利益となるような条件でさせる委託販売取引）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄 1 か所に○を付して下さい。

- 「不当な委託販売取引が存在する」と回答した卸は無くなった。（昨年延7卸）

問12 「不当な委託販売取引」の有無



旧問10 「不当な委託販売取引」の有無(22年度)



問12 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
存在する ・増加した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
存在する ・減少した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 1.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
存在する ・変わらない	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	増減	1 卸 1.4 卸	1 卸 1.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.6 卸	1 卸 2.1 卸
〔存在する〕	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	増減	1 卸 1.4 卸	2 卸 2.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.6 卸	1 卸 2.1 卸
〔存在しない〕	23年度調査	70 卸 100.0 %	99 卸 100.0 %	40 卸 100.0 %	37 卸 100.0 %	36 卸 100.0 %	42 卸 100.0 %
	22年度調査	73 卸 98.6 %	100 卸 98.0 %	43 卸 100.0 %	39 卸 100.0 %	37 卸 97.4 %	47 卸 97.9 %
	増減	3 卸 + 1.4 卸	1 卸 + 2.0 卸	3 卸 ± 0 卸	2 卸 ± 0 卸	1 卸 + 2.6 卸	5 卸 + 2.1 卸
取引卸数	23年度調査	70 卸	99 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	74 卸	102 卸	43 卸	39 卸	38 卸	48 卸
	増減	4 卸	3 卸	3 卸	2 卸	2 卸	6 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 ± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 1 卸 0.3 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 1 卸 0.2 弊
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.4 %	延 2 卸 1.0 %	延 6 卸 1.1 %
延 4 卸 1.2 弊	± 0 卸 ± 0 弊	1 卸 1.1 弊	1 卸 1.4 弊	延 2 卸 1.0 弊	延 6 卸 1.1 弊
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.4 %	延 2 卸 1.0 %	延 7 卸 1.3 %
延 5 卸 1.5 弊	± 0 卸 ± 0 弊	1 卸 1.1 弊	1 卸 1.4 弊	延 2 卸 1.0 弊	延 7 卸 1.3 弊
延 324 卸 100.0 %	35 卸 100.0 %	89 卸 100.0 %	62 卸 100.0 %	延 186 卸 100.0 %	延 510 卸 100.0 %
延 339 卸 98.5 %	42 卸 100.0 %	88 卸 98.9 %	68 卸 98.6 %	延 198 卸 99.0 %	延 537 卸 98.7 %
延 15 卸 + 1.5 弊	7 卸 ± 0 弊	+ 1 卸 + 1.1 弊	6 卸 + 1.4 弊	延 12 卸 + 1.0 弊	延 27 卸 + 1.3 弊
延 324 卸	35 卸	89 卸	62 卸	延 186 卸	延 510 卸
延 344 卸	42 卸	89 卸	69 卸	延 200 卸	延 544 卸
延 20 卸	7 卸	± 0 卸	7 卸	延 14 卸	延 34 卸

問 13 前問で「存在する」に を付した方に伺います。存在する「不当な委託販売取引」と思われる存在する取引の具体的内容は何ですか。貴卸の実例をご記入下さい。

(略)

問 14 昨年に比べて「不当な委託販売取引」と思われる取引が増加した事例がある場合は、その理由をご記入下さい。

記載なし

問 15 昨年に比べて「不当な委託販売取引」と思われる取引が減少した・存在しなくなった事例がある場合は、その理由（改善策等）をご記入下さい。

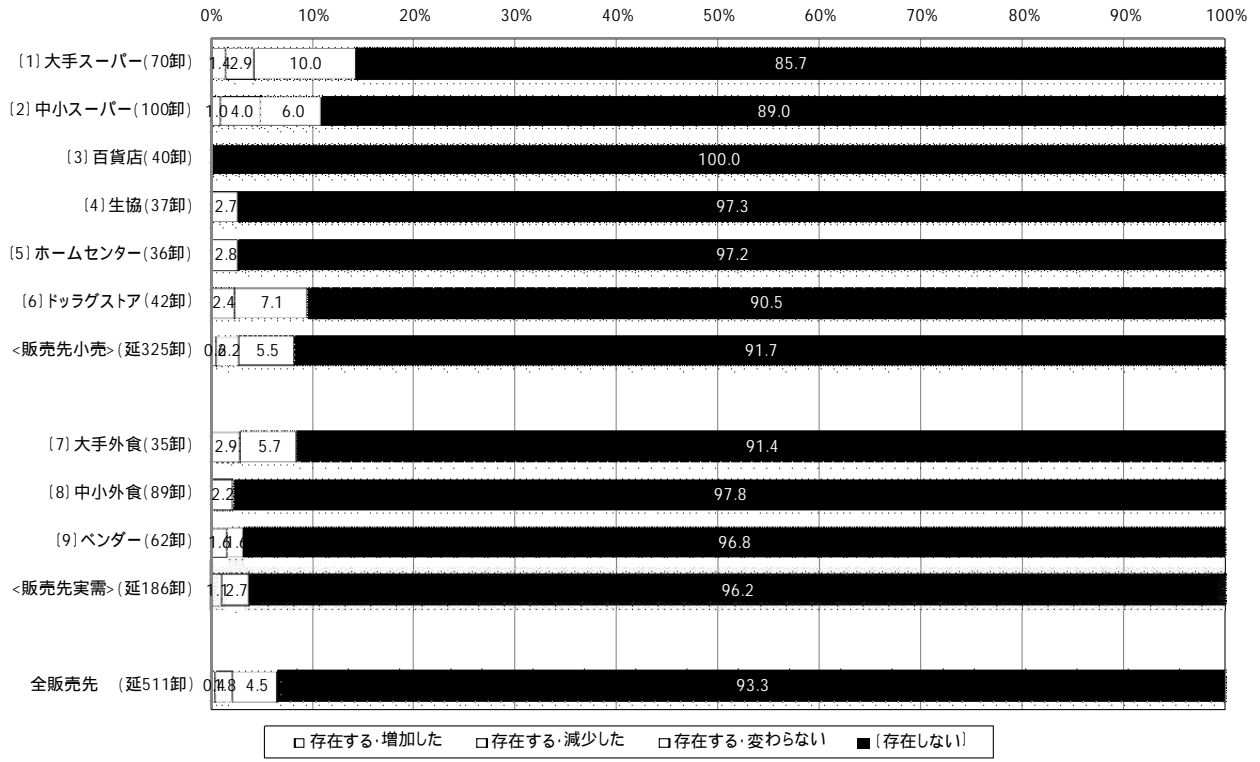
- 震災後物量不足が発生し、価格決定において双方が対等になり、当方の主張が採り入れられるようになった。

< 告示第4項「特売商品等の買いたたき」について >

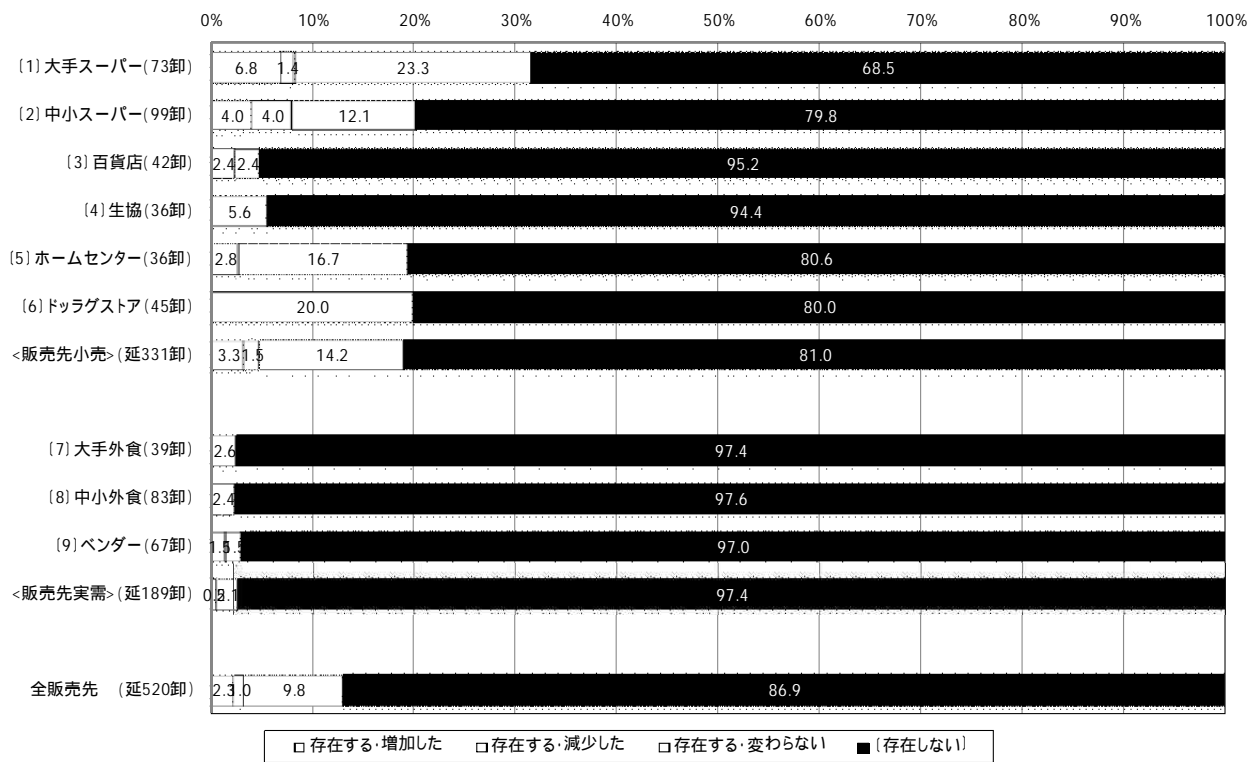
問 16 現在、販売先との取引において「特売商品等の買いたたき」（特売商品等について、販売先の販売価格に見合うように、通常の納入価格と比べて著しく低い価格を定めて貴卸に納入させること）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄 1 か所に○を付して下さい。

- 「特売商品等の買いたたきが存在する」と回答した卸の割合は、全販売先で去年の13.1%から今年は6.7%（昨年比 6.4 割）と、ほぼ半減した。
- 販売先区分では、大手スーパー14.3%（同 17.2 割）、中小スーパー11.0%（同 9.2 割）、ホームセンター2.8%（同 16.7 割）、ドラッグストア9.5%（同 10.5 割）の減少が大きかった。

問16 「特売商品等の買ったたき」の有無



旧問13 「特売商品等の買ったたき」の有無(22年度)



問16 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
存在する ・増加した	23年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	5 卸 6.8 %	4 卸 4.0 %	1 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	0 卸 0.0 %
	増減	4 卸 5.4 卸	3 卸 3.0 卸	1 卸 2.4 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.8 卸	± 0 卸 ± 0 卸
存在する ・減少した	23年度調査	2 卸 2.9 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.5 卸	± 0 卸 0.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 1 卸 + 2.4 卸
存在する ・変わらない	23年度調査	7 卸 10.0 %	6 卸 6.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.8 %	3 卸 7.1 %
	22年度調査	17 卸 23.3 %	12 卸 12.1 %	1 卸 2.4 %	2 卸 5.6 %	6 卸 16.7 %	9 卸 20.0 %
	増減	10 卸 13.3 卸	6 卸 6.1 卸	1 卸 2.4 卸	1 卸 2.9 卸	5 卸 13.9 卸	6 卸 12.9 卸
〔存在する〕	23年度調査	10 卸 14.3 %	11 卸 11.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.8 %	4 卸 9.5 %
	22年度調査	23 卸 31.5 %	20 卸 20.2 %	2 卸 4.8 %	2 卸 5.6 %	7 卸 19.4 %	9 卸 20.0 %
	増減	13 卸 17.2 卸	9 卸 9.2 卸	2 卸 4.8 卸	1 卸 2.9 卸	6 卸 16.7 卸	5 卸 10.5 卸
〔存在しない〕	23年度調査	60 卸 85.7 %	89 卸 89.0 %	40 卸 100.0 %	36 卸 97.3 %	35 卸 97.2 %	38 卸 90.5 %
	22年度調査	50 卸 68.5 %	79 卸 79.8 %	40 卸 95.2 %	34 卸 94.4 %	29 卸 80.6 %	36 卸 80.0 %
	増減	+ 10 卸 + 17.2 卸	+ 10 卸 + 9.2 卸	± 0 卸 + 4.8 卸	+ 2 卸 + 2.9 卸	+ 6 卸 + 16.7 卸	+ 2 卸 + 10.5 卸
取引卸数	23年度調査	70 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	73 卸	99 卸	42 卸	36 卸	36 卸	45 卸
	増減	3 卸	+ 1 卸	2 卸	+ 1 卸	± 0 卸	3 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 11 卸 3.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.5 %	延 1 卸 0.5 %	延 12 卸 2.3 %
延 9 卸 2.7 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	1 卸 1.5 弊	延 1 卸 0.5 弊	延 10 卸 1.9 弊
延 7 卸 2.2 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 2 卸 1.1 %	延 9 卸 1.8 %
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 1.0 %
延 + 2 卸 + 0.6 弊	+ 1 卸 + 2.9 弊	± 0 卸 ± 0 弊	+ 1 卸 + 1.6 弊	延 + 2 卸 + 1.1 弊	延 + 4 卸 + 0.8 弊
延 18 卸 5.5 %	2 卸 5.7 %	2 卸 2.2 %	1 卸 1.6 %	延 5 卸 2.7 %	延 23 卸 4.5 %
延 47 卸 14.2 %	1 卸 2.6 %	2 卸 2.4 %	1 卸 1.5 %	延 4 卸 2.1 %	延 51 卸 9.8 %
延 29 卸 8.7 弊	+ 1 卸 + 3.2 弊	± 0 卸 0.2 弊	± 0 卸 + 0.1 弊	延 + 1 卸 + 0.6 弊	延 28 卸 5.3 弊
延 27 卸 8.3 %	3 卸 8.6 %	2 卸 2.2 %	2 卸 3.2 %	延 7 卸 3.8 %	延 34 卸 6.7 %
延 63 卸 19.0 %	1 卸 2.6 %	2 卸 2.4 %	2 卸 3.0 %	延 5 卸 2.6 %	延 68 卸 13.1 %
延 36 卸 10.7 弊	+ 2 卸 + 6.0 弊	± 0 卸 0.2 弊	± 0 卸 + 0.2 弊	延 + 2 卸 + 1.1 弊	延 34 卸 6.4 弊
延 298 卸 91.7 %	32 卸 91.4 %	87 卸 97.8 %	60 卸 96.8 %	延 179 卸 96.2 %	延 477 卸 93.3 %
延 268 卸 81.0 %	38 卸 97.4 %	81 卸 97.6 %	65 卸 97.0 %	延 184 卸 97.4 %	延 452 卸 86.9 %
延 + 30 卸 + 10.7 弊	6 卸 6.0 弊	+ 6 卸 + 0.2 弊	5 卸 0.2 弊	延 5 卸 1.1 弊	延 + 25 卸 + 6.4 弊
延 325 卸	35 卸	89 卸	62 卸	延 186 卸	延 511 卸
延 331 卸	39 卸	83 卸	67 卸	延 189 卸	延 520 卸
延 6 卸	4 卸	+ 6 卸	5 卸	延 3 卸	延 9 卸

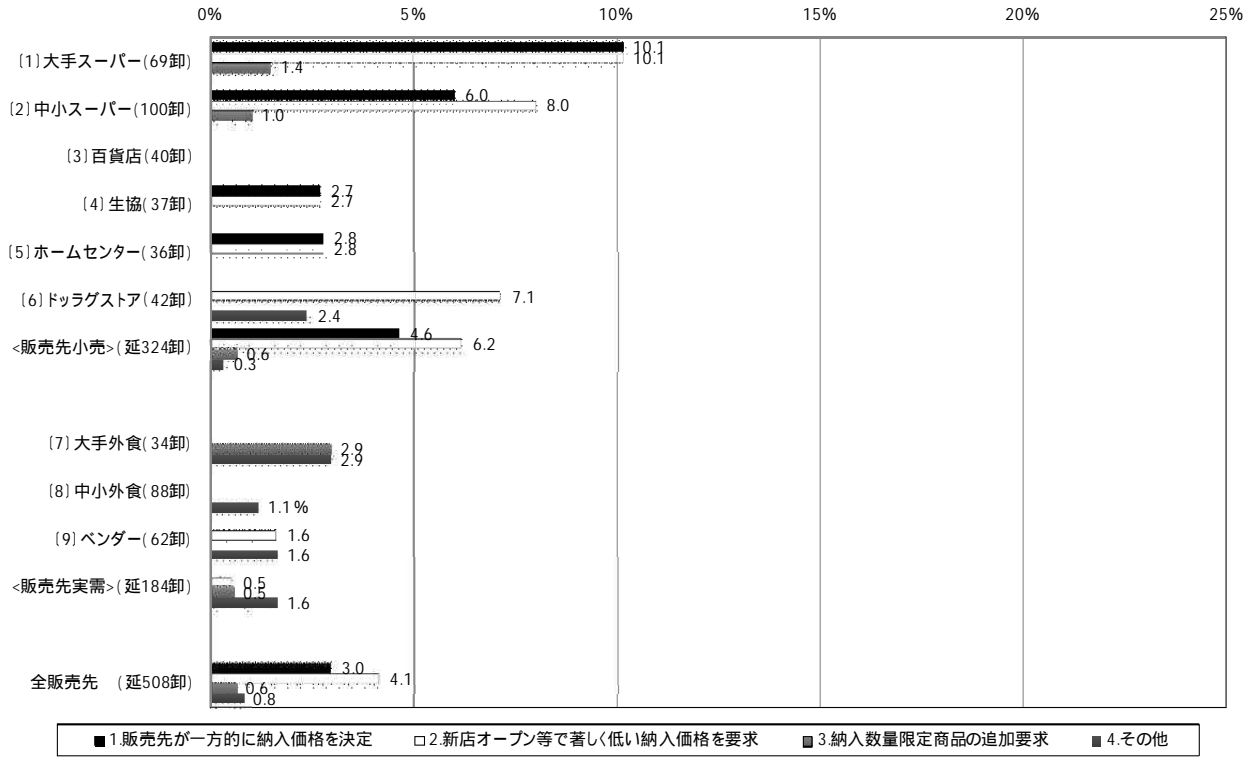
問 17 前問で「存在する」に を付した具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に を付して下さい(複数可)

選択肢

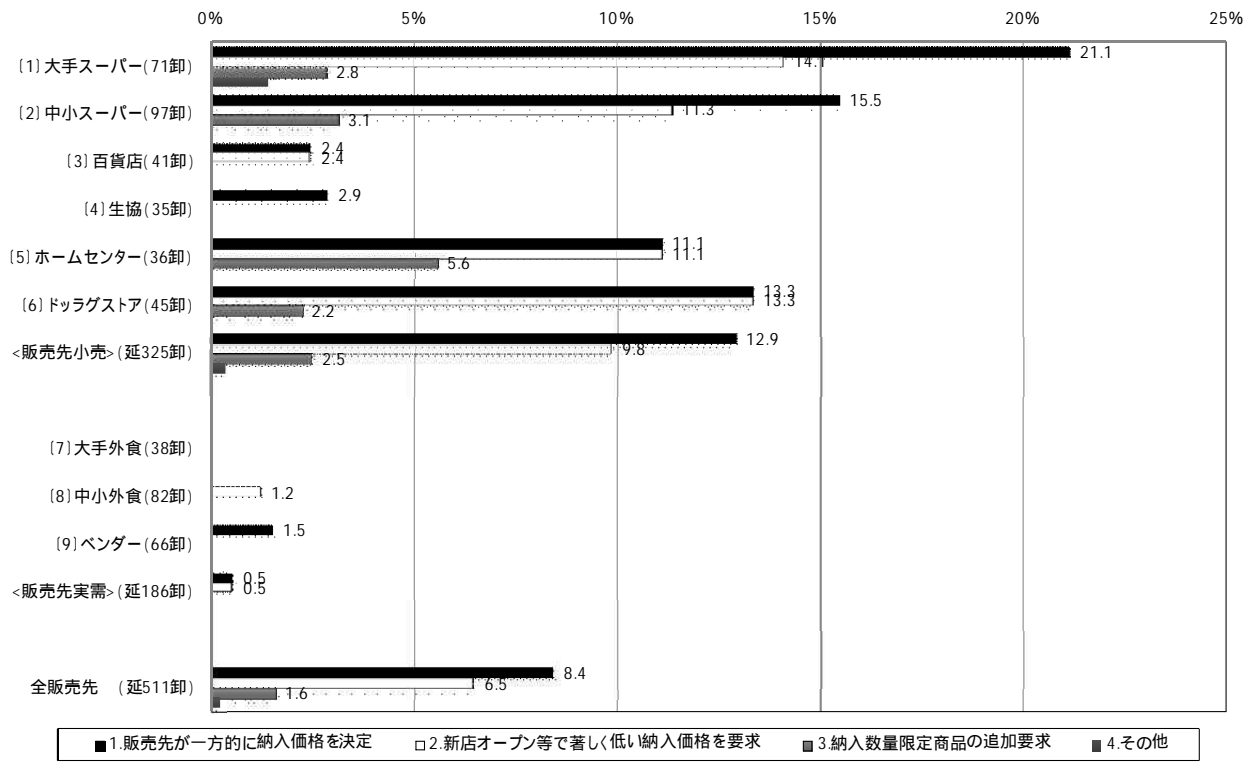
1. 特売用の商品について、販売先の販売価格に見合うように通常の納入価格と比べて著しく低い価格を定めて納入させられた
(販売先が一方的に納入価格を決定)
2. 新店オープン等を理由に、通常納入価格と比べて著しく低い納入価格を定め納入させられた
(新店オープン等で著しく低い納入価格を要求)
3. 通常納入価格より低い価格で納入する条件として納入数量を限定していたにもかかわらず追加で納入させられた
(納入数量限定商品の追加要求)
4. その他

- 大手スーパーとの取引がある卸は、「1.販売先が一方的に納入価格を決定」を10.1%(昨年比 11.0%)、「2.新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」も10.1%(同 3.9%)が選択した。昨年より減少しているものの依然約1割の卸が選択した。「3.納入数量限定商品の追加要求」は1.4%(同 1.4%)であった。
- 中小スーパーとの取引がある卸は、「1.販売先が一方的に納入価格を決定」を6.0%(同 9.5%)、「2.新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」を8.0%(同 3.3%)「3.納入数量限定商品の追加要求」を1.0%(同 2.1%)が選択した。
- ホームセンターとの取引がある卸は、「1.販売先が一方的に納入価格を決定」を2.8%(同 8.3%)、「2.新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」を2.8%(同 8.3%)が選択した。「3.納入数量限定商品の追加要求」は、選択卸が無かった。(昨年5.6%)
- ドラッグストアとの取引がある卸は、「2.新店オープン等で著しく低い納入価格を要求」を7.1%(同 6.2%)が選択したが、半減した。「1.販売先が一方的に納入価格を決定」と「3.納入数量限定商品の追加要求」は、選択卸が無かった。(昨年其々13.3%、2.2%)
- 「4.その他」では、
『通常価格を他業者と比較して低い価格にさせられた』(ドラッグストア、大手外食、中小外食、ベンダー)
との回答があった。

問17 「特売商品等の買ったとき」の具体的内容



旧問14 「特売商品等の買ったとき」の具体的内容(22年度)



問17 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
1.販売先が一方的に納入価格を決定	23年度調査	7 卸 10.1 %	6 卸 6.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.8 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	15 卸 21.1 %	15 卸 15.5 %	1 卸 2.4 %	1 卸 2.9 %	4 卸 11.1 %	6 卸 13.3 %
	増減	8 卸 11.0 ポイント	9 卸 9.5 ポイント	1 卸 2.4 ポイント	± 0 卸 0.2 ポイント	3 卸 8.3 ポイント	6 卸 13.3 ポイント
2.新店オープン等で著しく低い納入価格を要求	23年度調査	7 卸 10.1 %	8 卸 8.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.8 %	3 卸 7.1 %
	22年度調査	10 卸 14.1 %	11 卸 11.3 %	1 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	4 卸 11.1 %	6 卸 13.3 %
	増減	3 卸 3.9 ポイント	3 卸 3.3 ポイント	1 卸 2.4 ポイント	+ 1 卸 + 2.7 ポイント	3 卸 8.3 ポイント	3 卸 6.2 ポイント
3.納入数量限定商品の追加要求	23年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	2 卸 2.8 %	3 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 5.6 %	1 卸 2.2 %
	増減	1 卸 1.4 ポイント	2 卸 2.1 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	2 卸 5.6 ポイント	1 卸 2.2 ポイント
4.その他	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	1 卸 1.4 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	± 0 卸 ± 0 ポイント	+ 1 卸 + 2.4 ポイント
取引卸数	23年度調査	69 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	71 卸	97 卸	41 卸	35 卸	36 卸	45 卸
	増減	2 卸	+ 3 卸	1 卸	+ 2 卸	± 0 卸	3 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 15 卸 4.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 15 卸 3.0 %
延 42 卸 12.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.5 %	延 1 卸 0.5 %	延 43 卸 8.4 %
延 27 卸 8.3 費	± 0 卸 ± 0 費	± 0 卸 ± 0 費	1 卸 1.5 費	延 1 卸 0.5 費	延 28 卸 5.5 費
延 20 卸 6.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 21 卸 4.1 %
延 32 卸 9.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 33 卸 6.5 %
延 12 卸 3.7 費	± 0 卸 ± 0 費	1 卸 1.2 費	+ 1 卸 + 1.6 費	延 ± 0 卸 + 0.0 費	延 12 卸 2.3 費
延 2 卸 0.6 %	1 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 3 卸 0.6 %
延 8 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 8 卸 1.6 %
延 6 卸 1.8 費	+ 1 卸 + 2.9 費	± 0 卸 ± 0 費	± 0 卸 ± 0 費	延 + 1 卸 + 0.5 費	延 5 卸 1.0 費
延 1 卸 0.3 %	1 卸 2.9 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.6 %	延 3 卸 1.6 %	延 4 卸 0.8 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 ± 0 卸 + 0.0 費	+ 1 卸 + 2.9 費	+ 1 卸 + 1.1 費	+ 1 卸 + 1.6 費	延 + 3 卸 + 1.6 費	延 + 3 卸 + 0.6 費
延 324 卸	34 卸	88 卸	62 卸	延 184 卸	延 508 卸
延 325 卸	38 卸	82 卸	66 卸	延 186 卸	延 511 卸
延 1 卸	4 卸	+ 6 卸	4 卸	延 2 卸	延 3 卸

問 18 前問で を付した具体的内容項目の費卸の実例をご記入下さい。

(略)

問 19 昨年に比べて「特売商品等の買ったたき」と思われる取引が増加した事例がある場合は、その理由をご記入下さい。

- 他店との価格競争の激化。

問 20 昨年に比べて「特売商品等の買ったたき」と思われる取引が減少した・存在しなくなった事例がある場合は、その理由（改善策等）をご記入下さい。

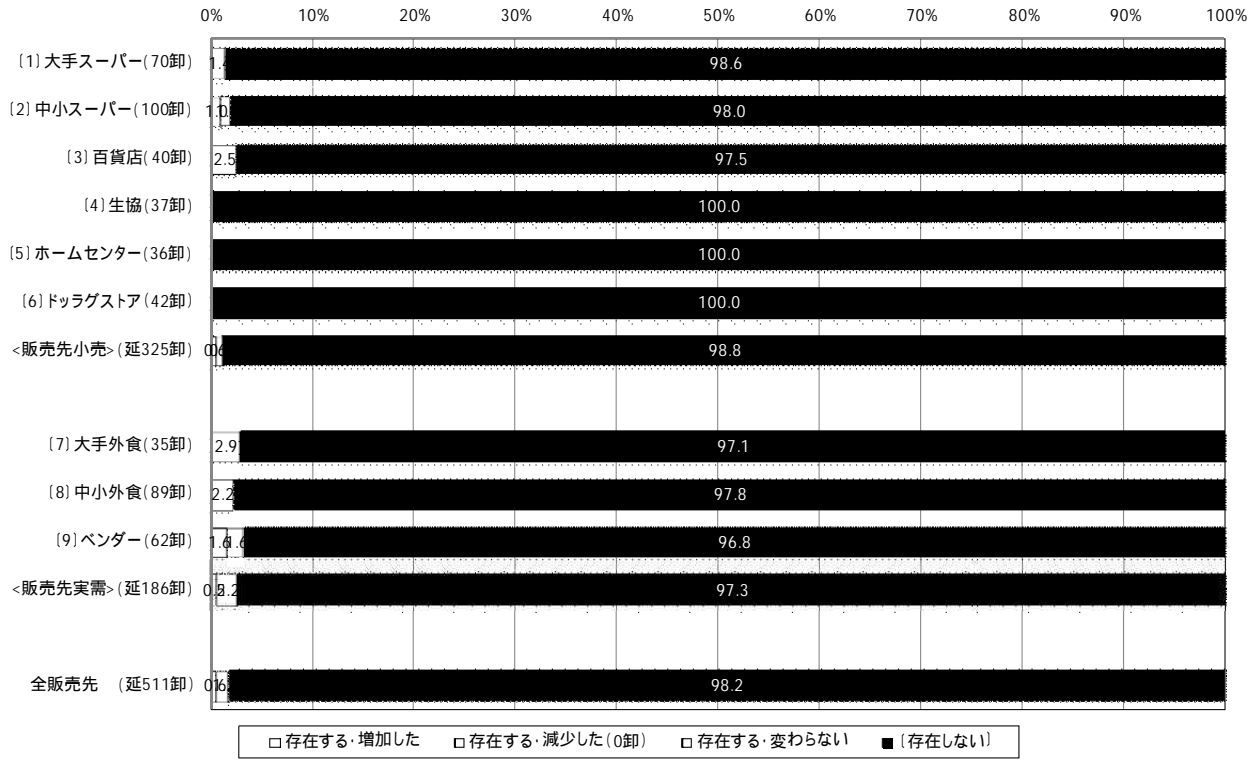
- 原料不足のため。
- バイヤーが交代した。

< 告示第 5 項「特別注文品の受領拒否」について >

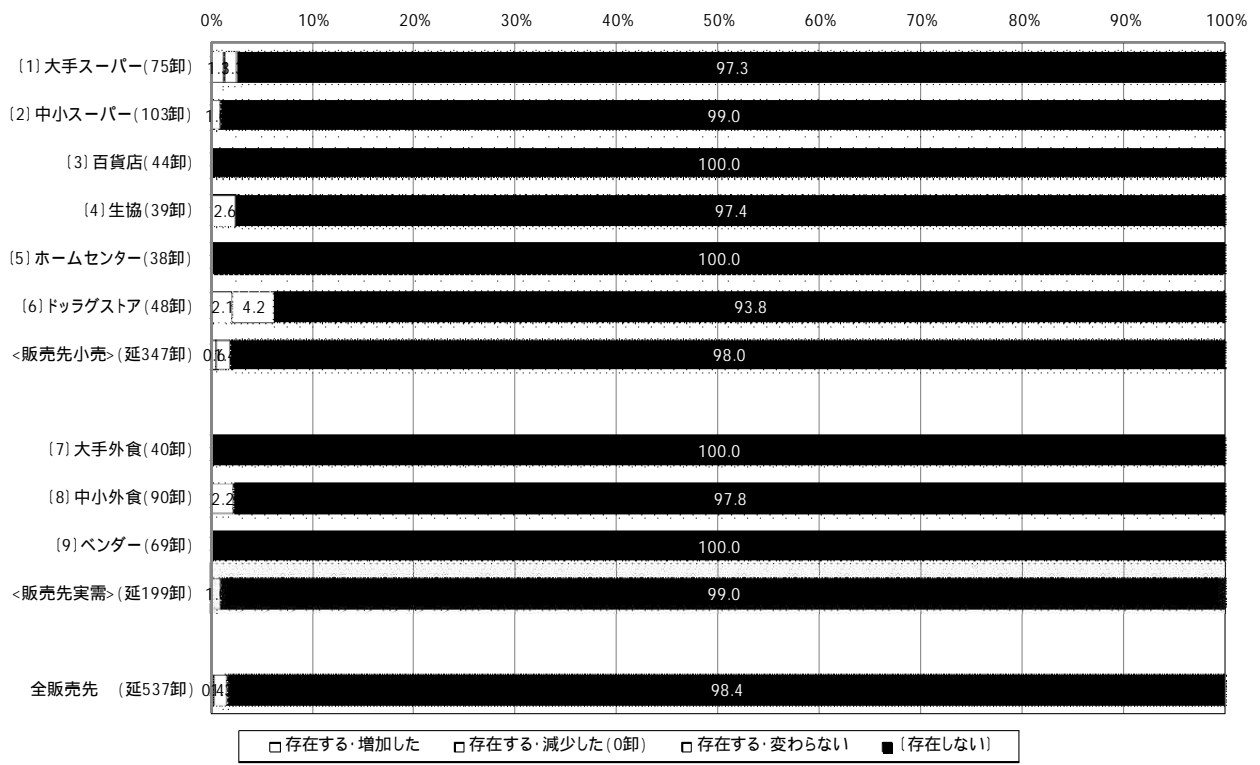
問 21 現在、販売先との取引において「特別注文品の受領拒否」（PB 商品など、特別の規格等を指定して発注した後、需要見通しが変わった等の理由で商品の受領を拒むこと。但し、「貴卸に責任がある場合」や「あらかじめ貴卸の同意を得て、かつ、受領拒否による貴卸の損失を先方が負担する場合」は該当しない）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄 1 か所に○を付して下さい。

- 「特別注文品の受領拒否が存在する」と回答した件数は、全販売先 で延 9 卸で、昨年と同数であった。
- 販売先区分では、大手スーパーが 1 卸（前年比 1 卸）、中小スーパーが 2 卸（同 +1 卸）、百貨店が 1 卸（同 +1 卸）、大手外食が 1 卸（同 +1 卸）、中小外食が 2 卸（同 ±0 卸）、ベンダーが 2 卸（同 +2 卸）であった。なお、前年 3 卸のドラッグストアと 1 卸の生協は、本年は無かった。

問21 「特別注文品の受領拒否」の有無



旧問17 「特別注文品の受領拒否」の有無(22年度)



問21 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
存在する ・増加した	23年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	1 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.1 %
	増減	1 卸 1.3 軒	+ 1 卸 + 1.0 軒	+ 1 卸 + 2.5 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	1 卸 2.1 軒
存在する ・減少した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒
存在する ・変わらない	23年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.3 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.2 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 軒	± 0 卸 + 0.0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	1 卸 2.6 軒	± 0 卸 ± 0 軒	2 卸 4.2 軒
〔存在する〕	23年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	1 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	3 卸 6.3 %
	増減	1 卸 1.2 軒	+ 1 卸 + 1.0 軒	+ 1 卸 + 2.5 軒	1 卸 2.6 軒	± 0 卸 ± 0 軒	3 卸 6.3 軒
〔存在しない〕	23年度調査	69 卸 98.6 %	98 卸 98.0 %	39 卸 97.5 %	37 卸 100.0 %	36 卸 100.0 %	42 卸 100.0 %
	22年度調査	73 卸 97.3 %	102 卸 99.0 %	44 卸 100.0 %	38 卸 97.4 %	38 卸 100.0 %	45 卸 93.8 %
	増減	4 卸 + 1.2 軒	4 卸 1.0 軒	5 卸 2.5 軒	1 卸 + 2.6 軒	2 卸 ± 0 軒	3 卸 + 6.3 軒
取引卸数	23年度調査	70 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	75 卸	103 卸	44 卸	39 卸	38 卸	48 卸
	増減	5 卸	3 卸	4 卸	2 卸	2 卸	6 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 3 卸 0.6 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 ± 0 卸 + 0.0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	+ 1 卸 + 1.6 弊	延 + 1 卸 + 0.5 弊	延 + 1 卸 + 0.2 弊
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 ± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊
延 2 卸 0.6 %	1 卸 2.9 %	2 卸 2.2 %	1 卸 1.6 %	延 4 卸 2.2 %	延 6 卸 1.2 %
延 5 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.0 %	延 7 卸 1.3 %
延 3 卸 0.8 弊	+ 1 卸 + 2.9 弊	± 0 卸 + 0.0 弊	+ 1 卸 + 1.6 弊	延 + 2 卸 + 1.1 弊	延 1 卸 0.1 弊
延 4 卸 1.2 %	1 卸 2.9 %	2 卸 2.2 %	2 卸 3.2 %	延 5 卸 2.7 %	延 9 卸 1.8 %
延 7 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 2.2 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.0 %	延 9 卸 1.6 %
延 3 卸 0.8 弊	+ 1 卸 + 2.9 弊	± 0 卸 + 0.0 弊	+ 2 卸 + 3.2 弊	延 + 3 卸 + 1.7 弊	延 ± 0 卸 + 0.1 弊
延 321 卸 98.8 %	34 卸 97.1 %	87 卸 97.8 %	60 卸 96.8 %	延 181 卸 97.3 %	延 502 卸 98.2 %
延 340 卸 98.0 %	40 卸 100.0 %	88 卸 97.8 %	69 卸 100.0 %	延 197 卸 99.0 %	延 537 卸 98.4 %
延 19 卸 + 0.8 弊	6 卸 2.9 弊	1 卸 0.0 弊	9 卸 3.2 弊	延 16 卸 1.7 弊	延 35 卸 0.1 弊
延 325 卸	35 卸	89 卸	62 卸	延 186 卸	延 511 卸
延 347 卸	40 卸	90 卸	69 卸	延 199 卸	延 546 卸
延 22 卸	5 卸	1 卸	7 卸	延 13 卸	延 35 卸

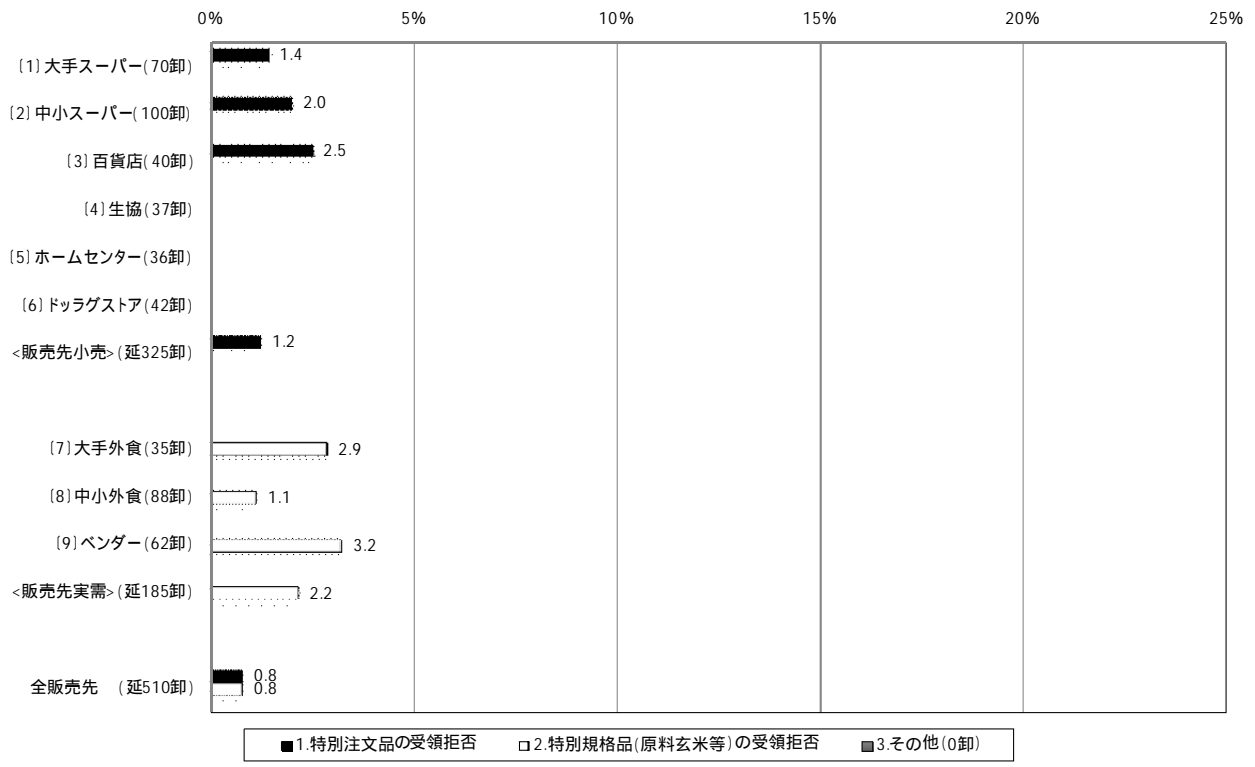
問 22 前問で「存在する」に を付した取引の具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに存在する具体的内容に を付して下さい(複数可)

選択肢

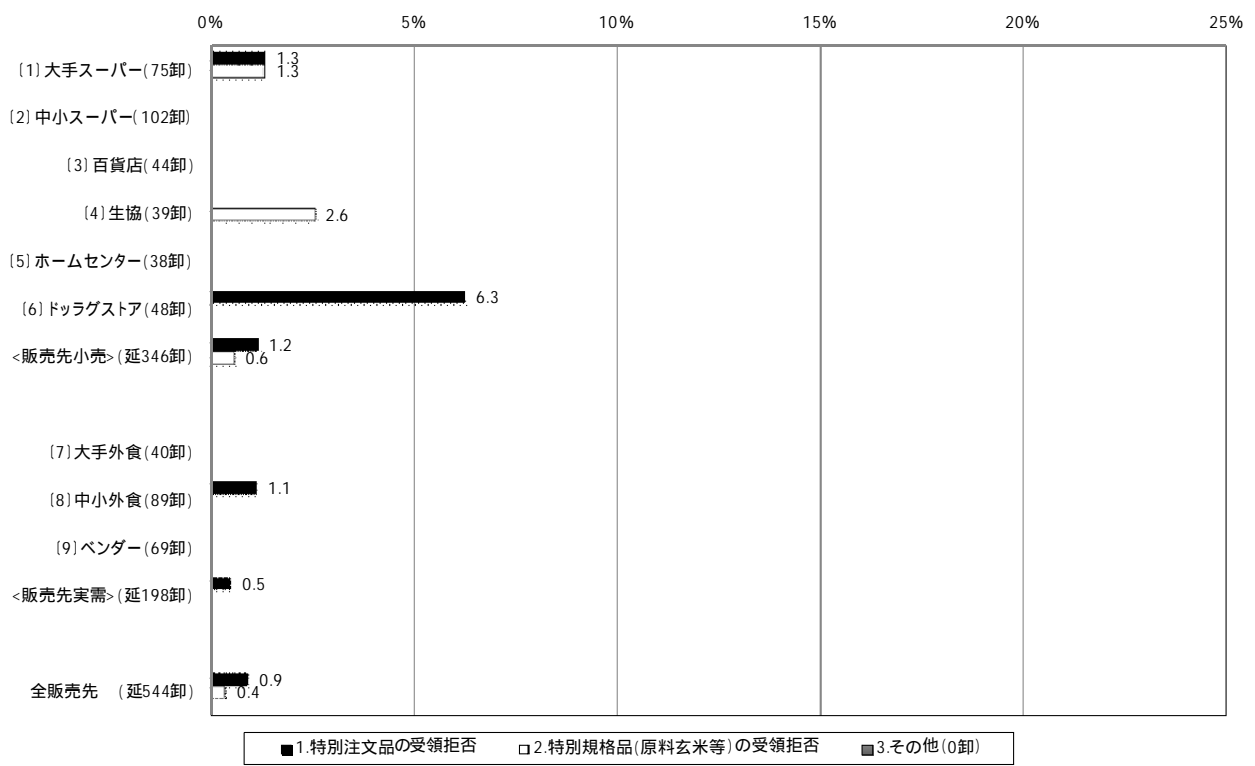
- 1 . 販売不振等を理由に、特別注文品の受領を拒否された
(特別注文品の受領拒否)
- 2 . 販売不振等を理由に、特別規格の原料玄米等の受領を拒否された
(特別の規格品(原料玄米等)の受領拒否)
- 3 . その他

- 「1 . 特別注文品の受領拒否」は、大手スーパーは昨年と同様 1 卸であったが、昨年無かった中小スーパーが 2 卸、百貨店が 1 卸あった。
昨年 3 卸のドラッグストアと 1 卸の中小外食は無くなった。
- 「2 . 特別の規格品(原料玄米等)の受領拒否」は、昨年無かった大手外食が 1 卸、中小外食が 1 卸、ベンダーが 2 卸あった。
昨年 1 卸の大手スーパーと生協は無くなった。

問22 「特別注文品の受領拒否」の具体的内容



旧問18 「特別注文品の受領拒否」の具体的内容 (22年度)



問22 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
1.特別注文品の受領拒否	23年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	1 卸 2.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	3 卸 6.3 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 卸	+ 2 卸 + 2.0 卸	+ 1 卸 + 2.5 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	3 卸 6.3 卸
2.特別規格品(原料玄米等)の受領拒否	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	1 卸 1.3 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.6 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
3.その他	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
取引卸数	23年度調査	70 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	75 卸	102 卸	44 卸	39 卸	38 卸	48 卸
	増減	5 卸	2 卸	4 卸	2 卸	2 卸	6 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.8 %
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 5 卸 0.9 %
延 ± 0 卸 + 0.1 費	± 0 卸 ± 0 費	1 卸 1.1 費	± 0 卸 ± 0 費	延 1 卸 0.5 費	延 1 卸 0.1 費
延 0 卸 0.0 %	1 卸 2.9 %	1 卸 1.1 %	2 卸 3.2 %	延 4 卸 2.2 %	延 4 卸 0.8 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 2 卸 0.6 費	+ 1 卸 + 2.9 費	+ 1 卸 + 1.1 費	+ 2 卸 + 3.2 費	延 + 4 卸 + 2.2 費	延 + 2 卸 + 0.4 費
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 ± 0 卸 ± 0 費	± 0 卸 ± 0 費	± 0 卸 ± 0 費	± 0 卸 ± 0 費	延 ± 0 卸 ± 0 費	延 ± 0 卸 ± 0 費
延 325 卸	35 卸	88 卸	62 卸	延 185 卸	延 510 卸
延 346 卸	40 卸	89 卸	69 卸	延 198 卸	延 544 卸
延 21 卸	5 卸	1 卸	7 卸	延 13 卸	延 34 卸

問 23 前問で を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

(略)

問 24 昨年に比べて「特別注文品の受領拒否」と思われる取引が増加した事例がある場合は、その理由をご記入下さい。

記載なし

問 25 昨年に比べて「特別注文品の受領拒否」と思われる取引が減少した・存在しなくなった事例がある場合は、その理由（改善策等）をご記入下さい。

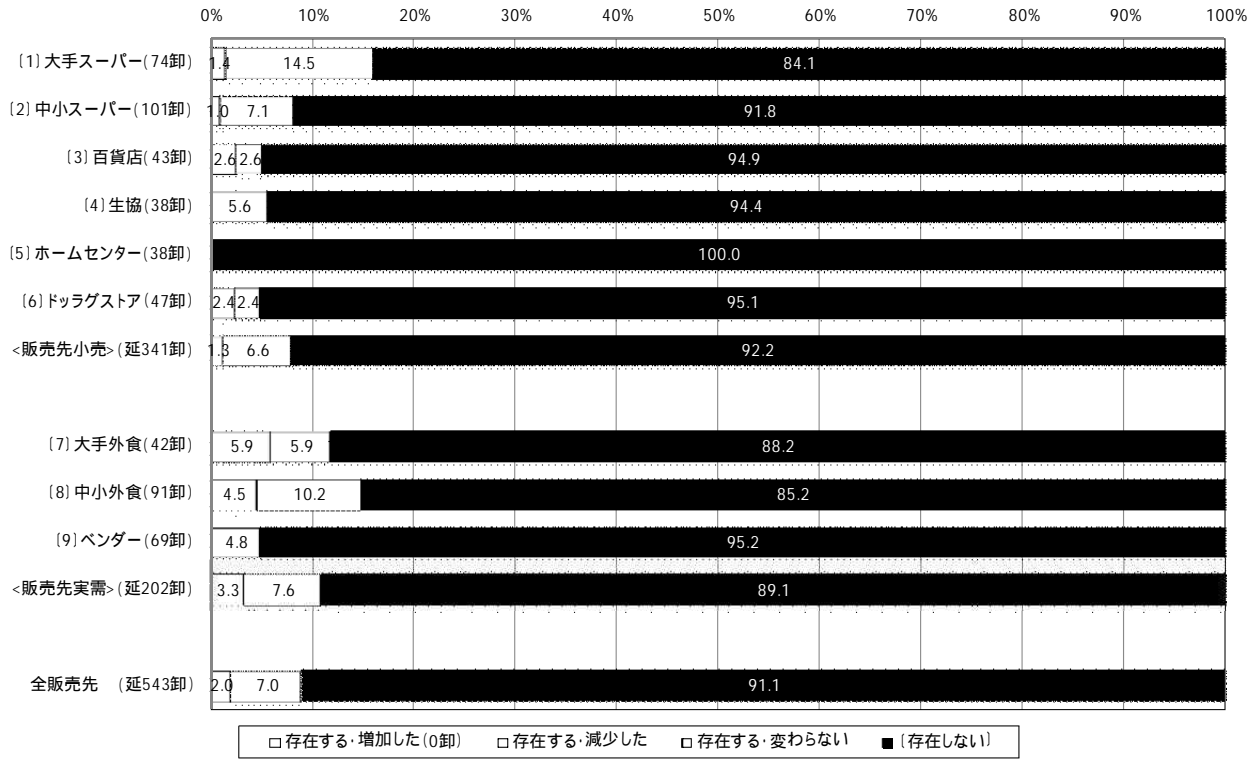
記載なし

< 告示第6項「押し付け販売等」について >

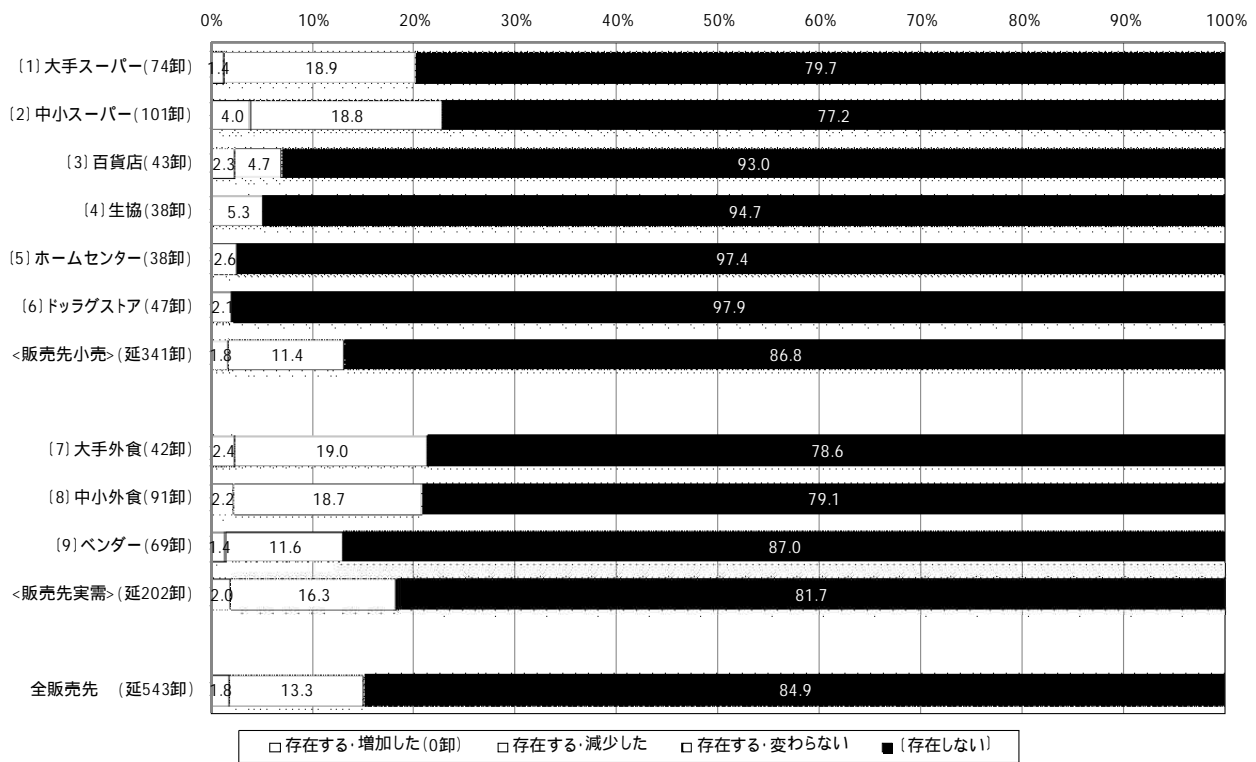
問 26 現在、販売先との取引において「押し付け販売等」（貴卸（社員等を含む）が希望しないにもかかわらず、販売先が指定する商品を購入又は利用させること）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄 1 か所に○を付して下さい。

- 「押し付け販売等が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先 で前年の 15.1% から今年 は 8.9%（前年比 6.2 ㊦）に大きく減少した。
- 販売先区分では、大手スーパー15.9%（同 4.3 ㊦）、中小スーパー8.2%（同 14.6 ㊦）、大手外食 11.8%（同 9.7 ㊦）、中小外食 14.8%（同 6.1 ㊦）、ベンダー4.8%（同 8.2 ㊦）の減少が大きかった。

問26 「押付販売等」の有無



旧問21 「押付販売等」の有無(22年度)



問26 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
存在する ・増加した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
存在する ・減少した	23年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	4 卸 4.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 卸	3 卸 2.9 卸	± 0 卸 + 0.2 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 1 卸 + 2.4 卸
存在する ・変わらない	23年度調査	10 卸 14.5 %	7 卸 7.1 %	1 卸 2.6 %	2 卸 5.6 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	14 卸 18.9 %	19 卸 18.8 %	2 卸 4.7 %	2 卸 5.3 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	増減	4 卸 4.4 卸	12 卸 11.7 卸	1 卸 2.1 卸	± 0 卸 + 0.3 卸	1 卸 2.6 卸	± 0 卸 + 0.3 卸
〔存在する〕	23年度調査	11 卸 15.9 %	8 卸 8.2 %	2 卸 5.1 %	2 卸 5.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	22年度調査	15 卸 20.3 %	23 卸 22.8 %	3 卸 7.0 %	2 卸 5.3 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.1 %
	増減	4 卸 4.3 卸	15 卸 14.6 卸	1 卸 1.8 卸	± 0 卸 + 0.3 卸	1 卸 2.6 卸	+ 1 卸 + 2.8 卸
〔存在しない〕	23年度調査	58 卸 84.1 %	90 卸 91.8 %	37 卸 94.9 %	34 卸 94.4 %	36 卸 100.0 %	39 卸 95.1 %
	22年度調査	59 卸 79.7 %	78 卸 77.2 %	40 卸 93.0 %	36 卸 94.7 %	37 卸 97.4 %	46 卸 97.9 %
	増減	1 卸 + 4.3 卸	+ 12 卸 + 14.6 卸	3 卸 + 1.8 卸	2 卸 0.3 卸	1 卸 + 2.6 卸	7 卸 2.8 卸
取引卸数	23年度調査	69 卸	98 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	22年度調査	74 卸	101 卸	43 卸	38 卸	38 卸	47 卸
	増減	5 卸	3 卸	4 卸	2 卸	2 卸	6 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ペンダー	<販売先実需>	全販売先
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 ± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	延 ± 0 卸 ± 0 卸	延 ± 0 卸 ± 0 卸
延 4 卸 1.3 %	2 卸 5.9 %	4 卸 4.5 %	0 卸 0.0 %	延 6 卸 3.3 %	延 10 卸 2.0 %
延 6 卸 1.8 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	1 卸 1.4 %	延 4 卸 2.0 %	延 10 卸 1.8 %
延 2 卸 0.5 卸	+ 1 卸 + 3.5 卸	+ 2 卸 + 2.3 卸	1 卸 1.4 卸	延 + 2 卸 + 1.3 卸	延 ± 0 卸 + 0.1 卸
延 21 卸 6.6 %	2 卸 5.9 %	9 卸 10.2 %	3 卸 4.8 %	延 14 卸 7.6 %	延 35 卸 7.0 %
延 39 卸 11.4 %	8 卸 19.0 %	17 卸 18.7 %	8 卸 11.6 %	延 33 卸 16.3 %	延 72 卸 13.3 %
延 18 卸 4.9 卸	6 卸 13.2 卸	8 卸 8.5 卸	5 卸 6.8 卸	延 19 卸 8.7 卸	延 37 卸 6.3 卸
延 25 卸 7.8 %	4 卸 11.8 %	13 卸 14.8 %	3 卸 4.8 %	延 20 卸 10.9 %	延 45 卸 8.9 %
延 45 卸 13.2 %	9 卸 21.4 %	19 卸 20.9 %	9 卸 13.0 %	延 37 卸 18.3 %	延 82 卸 15.1 %
延 20 卸 5.4 卸	5 卸 9.7 卸	6 卸 6.1 卸	6 卸 8.2 卸	延 17 卸 7.4 卸	延 37 卸 6.2 卸
延 294 卸 92.2 %	30 卸 88.2 %	75 卸 85.2 %	59 卸 95.2 %	延 164 卸 89.1 %	延 458 卸 91.1 %
延 296 卸 86.8 %	33 卸 78.6 %	72 卸 79.1 %	60 卸 87.0 %	延 165 卸 81.7 %	延 461 卸 84.9 %
延 2 卸 + 5.4 卸	3 卸 + 9.7 卸	+ 3 卸 + 6.1 卸	1 卸 + 8.2 卸	延 1 卸 + 7.4 卸	延 3 卸 + 6.2 卸
延 319 卸	34 卸	88 卸	62 卸	延 184 卸	延 503 卸
延 341 卸	42 卸	91 卸	69 卸	延 202 卸	延 543 卸
延 22 卸	8 卸	3 卸	7 卸	延 18 卸	延 40 卸

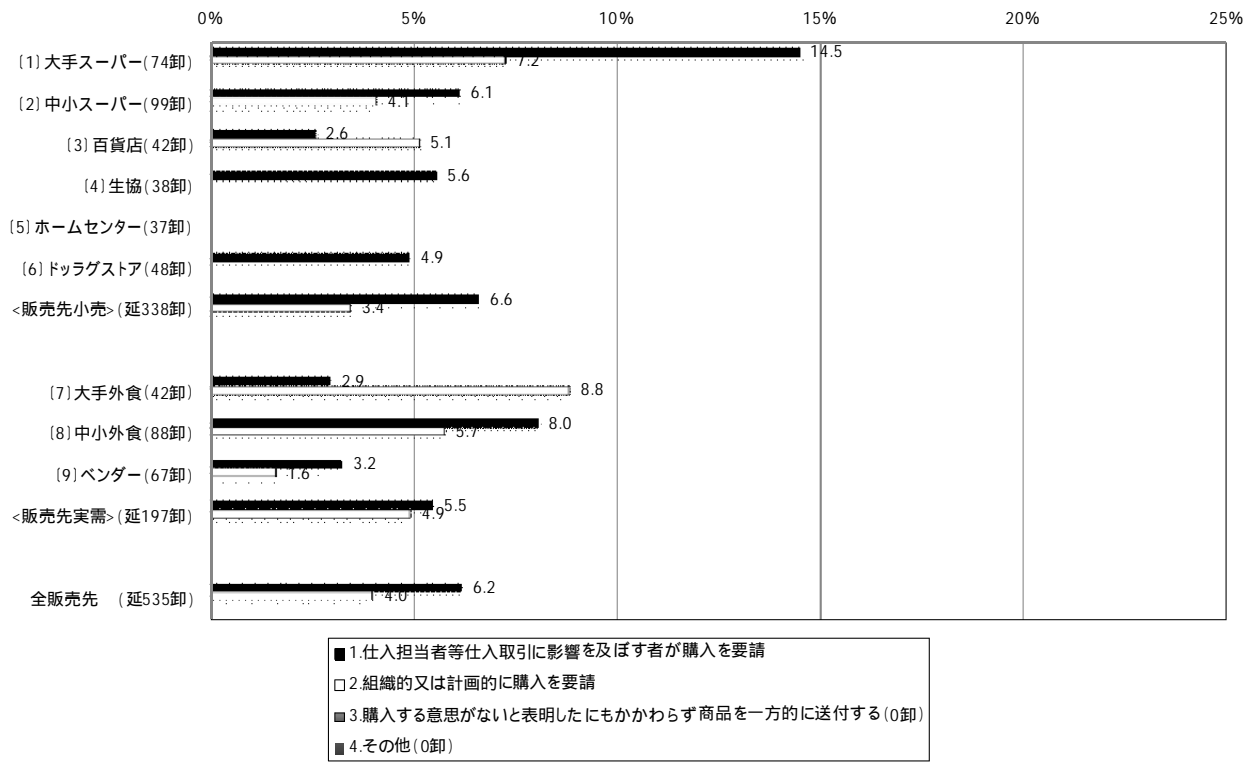
問 27 前問で「存在する」に を付した取引の具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に を付して下さい(複数可)

選択肢

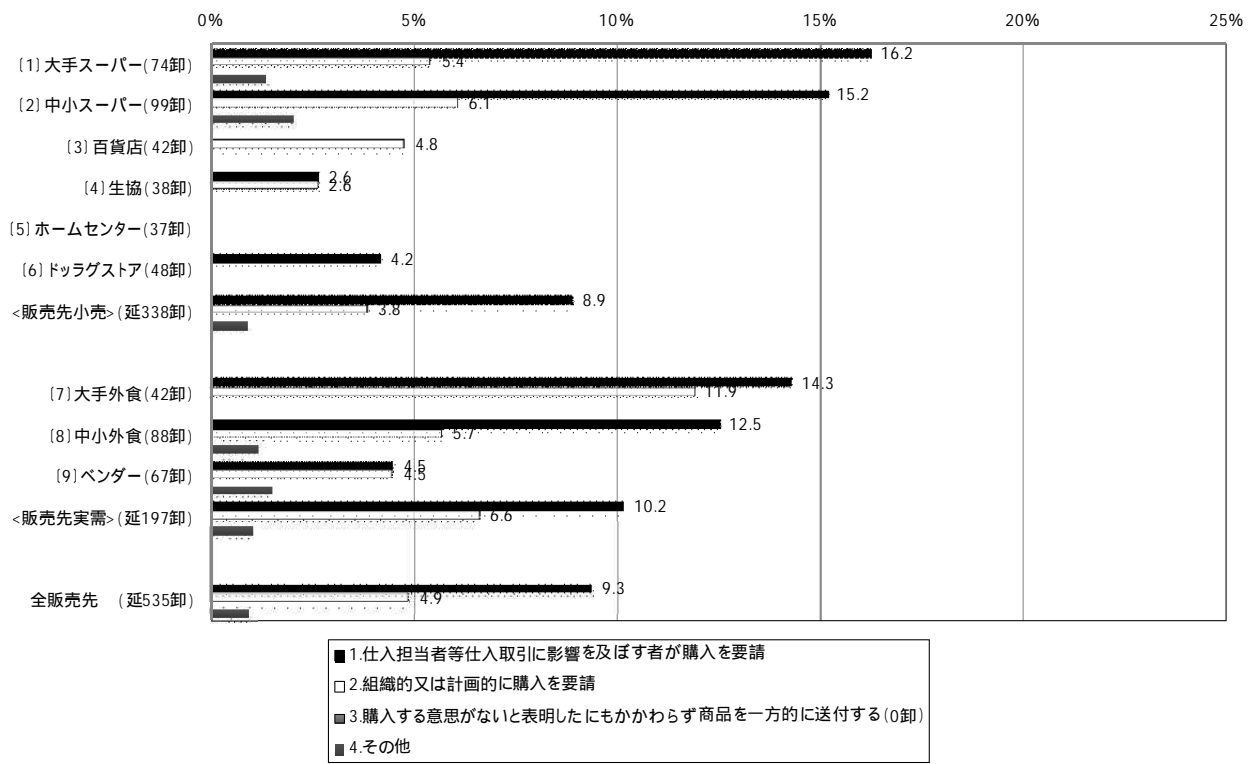
1. 仕入担当者等仕入に影響を及ぼす者に購入させられた
(仕入担当者等仕入取引に影響を及ぼす者が購入を要請)
2. 販売先が部門ごとに販売目標数を定める等、組織的又は計画的に販売を行い、購入させられた(組織的又は計画的に購入を要請)
3. 購入する意思がないと表明したのに、商品を一方的に送付され、購入させられた
(購入する意思がないと表明したにもかかわらず商品を一方的に送付する)
4. その他

- 最も多く選択されたのは、昨年と同様「1.仕入担当者等仕入取引に影響を及ぼす者が購入を要請」であったが、 全販売先 で昨年の9.3%から6.2%(昨年比 3.2 ㊦)に減少した。
選択の多かった販売先区分は、大手スーパー14.5%(同 1.7 ㊦)、中小スーパー6.1%(同 9.0 ㊦)、中小外食8.0%(同 4.5 ㊦)であった。
- 「2.組織的又は計画的に購入を要請」は、 全販売先 で昨年の4.9 から4.0%(同0.9 ㊦)に減少した。
選択の多かった販売先区分は、大手スーパー7.2%(同+1.8 ㊦)、大手外食8.8%(同 3.1 ㊦)、中小外食5.7%(同+0.1 ㊦)であった。
- 「3.購入する意思がないと表明したにもかかわらず商品を一方的に送付する」は、昨年同様選択がなかった。

問27 「押付販売等」の具体的内容



旧問22 「押付販売等」の具体的内容



問27 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
1.仕入担当者等仕入取引に影響を及ぼす者が購入を要請	23年度調査	10 卸 14.5 %	6 卸 6.1 %	1 卸 2.6 %	2 卸 5.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	22年度調査	12 卸 16.2 %	15 卸 15.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.2 %
	増減	2 卸 1.7 ポイ	9 卸 9.0 ポイ	+ 1 卸 + 2.6 ポイ	+ 1 卸 + 2.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 + 0.7 ポイ
2.組織的又は計画的に購入を要請	23年度調査	5 卸 7.2 %	4 卸 4.1 %	2 卸 5.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	4 卸 5.4 %	6 卸 6.1 %	2 卸 4.8 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.8 ポイ	2 卸 2.0 ポイ	± 0 卸 + 0.4 ポイ	1 卸 2.6 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
3.購入する意思がないと表明したにもかかわらず商品を一方向的に送付する	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
4.その他	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	1 卸 1.4 ポイ	2 卸 2.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
取引卸数	23年度調査	69 卸	98 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	22年度調査	74 卸	99 卸	42 卸	38 卸	37 卸	48 卸
	増減	5 卸	1 卸	3 卸	2 卸	1 卸	7 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 21 卸 6.6 %	1 卸 2.9 %	7 卸 8.0 %	2 卸 3.2 %	延 10 卸 5.5 %	延 31 卸 6.2 %
延 30 卸 8.9 %	6 卸 14.3 %	11 卸 12.5 %	3 卸 4.5 %	延 20 卸 10.2 %	延 50 卸 9.3 %
延 9 卸 2.3 票	5 卸 11.3 票	4 卸 4.5 票	1 卸 1.3 票	延 10 卸 4.7 票	延 19 卸 3.2 票
延 11 卸 3.4 %	3 卸 8.8 %	5 卸 5.7 %	1 卸 1.6 %	延 9 卸 4.9 %	延 20 卸 4.0 %
延 13 卸 3.8 %	5 卸 11.9 %	5 卸 5.7 %	3 卸 4.5 %	延 13 卸 6.6 %	延 26 卸 4.9 %
延 2 卸 0.4 票	2 卸 3.1 票	± 0 卸 + 0.1 票	2 卸 2.9 票	延 4 卸 1.7 票	延 6 卸 0.9 票
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 ± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 ± 0 票	延 ± 0 卸 ± 0 票	延 ± 0 卸 ± 0 票
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	1 卸 1.5 %	延 2 卸 1.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 3 卸 0.9 票	± 0 卸 ± 0 票	1 卸 1.1 票	1 卸 1.5 票	延 2 卸 1.0 票	延 5 卸 0.9 票
延 319 卸	34 卸	87 卸	62 卸	延 183 卸	延 502 卸
延 338 卸	42 卸	88 卸	67 卸	延 197 卸	延 535 卸
延 19 卸	8 卸	1 卸	5 卸	延 14 卸	延 33 卸

問 28 前問で を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

(略)

問 29 昨年に比べて「押し付け販売等」と思われる取引が増加した事例がある場合は、その理由をご記入下さい。

記載なし

問 30 昨年に比べて「押し付け販売等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった事例がある場合は、その理由(改善策等)をご記入下さい。

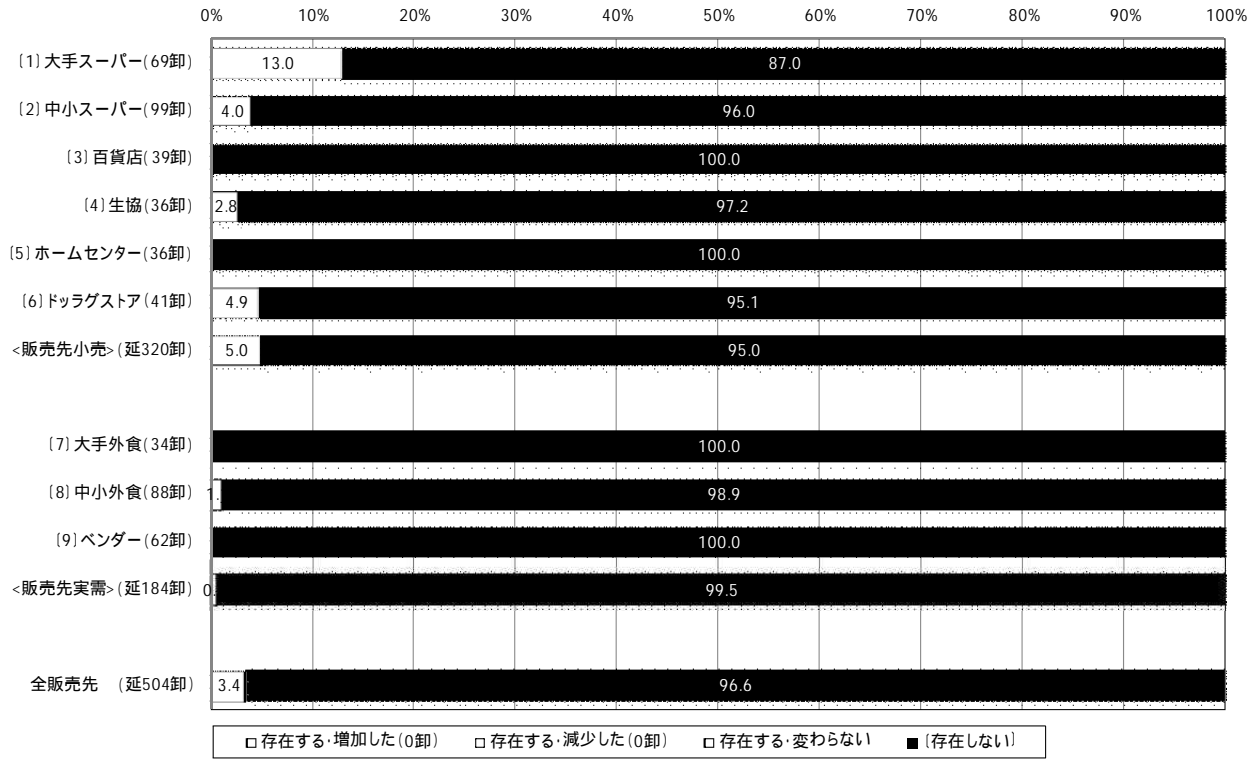
- 取引先の自主判断による。

< 告示第7項「納入業者の従業員等の不当使用等」について >

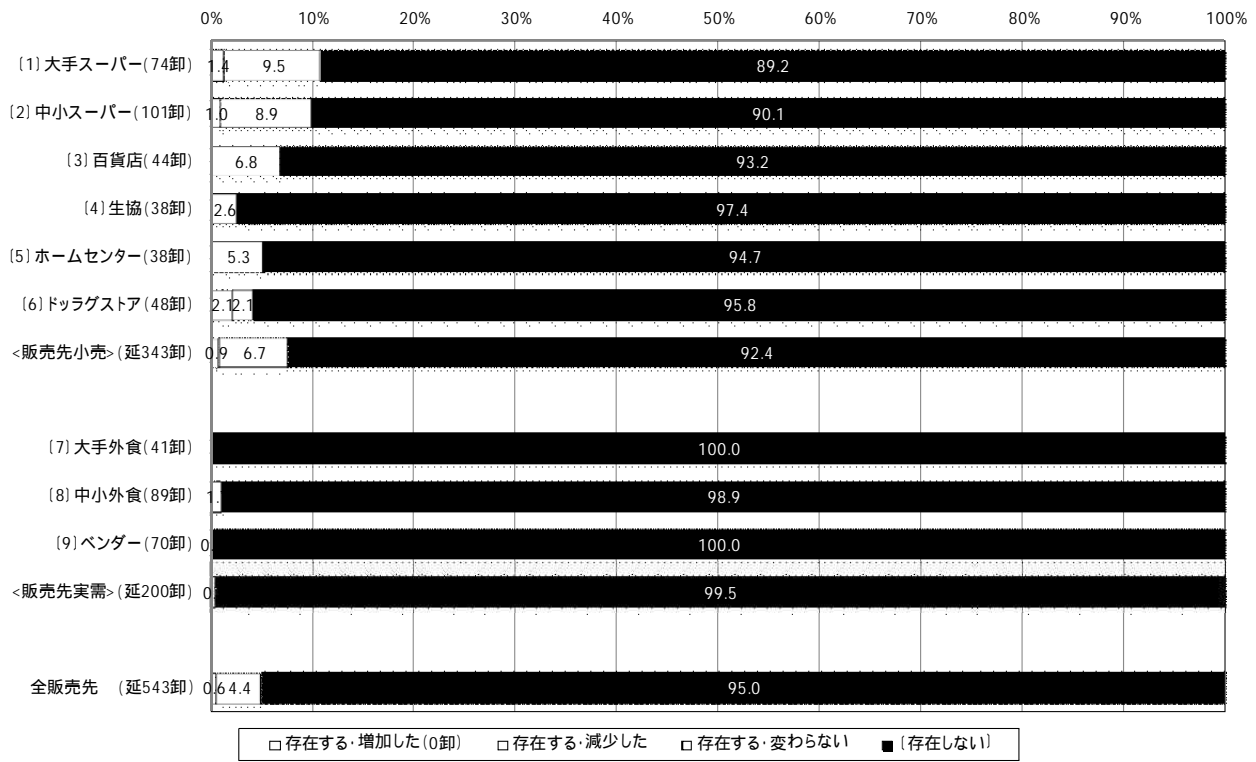
問 31 現在、販売先との取引において「納入業者の従業員等の不当使用等」（販売先等の業務に従事させるため、貴卸の従業員等を派遣させたり、販売先等が雇用する従業員等の人件費を負担させること）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「納入業者の従業員等の不当使用等が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先で
昨年5.0%から3.4%（昨年比 1.6 割）と減少した。
- 販売先区分では、大手スーパーのみ昨年10.8%から13.0%（同+2.2 割）に若干増加した。
- その他の販売先区分は増加した区分は無く、中小スーパーが昨年9.9%から4.0%（同
5.9 割）に減少し、昨年6.8%の百貨店と5.3%のホームセンターは無くなった。

問31 「納入業者の従業員等の不当使用等」の有無



旧問25 「納入業者の従業員等の不当使用等」の有無(22年度)



問31 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
存在する ・増加した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
存在する ・減少した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.1 %
	増減	1 卸 1.4 卸	1 卸 1.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.1 卸
存在する ・変わらない	23年度調査	9 卸 13.0 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	22年度調査	7 卸 9.5 %	9 卸 8.9 %	3 卸 6.8 %	1 卸 2.6 %	2 卸 5.3 %	1 卸 2.1 %
	増減	+ 2 卸 + 3.6 卸	5 卸 4.9 卸	3 卸 6.8 卸	± 0 卸 + 0.1 卸	2 卸 5.3 卸	+ 1 卸 + 2.8 卸
〔存在する〕	23年度調査	9 卸 13.0 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	22年度調査	8 卸 10.8 %	10 卸 9.9 %	3 卸 6.8 %	1 卸 2.6 %	2 卸 5.3 %	2 卸 4.2 %
	増減	+ 1 卸 + 2.2 卸	6 卸 5.9 卸	3 卸 6.8 卸	± 0 卸 + 0.1 卸	2 卸 5.3 卸	± 0 卸 + 0.7 卸
〔存在しない〕	23年度調査	60 卸 87.0 %	95 卸 96.0 %	39 卸 100.0 %	35 卸 97.2 %	36 卸 100.0 %	39 卸 95.1 %
	22年度調査	66 卸 89.2 %	91 卸 90.1 %	41 卸 93.2 %	37 卸 97.4 %	36 卸 94.7 %	46 卸 95.8 %
	増減	6 卸 2.2 卸	+ 4 卸 + 5.9 卸	2 卸 + 6.8 卸	2 卸 0.1 卸	± 0 卸 + 5.3 卸	7 卸 0.7 卸
取引卸数	23年度調査	69 卸	99 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	22年度調査	74 卸	101 卸	44 卸	38 卸	38 卸	48 卸
	増減	5 卸	2 卸	5 卸	2 卸	2 卸	7 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 ± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	延 ± 0 卸 ± 0 卸	延 ± 0 卸 ± 0 卸
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 3 卸 0.9 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	延 ± 0 卸 ± 0 卸	延 3 卸 0.6 卸
延 16 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 17 卸 3.4 %
延 23 卸 6.7 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 24 卸 4.4 %
延 7 卸 1.7 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 + 0.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	延 ± 0 卸 + 0.0 卸	延 7 卸 1.0 卸
延 16 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 17 卸 3.4 %
延 26 卸 7.6 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 27 卸 5.0 %
延 10 卸 2.6 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 + 0.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	延 ± 0 卸 + 0.0 卸	延 10 卸 1.6 卸
延 304 卸 95.0 %	34 卸 100.0 %	87 卸 98.9 %	62 卸 100.0 %	延 183 卸 99.5 %	延 487 卸 96.6 %
延 317 卸 92.4 %	41 卸 100.0 %	88 卸 98.9 %	70 卸 100.0 %	延 199 卸 99.5 %	延 516 卸 95.0 %
延 13 卸 + 2.6 卸	7 卸 ± 0 卸	1 卸 0.0 卸	8 卸 ± 0 卸	延 16 卸 0.0 卸	延 29 卸 + 1.6 卸
延 320 卸	34 卸	88 卸	62 卸	延 184 卸	延 504 卸
延 343 卸	41 卸	89 卸	70 卸	延 200 卸	延 543 卸
延 23 卸	7 卸	1 卸	8 卸	延 16 卸	延 39 卸

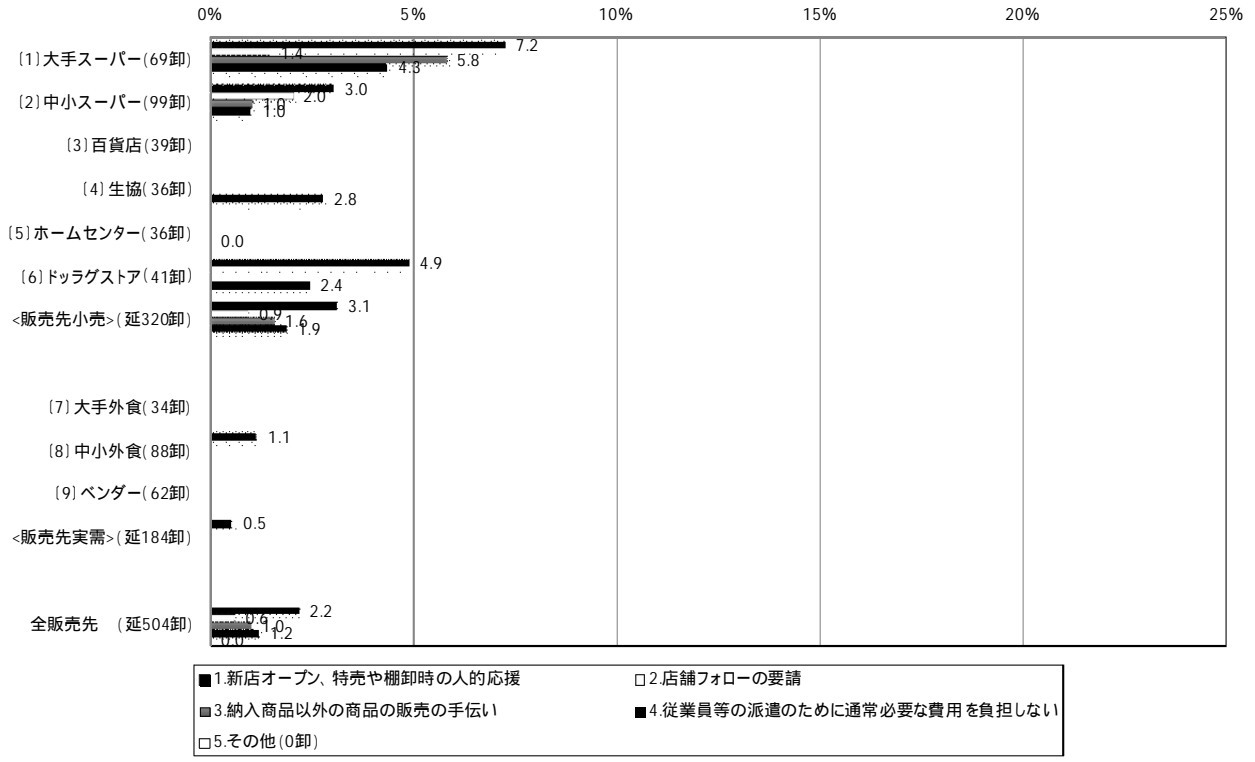
問 32 前問で「存在する」に を付した取引の具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に を付して下さい(複数可)

選択肢

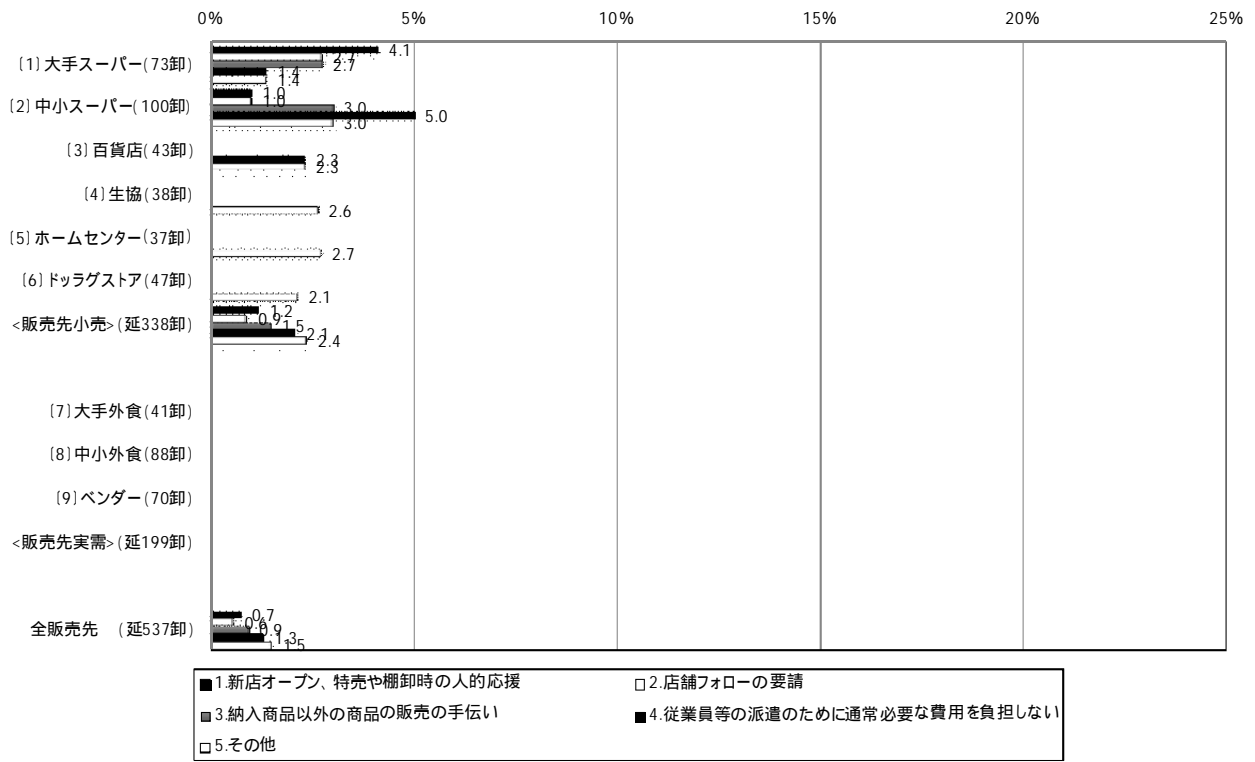
1. あらかじめ貴卸の同意を得ることなく、一方的に、新店オープンや特売等の際し、商品の陳列補充作業等を行うよう、従業員を派遣させられた
(新店オープン、特売や棚卸時の人的応援)
2. あらかじめ貴卸の同意を得ることなく、一方的に、普段の品出しや売場整理等店舗フォローに、従業員を派遣させられた
(店舗フォローの要請)
3. 新店オープンや特売時等の際し、貴卸の納入商品のみの販売業務に従事させることを条件としていたにも拘わらず、納入商品以外の商品の販売の手伝いをさせられた
(納入商品以外の商品の販売の手伝い)
4. 従業員等の派遣のための費用を負担する場合において、一律に日当額を定める等通常必要な費用を負担することなく、従業員を派遣させられた
(従業員等の派遣のために通常必要な費用を負担しない)
5. その他

- 「1. 新店オープン、特売や棚卸時の人的応援」は、最も多く選択され 全販売先 で2.2% (昨年比+1.4 ㊦)であった。
選択された販売先区分は、大手スーパー7.2% (同+3.1 ㊦)、中小スーパー3.0% (同+2.0 ㊦)、ドラッグストア4.9% (同+4.9 ㊦)、中小外食1.1% (同+1.1 ㊦)であった。
- 「2. 店舗フォローの要請」が選択された販売先区分は、大手スーパー1.4%(同 1.3 ㊦)と中小スーパー2.0%(同+1.0 ㊦)のみであった。
- 「3. 納入商品以外の商品の販売の手伝い」が選択された販売先区分は、大手スーパー5.8% (同+3.1 ㊦)、中小スーパー1.0% (同 2.0 ㊦)のみであった。
- 「4. 従業員等の派遣のために通常必要な費用を負担しない」が選択された販売先区分は、大手スーパー4.3% (同+3.0 ㊦)、中小スーパー1.0% (同 4.0 ㊦)、生協2.8% (同+2.8 ㊦)、ドラッグストア2.4% (同+2.4 ㊦)であった。

問32 「納入業者の従業員等の不当使用等」の具体的内容



旧問26 「納入業者の従業員等の不当使用等」の具体的内容 (22年度)



問32 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
1. 新店オープン、特売や棚卸時の人的応援	23年度調査	5 卸 7.2 %	3 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	22年度調査	3 卸 4.1 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 2 卸 + 3.1 卸	+ 2 卸 + 2.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 2 卸 + 4.9 卸
2. 店舗フォローの要請	23年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	1 卸 1.3 卸	+ 1 卸 + 1.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
3. 納入商品以外の商品の販売の手伝い	23年度調査	4 卸 5.8 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	2 卸 2.7 %	3 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 2 卸 + 3.1 卸	2 卸 2.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
4. 従業員等の派遣のために通常必要な費用を負担しない	23年度調査	3 卸 4.3 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	5 卸 5.0 %	1 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 2 卸 + 3.0 卸	4 卸 4.0 卸	1 卸 2.3 卸	+ 1 卸 + 2.8 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 1 卸 + 2.4 卸
5. その他	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	3 卸 3.0 %	1 卸 2.3 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	増減	1 卸 1.4 卸	3 卸 3.0 卸	1 卸 2.3 卸	1 卸 2.6 卸	1 卸 2.7 卸	1 卸 2.1 卸
取引卸数	23年度調査	69 卸	99 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	22年度調査	73 卸	100 卸	43 卸	38 卸	37 卸	47 卸
	増減	4 卸	1 卸	4 卸	2 卸	1 卸	6 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 10 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 11 卸 2.2 %
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.7 %
延 + 6 卸 + 1.9 弊	± 0 卸 ± 0 弊	+ 1 卸 + 1.1 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 + 1 卸 + 0.5 弊	延 + 7 卸 + 1.4 弊
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 ± 0 卸 + 0.0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 + 0.0 弊
延 5 卸 1.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 1.0 %
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 ± 0 卸 + 0.1 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 + 0.1 弊
延 6 卸 1.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 6 卸 1.2 %
延 7 卸 2.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 7 卸 1.3 %
延 1 卸 0.2 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 1 卸 0.1 弊
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 8 卸 2.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 8 卸 1.5 %
延 8 卸 2.4 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 8 卸 1.5 弊
延 320 卸	34 卸	88 卸	62 卸	延 184 卸	延 504 卸
延 338 卸	41 卸	88 卸	70 卸	延 199 卸	延 537 卸
延 18 卸	7 卸	± 0 卸	8 卸	延 15 卸	延 33 卸

問 33 前問で を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

(略)

問 34 昨年に比べて「納入業者の従業員等の不当使用等」と思われる取引が増加した事例がある場合は、その理由をご記入下さい。

記載なし

問 35 昨年に比べて「納入業者の従業員等の不当使用等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった事例がある場合は、その理由（改善策等）をご記入下さい。

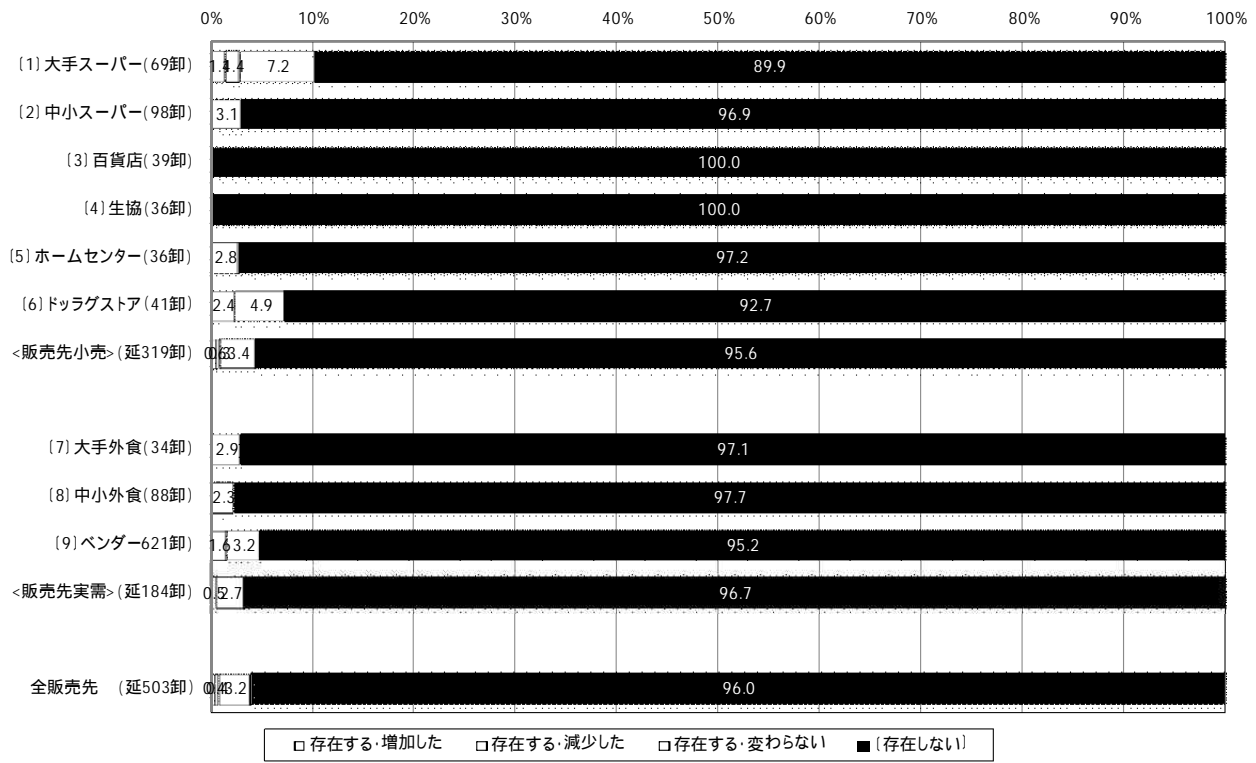
- 担当者が代わった。

< 告示第 8 項「不当な経済上の利益の收受等」について >

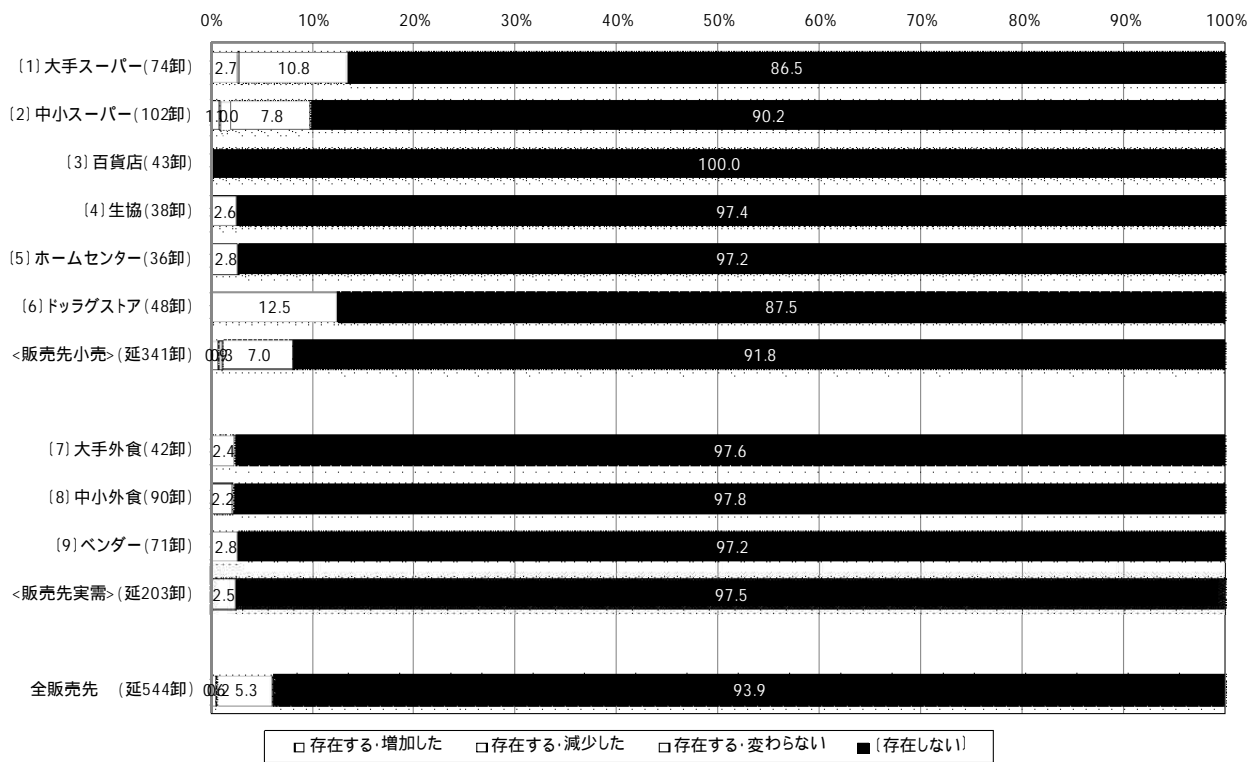
問 36 現在、販売先との取引において「不当な経済上の利益の收受等」（本来貴卸が提供する必要のない、あるいは、貴卸が得る利益等を勘案して合理的であると認められる範囲を超えて金銭、役務その他の経済上の利益を提供させること）と思われる取引が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄 1 か所に○を付して下さい。

- 「不当な経済上の利益の收受等が存在する」と回答した卸の割合は、全販売先 で昨年の 6.1% から 4.0%（前年比 2.1 割）に減少した。
- 販売先区分では、ベンダーのみ昨年の 2.8% から 3.2%（同 +0.4 割）とわずかに増加した。
- その他の販売先区分は増加した区分は無く、大手スーパーが 13.5% から 10.1%（同 3.4 割）、中小スーパーが 9.8% から 3.1%（同 6.7 割）、生協が 2.6% から 0.0%（同 2.6 割）、ドラッグストアが 12.5% から 7.3%（同 5.2 割）に減少した。

問36 「不当な経済上の利益の收受等」の有無



旧問29 「不当な経済上の利益の收受等」の有無(22年度)



問36 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
存在する ・増加した	23年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	1 卸 1.3 軒	1 卸 1.0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	+ 1 卸 + 2.4 軒
存在する ・減少した	23年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.4 軒	1 卸 1.0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒
存在する ・変わらない	23年度調査	5 卸 7.2 %	3 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	2 卸 4.9 %
	22年度調査	8 卸 10.8 %	8 卸 7.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.8 %	6 卸 12.5 %
	増減	3 卸 3.6 軒	5 卸 4.8 軒	± 0 卸 ± 0 軒	1 卸 2.6 軒	± 0 卸 ± 0 軒	4 卸 7.6 軒
〔存在する〕	23年度調査	7 卸 10.1 %	3 卸 3.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	3 卸 7.3 %
	22年度調査	10 卸 13.5 %	10 卸 9.8 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.8 %	6 卸 12.5 %
	増減	3 卸 3.4 軒	7 卸 6.7 軒	± 0 卸 ± 0 軒	1 卸 2.6 軒	± 0 卸 ± 0 軒	3 卸 5.2 軒
〔存在しない〕	23年度調査	62 卸 89.9 %	95 卸 96.9 %	39 卸 100.0 %	36 卸 100.0 %	35 卸 97.2 %	38 卸 92.7 %
	22年度調査	64 卸 86.5 %	92 卸 90.2 %	43 卸 100.0 %	37 卸 97.4 %	35 卸 97.2 %	42 卸 87.5 %
	増減	2 卸 + 3.4 軒	+ 3 卸 + 6.7 軒	4 卸 ± 0 軒	1 卸 + 2.6 軒	± 0 卸 ± 0 軒	4 卸 + 5.2 軒
取引卸数	23年度調査	69 卸	98 卸	39 卸	36 卸	36 卸	41 卸
	22年度調査	74 卸	102 卸	43 卸	38 卸	36 卸	48 卸
	増減	5 卸	4 卸	4 卸	2 卸	± 0 卸	7 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 1 卸 0.3 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 1 卸 0.2 弊
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 2 卸 0.4 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 ± 0 卸 + 0.0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	+ 1 卸 + 1.6 弊	延 + 1 卸 + 0.5 弊	延 + 1 卸 + 0.2 弊
延 11 卸 3.4 %	1 卸 2.9 %	2 卸 2.3 %	2 卸 3.2 %	延 5 卸 2.7 %	延 16 卸 3.2 %
延 24 卸 7.0 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	2 卸 2.8 %	延 5 卸 2.5 %	延 29 卸 5.3 %
延 13 卸 3.6 弊	± 0 卸 + 0.6 弊	± 0 卸 + 0.1 弊	± 0 卸 + 0.4 弊	延 ± 0 卸 + 0.3 弊	延 13 卸 2.1 弊
延 14 卸 4.4 %	1 卸 2.9 %	2 卸 2.3 %	3 卸 4.8 %	延 6 卸 3.3 %	延 20 卸 4.0 %
延 28 卸 8.2 %	1 卸 2.4 %	2 卸 2.2 %	2 卸 2.8 %	延 5 卸 2.5 %	延 33 卸 6.1 %
延 14 卸 3.8 弊	± 0 卸 + 0.6 弊	± 0 卸 + 0.1 弊	+ 1 卸 + 2.0 弊	延 + 1 卸 + 0.8 弊	延 13 卸 2.1 弊
延 305 卸 95.6 %	33 卸 97.1 %	86 卸 97.7 %	59 卸 95.2 %	延 178 卸 96.7 %	延 483 卸 96.0 %
延 313 卸 91.8 %	41 卸 97.6 %	88 卸 97.8 %	69 卸 97.2 %	延 198 卸 97.5 %	延 511 卸 93.9 %
延 8 卸 + 3.8 弊	8 卸 0.6 弊	2 卸 0.1 弊	10 卸 2.0 弊	延 20 卸 0.8 弊	延 28 卸 + 2.1 弊
延 319 卸	34 卸	88 卸	62 卸	延 184 卸	延 503 卸
延 341 卸	42 卸	90 卸	71 卸	延 203 卸	延 544 卸
延 22 卸	8 卸	2 卸	9 卸	延 19 卸	延 41 卸

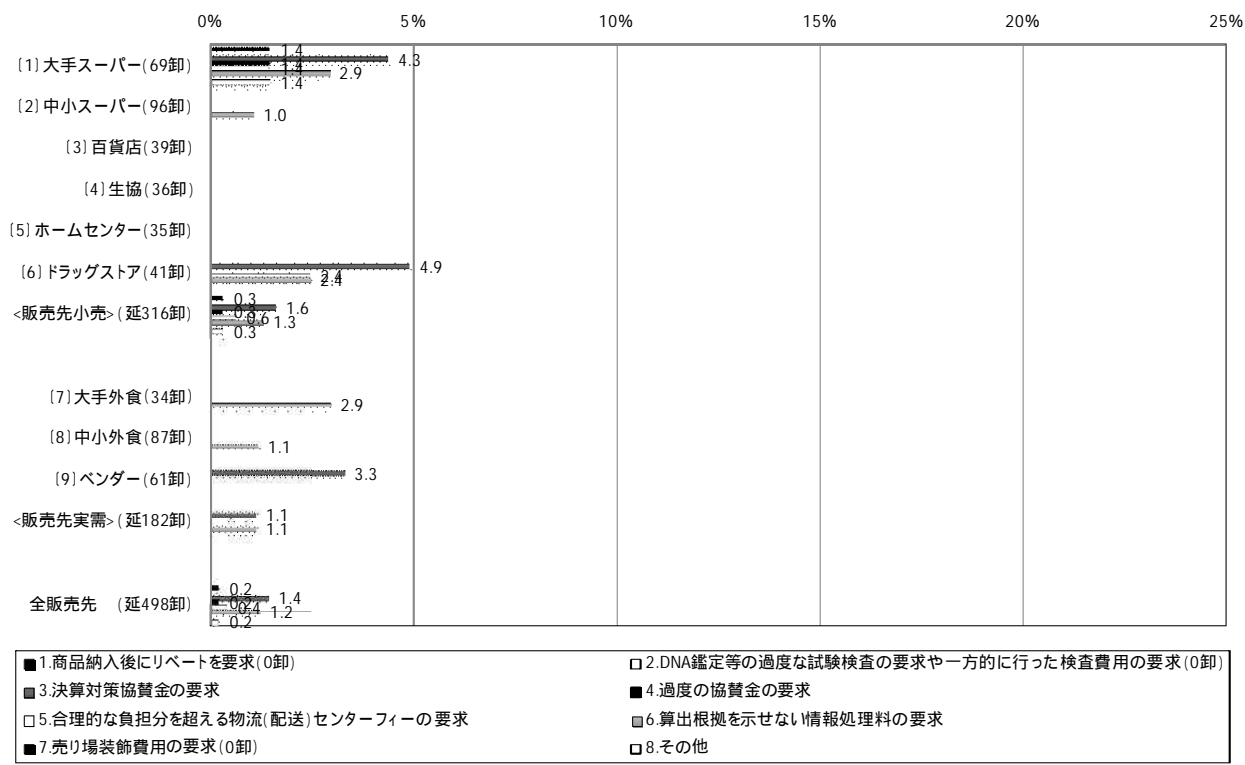
問 37 前問で「存在する」に を付した取引の具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に を付して下さい(複数可)

選択肢

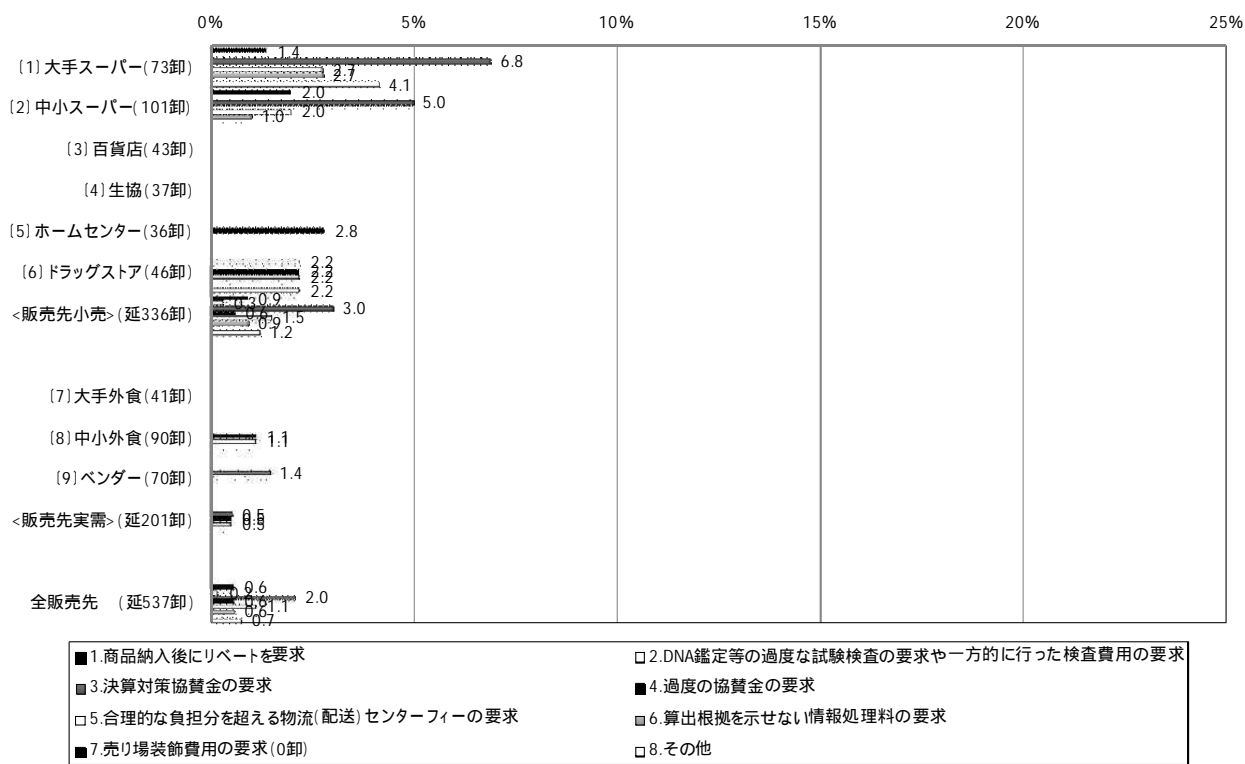
1. あらかじめ定めておいたリポート 供与の条件(販売量等)を達成しないのにリポートを払わされた
(商品納入後にリポートを要求)
2. DNA 鑑定等の過度な試験検査をさせられたり、一方的に行った検査費用を払わされた
(DNA 鑑定等の過度な試験検査の要求や一方的に行った検査費用の要求)
3. 決算対策協賛金を払わされた(決算対策協賛金の要求)
4. 合理的な負担分を超えた協賛金を払わされた(過度の協賛金の要求)
5. 事前に算出根拠等について貴卸と協議することなく合理的な負担分を超える物流(配送)センターフィーを払わされた
(合理的な負担分を超える物流(配送)センターフィーの要求)
6. 算出根拠を示せない情報処理料を払わされた(算出根拠を示せない情報処理料の要求)
7. 合理的な負担分を超える売場装飾費用を払わされた(売場装飾費用の要求)
8. その他

- 最も多く選択されたのは昨年に続き「3. 決算対策協賛金の要求」で、全販売先 で1.4% (昨年比 0.6 割) と若干ではあるが減少した。選択件数は、延 7 卸であった。
選択された販売先区分は、大手スーパー4.3% (同 2.5 割)、ドラッグストア4.9% (同 +4.9 割)、ベンダー3.3% (同 +1.9 割) であった。なお、前年5.0%であった中小スーパーは無くなった。
- 次に多く選択されたのは「6. 算出根拠を示せない情報処理料の要求」で、全販売先 1.2% (同 +0.6 割) であった。
選択された販売先区分は、大手スーパー2.9% (同 +0.2 割)、中小スーパー1.0% (同 +0.1 割)、ドラッグストア 2.4% (同 +2.4 割)、大手外食 2.9% (同 +2.9 割)、中小外食 1.1% (同 +1.1 割) であった。
- 「1. 商品納入後にリポートを要求」と「4. 過度の協賛金の要求」は、大手スーパー1.4% (同 +1.4 割) のみであった。
- 「5. 合理的な負担分を超える物流(配送)センターフィーの要求」は、大手スーパー1.4% (同 +1.4 割) とドラッグストア 2.4% (同 +0.3 割) であった。
昨年2.0%の中小スーパーと1.1%の中小外食は無くなった。
- 昨年ドラッグストアが 2.2%であった「2. DNA 鑑定等の過度な試験検査の要求や一方的に行った検査費用の要求」は、今年は無くなった。
- 「7. 売場装飾費用の要求」は、昨年同様選択は無かった。
- 「8. その他」では、
『販売先の社内で使用する内部資料を作らされた』(大手スーパー)との回答があった。

問37 「不当な経済上の利益の収受等」の具体的内容



旧問30 「不当な経済上の利益の収受等」の具体的内容 (22年度)



問37 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
1.商品納入後にレポートを要求	23年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 卸	2 卸 2.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
2.DNA鑑定等の過度な試験検査の要求や一方的に行った検査費用の要求	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.2 %
	増減	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.2 卸
3.決算対策協賛金の要求	23年度調査	3 卸 4.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 4.9 %
	22年度調査	5 卸 6.8 %	5 卸 5.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	2 卸 2.5 卸	5 卸 5.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 2 卸 + 4.9 卸
4.過度の協賛金の要求	23年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.8 %	1 卸 2.2 %
	増減	+ 1 卸 + 1.4 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.8 卸	1 卸 2.2 卸
5.合理的な負担を超える物流(配送)センターフィーの要求	23年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	2 卸 2.7 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.2 %
	増減	1 卸 1.3 卸	2 卸 2.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 + 0.3 卸
6.算出根拠を示せない情報処理料の要求	23年度調査	2 卸 2.9 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	2 卸 2.7 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 + 0.2 卸	± 0 卸 + 0.1 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 1 卸 + 2.4 卸
7.売り場裝飾費用の要求	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
8.その他	23年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	3 卸 4.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.2 %
	増減	2 卸 2.7 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	1 卸 2.2 卸
取引卸数	23年度調査	69 卸	96 卸	39 卸	36 卸	35 卸	41 卸
	22年度調査	73 卸	101 卸	43 卸	37 卸	36 卸	46 卸
	増減	4 卸	5 卸	4 卸	1 卸	1 卸	5 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 2 卸 0.6 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 2 卸 0.4 弊
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 1 卸 0.3 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 1 卸 0.2 弊
延 5 卸 1.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	2 卸 3.3 %	延 2 卸 1.1 %	延 7 卸 1.4 %
延 10 卸 3.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	延 1 卸 0.5 %	延 11 卸 2.0 %
延 5 卸 1.4 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	+ 1 卸 + 1.9 弊	延 + 1 卸 + 0.6 弊	延 4 卸 0.6 弊
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 3 卸 0.6 %
延 1 卸 0.3 弊	± 0 卸 ± 0 弊	1 卸 1.1 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 1 卸 0.5 弊	延 2 卸 0.4 弊
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 2 卸 0.4 %
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 6 卸 1.1 %
延 3 卸 0.9 弊	± 0 卸 ± 0 弊	1 卸 1.1 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 1 卸 0.5 弊	延 4 卸 0.7 弊
延 4 卸 1.3 %	1 卸 2.9 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 2 卸 1.1 %	延 6 卸 1.2 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 + 1 卸 + 0.4 弊	+ 1 卸 + 2.9 弊	+ 1 卸 + 1.1 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 + 2 卸 + 1.1 弊	延 + 3 卸 + 0.6 弊
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 ± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.7 %
延 3 卸 0.9 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 3 卸 0.5 弊
延 316 卸	34 卸	87 卸	61 卸	延 182 卸	延 498 卸
延 336 卸	41 卸	90 卸	70 卸	延 201 卸	延 537 卸
延 20 卸	7 卸	3 卸	9 卸	延 19 卸	延 39 卸

問 38 前問で を付した具体的内容項目の費卸の実例をご記入下さい。

(略)

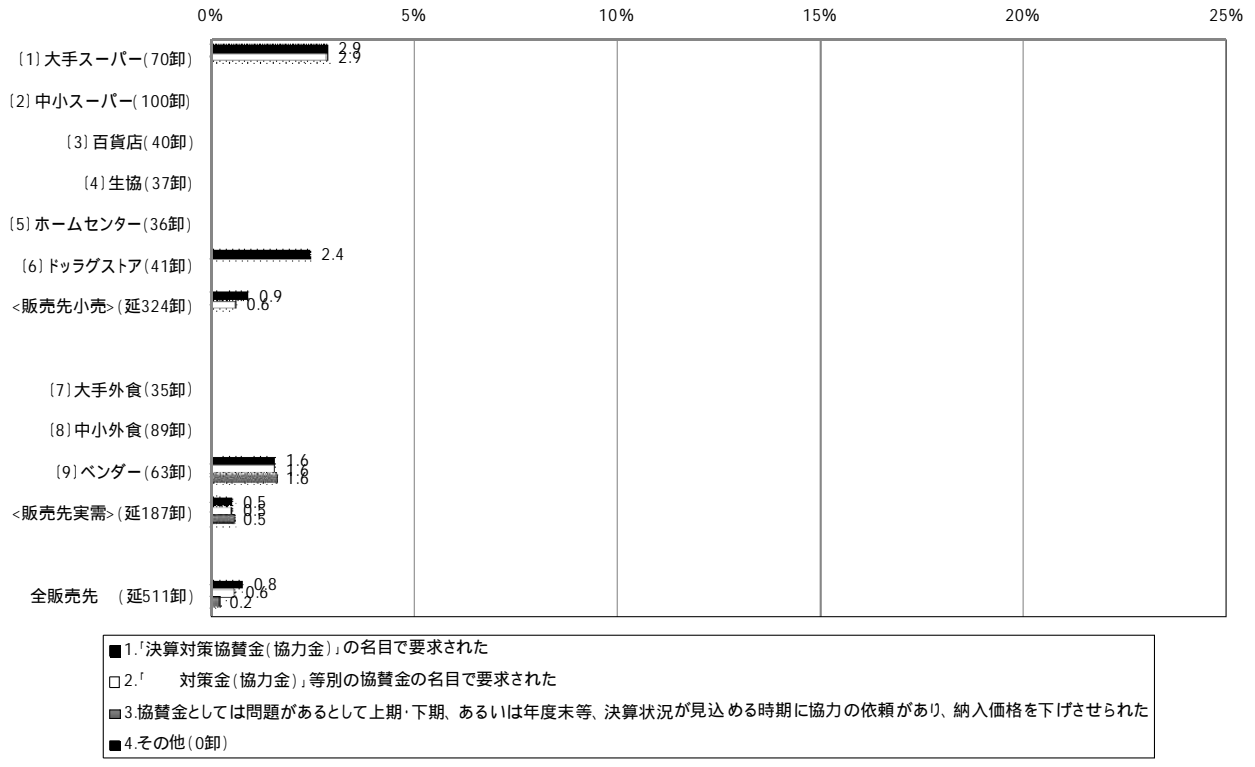
問 39 具体的内容の「決算対策協賛金を払わされた」ケースについて伺います。具体的には、どのような形で要求されましたか。当てはまる欄に を付して下さい(複数可)。

選択肢

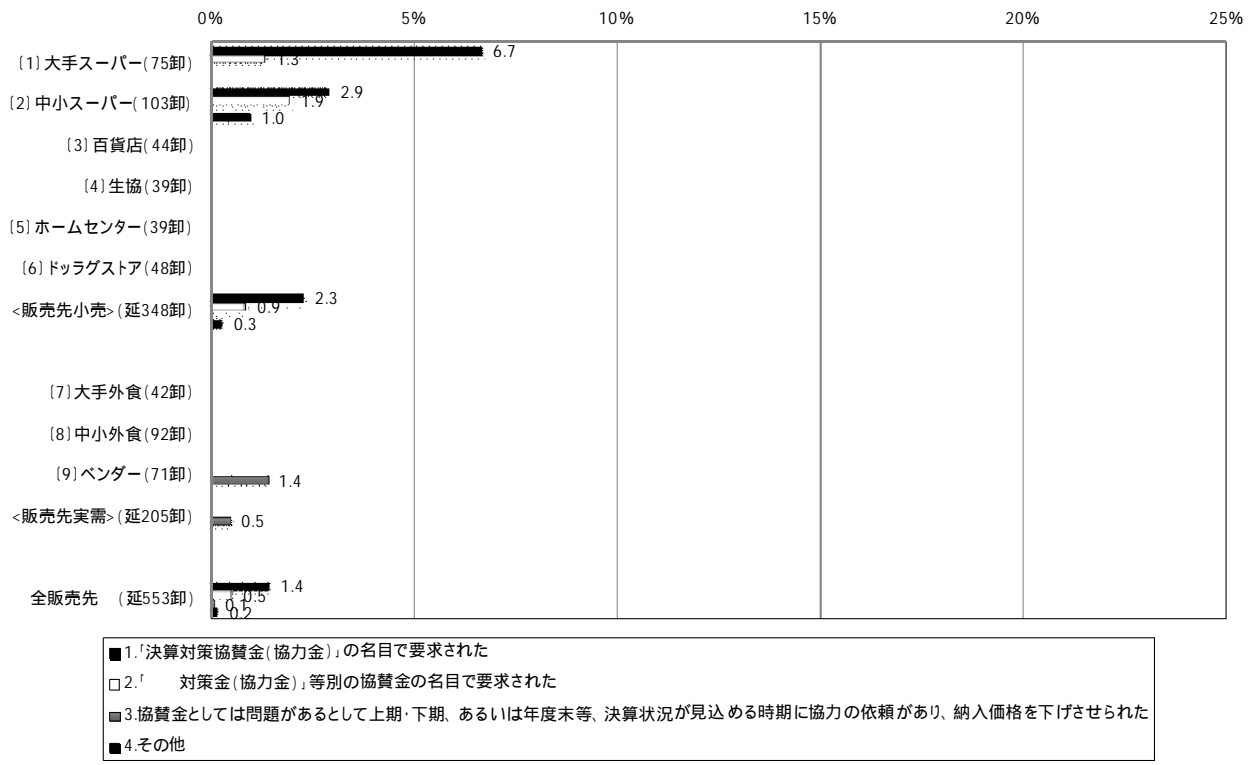
1. 「決算対策協賛金(協力金)」の名目で要求された
2. 「 対策金(協力金)」等別の協賛金の名目で要求された
3. 協賛金としては問題があるとして上期・下期、あるいは年度末等、決算状況が見込める時期に協力の依頼があり、納入価格を下げさせられた
4. その他

- 全部で延 8 卸の回答があり、最も多いのは「1. 決算対策協賛金」としての要求で延 4 卸(大手スーパー2卸、ドラッグストアとベンダーが 1 卸)あった。
- 「2. 対策金(協力金)」としての要求は、延 3 卸であった。具体的には、「12 月度協賛金」(大手スーパー)「創業祭協賛金」(大手スーパー)「決算セール協賛金」(ベンダー)として要求された。
- 「3. 協賛金としては問題があるとして上期・下期、あるいは年度末等、決算状況が見込める時期に協力の依頼があり、納入価格を下げさせられた」との回答は 1 卸であった。
- 決算対策金の要求を受けた卸が減少しているため、本問の回答も減少しているが、内容は昨年と同様であった。

問39 「決算対策協力金」要求の具体的内容



旧問32 「決算対策協力金」要求の具体的内容 (22年度)



問39 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
1.「決算対策協賛金(協力金)」の名目で要求された	23年度調査	2 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.4 %
	22年度調査	5 卸 6.7 %	3 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	3 卸 3.8 ポイ	3 卸 2.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	+ 1 卸 + 2.4 ポイ
2.「対策金(協力金)」等別の協賛金の名目で要求された	23年度調査	2 卸 2.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.3 %	2 卸 1.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	+ 1 卸 + 1.5 ポイ	2 卸 1.9 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
3.協賛金としては問題があるとして上期・下期、あるいは年度末等、決算状況が見込める時期に協力の依頼があり、納入価格を下げさせられた	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
4.その他	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	0 卸 0.0 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	± 0 卸 ± 0 ポイ	1 卸 1.0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ	± 0 卸 ± 0 ポイ
取引卸数	23年度調査	70 卸	100 卸	40 卸	37 卸	36 卸	41 卸
	22年度調査	75 卸	103 卸	44 卸	39 卸	39 卸	48 卸
	増減	5 卸	3 卸	4 卸	2 卸	3 卸	7 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 4 卸 0.8 %
延 8 卸 2.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 8 卸 1.4 %
延 5 卸 1.4 票	± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 ± 0 票	+ 1 卸 + 1.6 票	延 + 1 卸 + 0.5 票	延 4 卸 0.7 票
延 2 卸 0.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 3 卸 0.6 %
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.5 %
延 1 卸 0.2 票	± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 ± 0 票	+ 1 卸 + 1.6 票	延 + 1 卸 + 0.5 票	延 ± 0 卸 + 0.0 票
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.6 %	延 1 卸 0.5 %	延 1 卸 0.2 %
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	延 1 卸 0.5 %	延 1 卸 0.2 %
延 ± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 + 0.2 票	延 ± 0 卸 + 0.0 票	延 ± 0 卸 + 0.0 票
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 1 卸 0.3 票	± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 ± 0 票	± 0 卸 ± 0 票	延 ± 0 卸 ± 0 票	延 1 卸 0.2 票
延 324 卸	35 卸	89 卸	63 卸	延 187 卸	延 511 卸
延 348 卸	42 卸	92 卸	71 卸	延 205 卸	延 553 卸
延 24 卸	7 卸	3 卸	8 卸	延 18 卸	延 42 卸

問 40 昨年比べて「不当な経済上の利益の收受等」と思われる取引が増加した事例がある場合は、その理由をご記入下さい。

記載なし

問 41 昨年比べて、「不当な経済上の利益の收受等」と思われる取引が減少した・存在しなくなった事例がある場合は、その理由（改善策等）をご記入下さい。

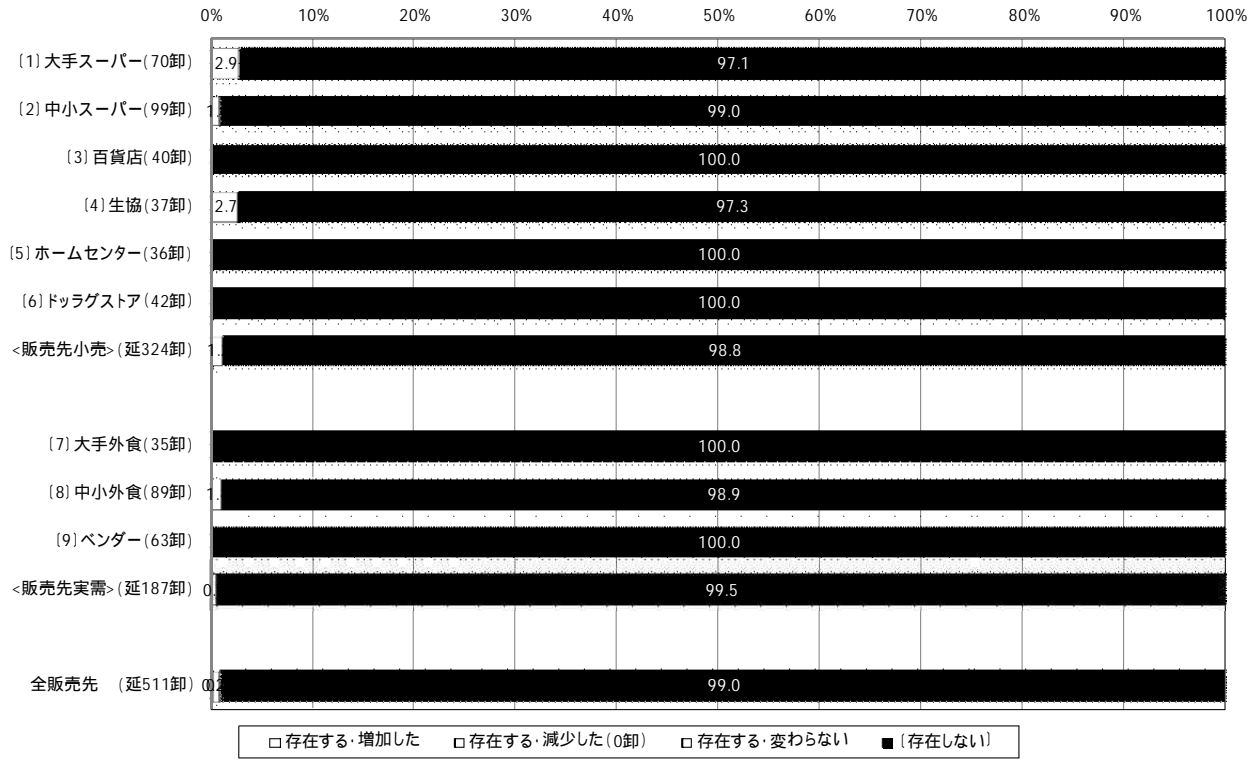
- コンプライアンスの徹底。

< 告示第9項「要求拒否の場合の不利益な取扱い」について >

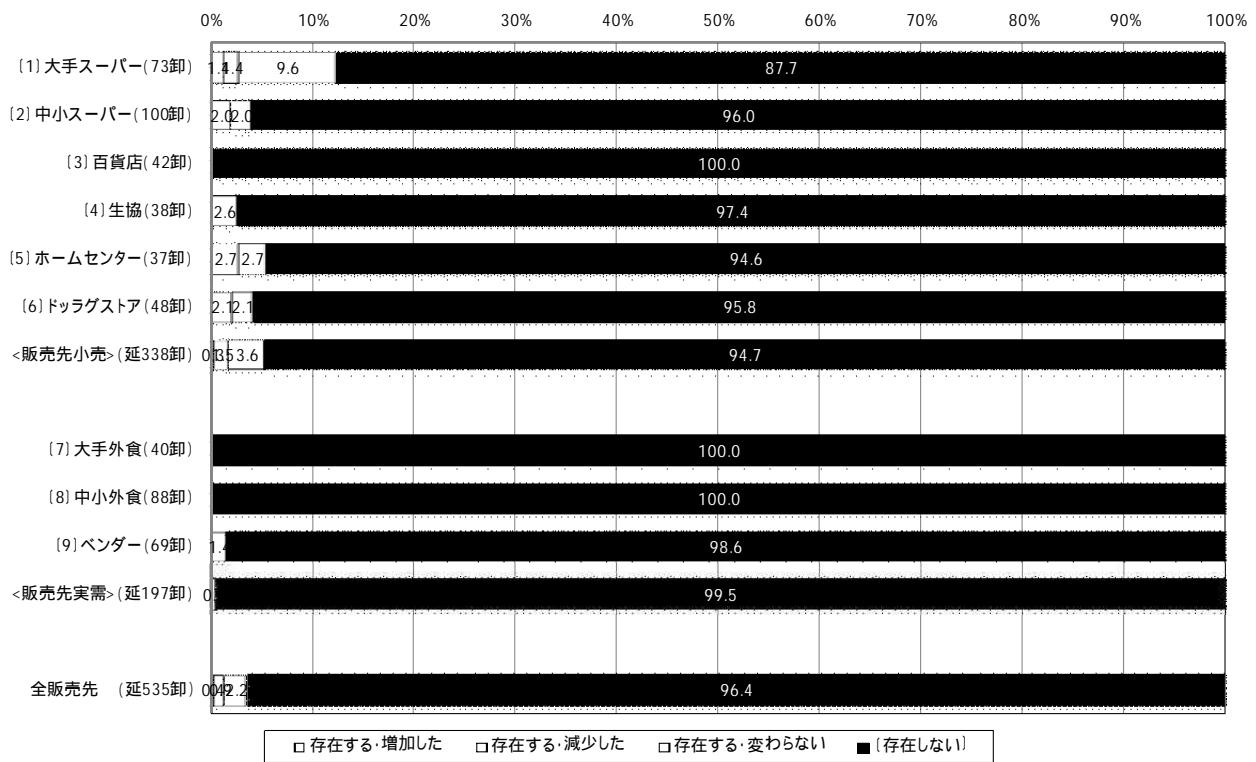
問 42 現在、販売先との取引において「要求拒否の場合の不利益な取扱い」（第1項～第8項の要求に応じないことを理由に、不利益な取扱いをすること）が存在しますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「要求拒否の場合の不利益な取扱いが存在する」と回答した卸の割合は、全販売先で
 去年の3.6%から1.0%（昨年比 2.6割）に大きく減少した。
- 販売先区分では、大手スーパーが12.3%から2.9%（同 9.5割）と大きく減少した。中
 小スーパーが4.0%から1.0%（同 3.0割）に減少し、ホームセンター（昨年5.4%）、ドラ
 ッグストア（昨年4.2%）、ベンダー（昨年1.4%）は無くなった。

問42 「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の有無



旧問34 「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の有無(22年度)



問42 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
存在する ・増加した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	1 卸 1.4 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒
存在する ・減少した	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	増減	1 卸 1.4 軒	2 卸 2.0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	1 卸 2.7 軒	1 卸 2.1 軒
存在する ・変わらない	23年度調査	2 卸 2.9 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	7 卸 9.6 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	増減	5 卸 6.7 軒	1 卸 1.0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 + 0.1 軒	1 卸 2.7 軒	1 卸 2.1 軒
〔存在する〕	23年度調査	2 卸 2.9 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	9 卸 12.3 %	4 卸 4.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	2 卸 5.4 %	2 卸 4.2 %
	増減	7 卸 9.5 軒	3 卸 3.0 軒	± 0 卸 ± 0 軒	± 0 卸 + 0.1 軒	2 卸 5.4 軒	2 卸 4.2 軒
〔存在しない〕	23年度調査	68 卸 97.1 %	98 卸 99.0 %	40 卸 100.0 %	36 卸 97.3 %	36 卸 100.0 %	42 卸 100.0 %
	22年度調査	64 卸 87.7 %	96 卸 96.0 %	42 卸 100.0 %	37 卸 97.4 %	35 卸 94.6 %	46 卸 95.8 %
	増減	+ 4 卸 + 9.5 軒	+ 2 卸 + 3.0 軒	2 卸 ± 0 軒	1 卸 0.1 軒	+ 1 卸 + 5.4 軒	4 卸 + 4.2 軒
取引卸数	23年度調査	70 卸	99 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	73 卸	100 卸	42 卸	38 卸	37 卸	48 卸
	増減	3 卸	1 卸	2 卸	1 卸	1 卸	6 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 1 卸 0.2 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	延 1 卸 0.5 %	延 2 卸 0.4 %
延 1 卸 0.3 弊	± 0 卸 ± 0 弊	+ 1 卸 + 1.1 弊	1 卸 1.4 弊	延 ± 0 卸 + 0.0 弊	延 1 卸 0.2 弊
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 5 卸 1.5 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 5 卸 0.9 弊
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.8 %
延 12 卸 3.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 12 卸 2.2 %
延 8 卸 2.3 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 8 卸 1.5 弊
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 5 卸 1.0 %
延 18 卸 5.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	延 1 卸 0.5 %	延 19 卸 3.6 %
延 14 卸 4.1 弊	± 0 卸 ± 0 弊	+ 1 卸 + 1.1 弊	1 卸 1.4 弊	延 ± 0 卸 + 0.0 弊	延 14 卸 2.6 弊
延 320 卸 98.8 %	35 卸 100.0 %	88 卸 98.9 %	63 卸 100.0 %	延 186 卸 99.5 %	延 506 卸 99.0 %
延 320 卸 94.7 %	40 卸 100.0 %	88 卸 100.0 %	68 卸 98.6 %	延 196 卸 99.5 %	延 516 卸 96.4 %
延 ± 0 卸 + 4.1 弊	5 卸 ± 0 弊	± 0 卸 1.1 弊	5 卸 + 1.4 弊	延 10 卸 0.0 弊	延 10 卸 + 2.6 弊
延 324 卸	35 卸	89 卸	63 卸	延 187 卸	延 511 卸
延 338 卸	40 卸	88 卸	69 卸	延 197 卸	延 535 卸
延 14 卸	5 卸	+ 1 卸	6 卸	延 10 卸	延 24 卸

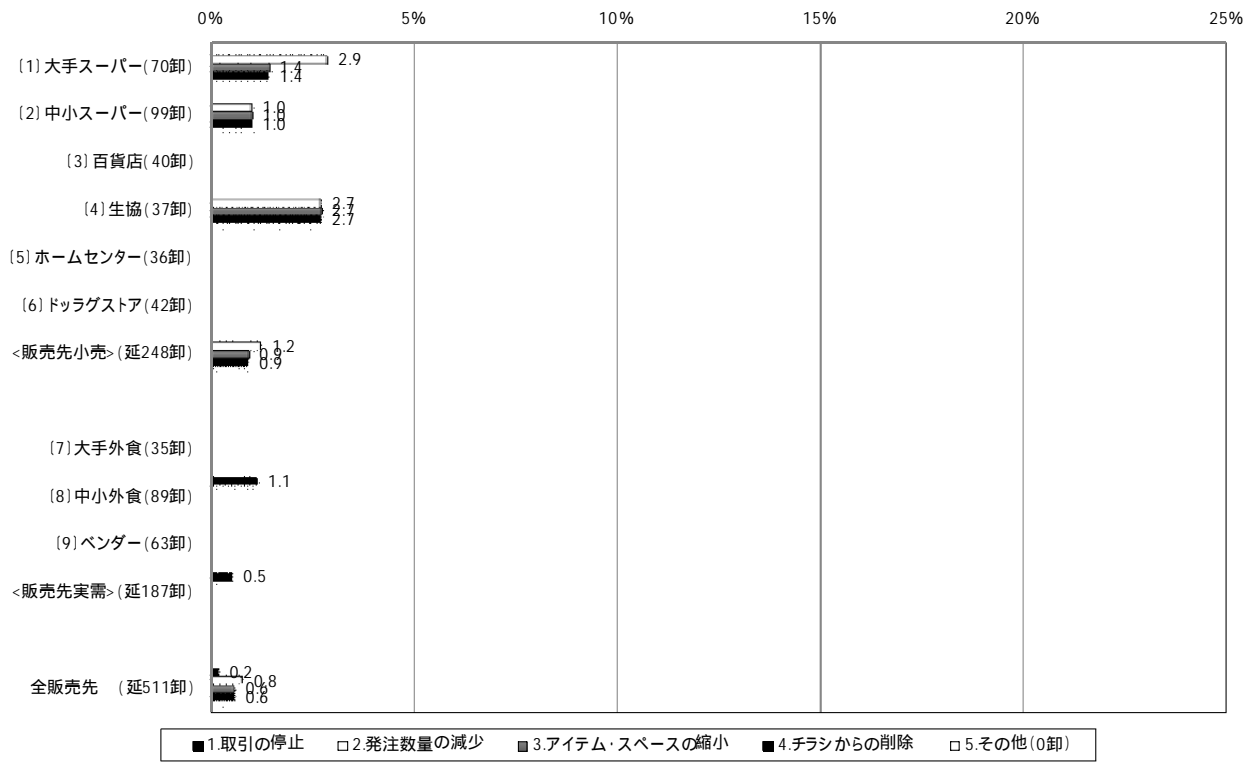
問 43 前問で「存在する」に を付した具体的内容は何ですか。販売先区分ごとに、存在する具体的内容に を付して下さい(複数可)。

選択枝

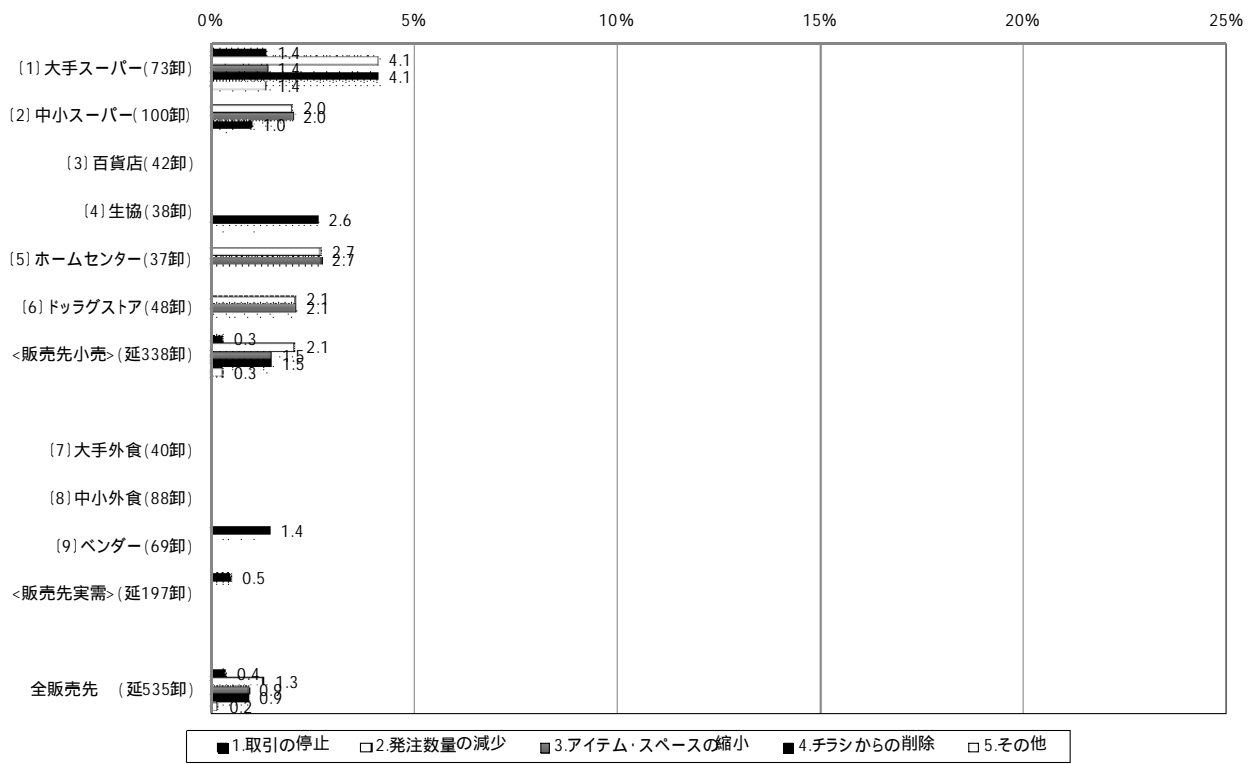
1. 取引を停止された(取引の停止)
2. 発注数量を減らされた(発注数量の減少)
3. アイテム・スペースを縮小された(アイテム・スペースの縮小)
4. チラシから削除された(チラシからの削除)
5. その他

- 「1. 取引を停止された」は、昨年の大手スーパー、ベンダーは無くなったが、中小外食で1卸あった。
- 「2. 発注数量を減らされた」は、大手スーパーが2卸(昨年比 1卸)、中小スーパーが1卸(同 1卸)、生協が1卸(同+1卸)の延4卸であった。
昨年1卸であったホームセンターとドラッグストアは、無くなった。
- 「3. アイテム・スペースを縮小された」は、大手スーパーが1卸(同±0卸)、中小スーパーが1卸(同 1卸)、生協が1卸(同+1卸)の延3卸であった。
「2. 発注数量を減らされた」と同様に、昨年1卸であったホームセンターとドラッグストアは、無くなった。
- 「4. チラシから削除された」は、大手スーパーが1卸(同 2卸)、中小スーパーが1卸(同±0卸)、生協が1卸(同±0卸)の延3卸であった。

問43 「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の具体的内容



旧問35 「要求拒否の場合の不利益な取扱い」の具体的内容



問43 データテーブル

		(1) 大手スーパー	(2) 中小スーパー	(3) 百貨店	(4) 生協	(5) ホームセンター	(6) ドラッグストア
1.取引の停止	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	1 卸 1.4 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
2.発注数量の減少	23年度調査	2 卸 2.9 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	3 卸 4.1 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	増減	1 卸 1.3 卸	1 卸 1.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 1 卸 + 2.7 卸	1 卸 2.7 卸	1 卸 2.1 卸
3.アイテム・スペースの縮小	23年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	2 卸 2.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	1 卸 2.1 %
	増減	± 0 卸 + 0.1 卸	1 卸 1.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	+ 1 卸 + 2.7 卸	1 卸 2.7 卸	1 卸 2.1 卸
4.チラシからの削除	23年度調査	1 卸 1.4 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.7 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	3 卸 4.1 %	1 卸 1.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 2.6 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	2 卸 2.7 卸	± 0 卸 + 0.0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 + 0.1 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
5.その他	23年度調査	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	22年度調査	1 卸 1.4 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %
	増減	1 卸 1.4 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸	± 0 卸 ± 0 卸
取引卸数	23年度調査	70 卸	99 卸	40 卸	37 卸	36 卸	42 卸
	22年度調査	73 卸	100 卸	42 卸	38 卸	37 卸	48 卸
	増減	3 卸	1 卸	2 卸	1 卸	1 卸	6 卸

<販売先小売>	(7) 大手外食	(8) 中小外食	(9) ベンダー	<販売先実需>	全販売先
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.1 %	0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.5 %	延 1 卸 0.2 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	1 卸 1.4 %	延 1 卸 0.5 %	延 2 卸 0.4 %
延 1 卸 0.3 弊	± 0 卸 ± 0 弊	+ 1 卸 + 1.1 弊	1 卸 1.4 弊	延 ± 0 卸 + 0.0 弊	延 1 卸 0.2 弊
延 4 卸 1.2 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 4 卸 0.8 %
延 7 卸 2.1 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 7 卸 1.3 %
延 3 卸 0.8 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 3 卸 0.5 弊
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 2 卸 0.6 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 2 卸 0.3 弊
延 3 卸 0.9 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 3 卸 0.6 %
延 5 卸 1.5 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 5 卸 0.9 %
延 2 卸 0.6 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 2 卸 0.3 弊
延 0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %
延 1 卸 0.3 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	0 卸 0.0 %	延 0 卸 0.0 %	延 1 卸 0.2 %
延 1 卸 0.3 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	± 0 卸 ± 0 弊	延 ± 0 卸 ± 0 弊	延 1 卸 0.2 弊
延 324 卸	35 卸	89 卸	63 卸	延 187 卸	延 511 卸
延 338 卸	40 卸	88 卸	69 卸	延 197 卸	延 535 卸
延 14 卸	5 卸	+ 1 卸	6 卸	延 10 卸	延 24 卸

問 44 前問で を付した具体的内容項目の貴卸の実例をご記入下さい。

(略)

問 45 昨年に比べて「要求拒否の場合の不利益な取り扱い」と思われる取引が増加した事例がある場合は、その理由をご記入下さい。

記載なし

問 46 昨年に比べて「要求拒否の場合の不利益な取り扱い」と思われる取引が減少した・存在しなくなった事例がある場合は、その理由(改善策等)をご記入下さい。

記載なし

< 告示第10項「公正取引委員会への報告に対する不利益な取扱い」について >

問 47 直近1年の間で、不公正と思われる取引について、公正取引委員会に相談・報告をしたことがありますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「ある」との回答は無かった。



問 48 前問で「ある」に ○を付した販売先区分ごとに、公正取引委員会にした相談・報告の内容およびその結果をご記入下さい。

記載なし

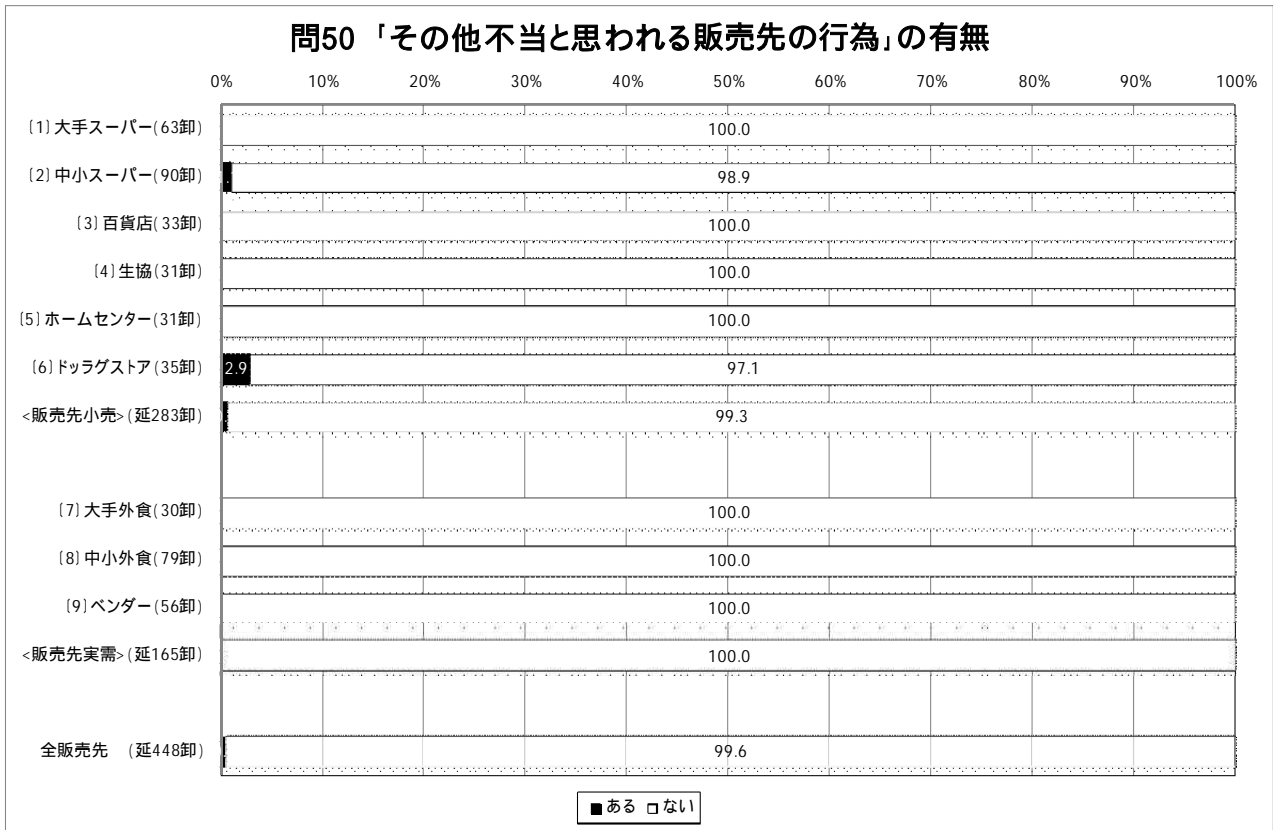
問 49 前問に関し、公正取引委員会に相談・報告したことを理由に、販売先から不利益な取扱いをされた場合は、当てはまる販売先区分欄に販売先名と販売先から受けた不利益な取扱いの内容をご記入下さい。

記載なし

<その他>

問 50 以上 10 項目に当てはまらないが、不当と思われる販売先の行為がありますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄 1 か所に○を付して下さい。

- 中小スーパーとドラッグストアそれぞれで 1 卸が、「ある」と回答した。

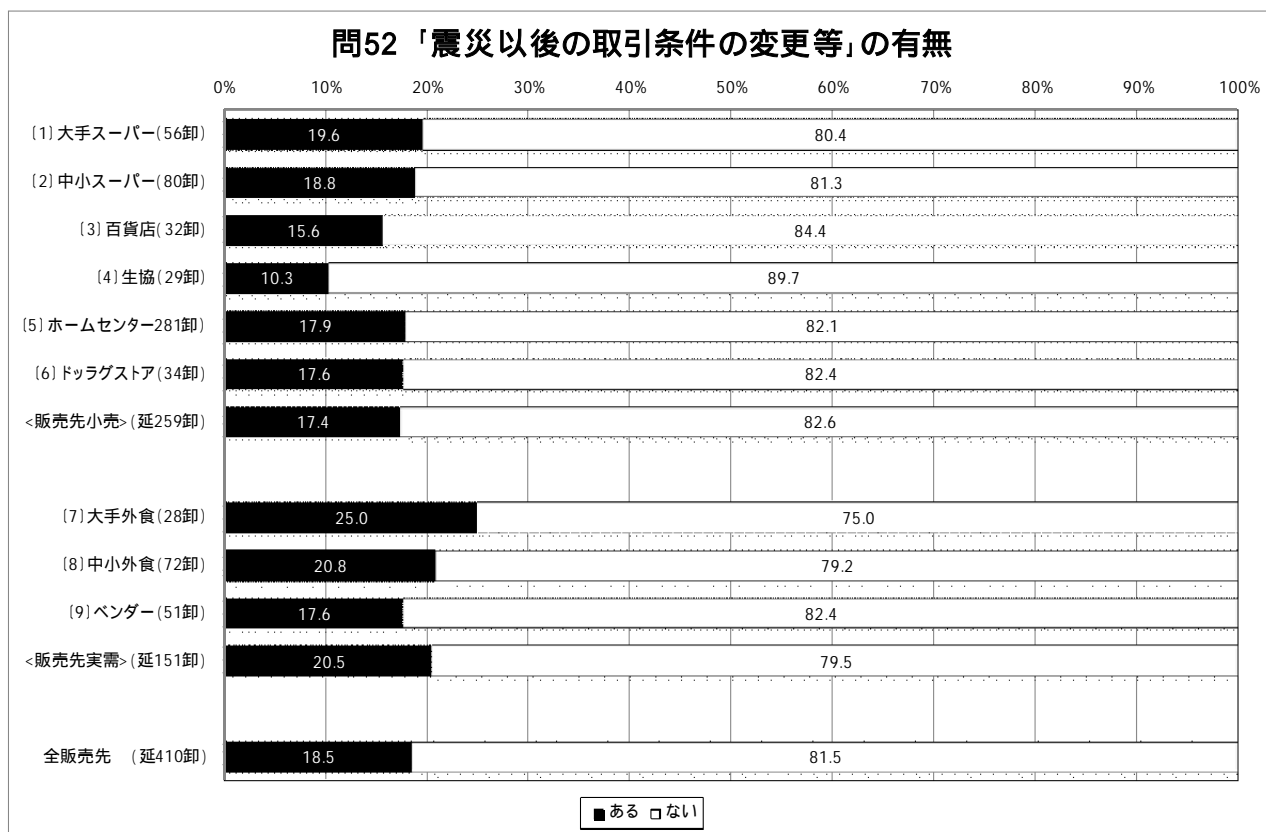


問 51 前問で「ある」に を付した不当と思われる行為の内容を販売先区分ごとにご記入下さい。

- 販売エリア内に新規店が出店し、納品したところ、自社の不利益となる行為だとしてアイテム数のカット、チラシ掲載を断られた。(中小スーパー)
- 取引開始以来、納品数量ではなくレジ通し後での入金を行っているため、実納数と売上入金数量とに差異がでる。(ドラッグストア)

問52 昨年3月に発生した東日本大震災・福島第一原発事故以降、販売先との間で商品や取引条件等について、変更となった点がありますか。販売先区分ごとに、当てはまる欄1か所に○を付して下さい。

- 「ある」と回答した卸の割合は、全販売先 で18.5%であった。
- <販売先小売>で17.4%、<販売先実需>で20.5%と<販売先実需>の方が多かった。
- 全ての販売先区分が10%以上であった。特に、大手外食25.0%、中小外食20.8%、大手スーパー19.6%、中小スーパー18.8%が多かった。



問 53 前問で「ある」に を付した「変更となった点」について販売先区分ごとにご記入下さい。

1. 商品について

- 23 年産米で 17 都県の商品の取扱を中止。(大手スーパー、中小スーパー、大手外食、中小外食、ベンダー)
- 放射能のない(ND)産地米の納品を要件とする。(大手スーパー、中小スーパー、大手外食、中小外食、ベンダー)
- 産地を指定・限定し、数量確保を要件とする。(大手スーパー、中小スーパー、百貨店、生協、大手外食、中小外食、ベンダー)
- 福島県産米の扱いを様子見とする。(大手スーパー、中小スーパー、ベンダー)
- 福島県産米の取扱を中止。(大手スーパー、中小スーパー、ホームセンター、ドラッグストア、中小外食、ベンダー)
- 福島産をはじめ一時は関東産米の取扱いも停止された。(大手スーパー)
- 宮城県産米の取扱を中止。(ドラッグストア、大手外食、中小外食)
- 茨城県産米の取扱を中止。(大手外食)
- 東北産米の取扱を中止。(中小スーパー、百貨店、ホームセンター、ドラッグストア、大手外食、中小外食)
- 東日本の商品の取扱を中止。(大手スーパー)
- 関東産の商品の取扱を中止。(中小外食)
- 福島県産米から他県産米へ変更。(中小スーパー、百貨店、生協、ホームセンター、大手外食、中小外食、ベンダー)
- 被災地の米から代替品へ変更。(大手スーパー)
- 宮城県産米の販売を縮小。(中小スーパー)
- 西日本・九州産の米を希望。(ドラッグストア)

2. 取引条件について

- 放射能検査の要請。(生協、学校給食)
- 商品全てに明確な産地表示を要請。(ドラッグストア)

問 54 その他ご意見があればご記入下さい。

(略)

平成 23 年度 「取引実態調査」(第 6 回) 結果

平成 24 年 4 月 発行

編集 全国米穀販売事業共済協同組合 経営相談室

〒103-0001 東京都中央区小伝馬町 15 - 15

TEL (03)4334-2125 FAX (03)4334-2148

承諾なしに転載、転写およびデータベース、磁気媒体、
光ディスクなどへの入力を禁じます。